

第3期玉野市子ども・子育て支援事業計画について

1. 子ども・子育て支援事業計画とは

- 「子ども・子育て支援事業計画」とは、地域における子育て環境の整備や支援の充実に図ることで、子を持つことや子育てへの不安感を軽減することを目的として、各自治体で実施するための計画で、玉野市は、平成27年3月に第1期計画がスタート。幼児期の学校教育・保育等の「量の見込み」や「確保方策」、地域の子育て支援施策について示されています。

2. 計画の位置づけと期間

「第2期玉野市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～6年度）」では、子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境整備をより一層促進することを目的に事業を推進してきました。

現行の第2期事業計画の計画期間が令和6年度で終了となることから、今年度、第3期事業計画を策定します。

R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
第2期子ども・子育て支援事業計画					第3期子ども・子育て支援事業計画				

3. 事業計画に盛り込む内容

アンケート調査や利用実績等を基に、就学前の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込み（需要量）と確保方策（目標事業量）

○就学前の教育・保育施設

- 3～5歳・・・1号認定 → 幼稚園、認定こども園
 2号認定 → 保育所、認定こども園
 0～2歳・・・3号認定 → 保育所、認定こども園、地域型保育

○地域子ども・子育て支援事業

- ①利用者支援事業 ②延長保育事業 ③放課後児童クラブ
 ④子育て支援センター ⑤一時保育事業 ⑥病児保育事業
 ⑦ファミリーサポートセンター事業 ⑧妊婦健康診査事業
 ⑨乳児家庭全戸訪問事業 ⑩養育支援訪問事業
 ⑪子育て短期支援事業 ⑫子育て世帯訪問支援事業

（※下線は新規追加）

4. 策定スケジュール

- R6.2月 アンケート調査の実施
 6月 アンケート集計・分析
 ・報告書作成
 9月 現行計画の評価・点検
 ・量の見込みの把握
 ・目標量の検討
 10月
 ～12月 計画書の作成
 （骨子案・素案）
 R7.1月 パブリックコメント

	令和5年度			令和6年度（2024年度）											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
アンケート調査		調査	回収	集計	分析	報告書作成									
現行計画の評価・点検					シート作成 配布・回収		とりまとめ								
量の見込みの把握及び 目標量の検討							人口推計 目標量の検討								
計画書の作成										骨子案・素案				概要版 ・全体版	
パブリックコメント															
子ども・子育て会議									①		②			③	

国の制度改正について

平成23年

- 子ども・子育て関連3法成立

平成27年

- 子ども・子育て新制度開始。
- 第一期子ども・子育て支援事業計画スタート

令和元年

- 幼児教育・保育の無償化（幼保無償化）を実施
- 子ども・子育て支援法改正
- 第2期子ども・子育て支援事業計画策定

令和3年

- 「こども政策の新たな推進体制に関する基本方針」が閣議決定
→「こどもまんなか社会」の実現を目指すことが趣旨

令和5年

- こども基本法施行、こども家庭庁創設
→「こどもまんなか社会」の実現を目指し、こども家庭庁が施策推進の司令塔の役割を担う。子ども・子育て支援事業計画を含むこども施策は、こども家庭庁に移管された。

新生児、乳幼児期、学童期及び思春期の各段階を経て、おとなになるまでの心身の発達の過程を通じて切れ目なく行われるこどもの健やかな成長に対する支援、子育てに伴う喜びを実感できる社会の実現に資するため、就労、結婚、妊娠、出産、育児等の各段階に応じて行われる支援、家庭における養育環境その他のこどもの養育環境の整備、及びこれらと一体的に進める必要のある施策（子ども・子育て支援事業など含む）のこと（こども基本法第2条）

「第3期玉野市子ども・子育て支援事業計画」と「こども計画」について

- 「こども基本法」では、国の責務や体制のみならず、地方公共団体の責務や市町村こども計画の策定の努力義務についても明記されています。

1. 「市町村こども計画」とは

目的：心身の状況や環境に関わらず、将来にわたって幸福な生活を送れる社会を実現できるように、また、こどもが一人の個人として尊重され権利が擁護されるように、こども分野に関する様々な施策・事業に統一的に横串を刺す。→こども分野の「総合計画」に該当。全庁的にこども施策を推進する基礎となる。

内容：市町村が実施する「こども施策に関すること」

- ①出生からおとなまでの成長に対する支援
 - ②就労、結婚、妊娠、出産、育児等の各段階に応じて行われる支援
 - ③家庭における養育環境その他のこどもの養育環境の整備
 - ④①～③と一体的に進める必要のある施策
- 等

計画は、一体的に作成することが可能であり、一体的に作成することで住民にとってわかりやすく、また事務負担を軽減できるとされている。

【ポイント1】こども施策には、第3期子ども・子育て支援事業計画に関する施策も含まれるとされる。（こども家庭庁通知）

【ポイント2】こども計画は、以下の計画と一体策定できる。

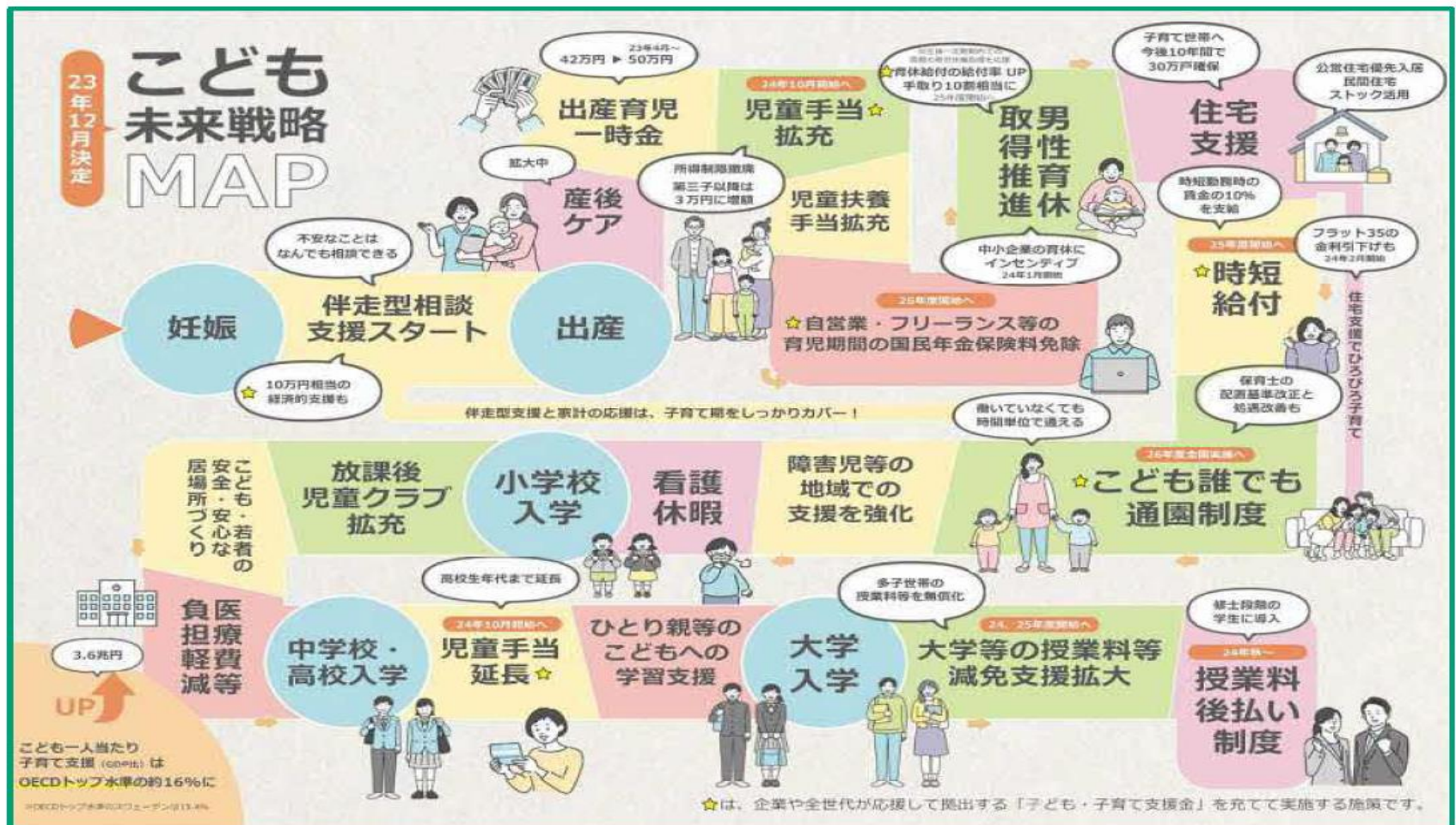
- ①子ども・若者計画 ②子どもの貧困対策計画 ③次世代育成支援市町村行動計画
- ④**子ども・子育て支援事業計画** ⑤こども施策に関する事項を定める計画等（放課後児童クラブ整備計画や母子保健計画等）

R5.12月子どもみらい戦略の策定

子ども未来戦略とは？

若い世代の方の将来展望を描けない状況や、子育てをされている方の生活や子育ての悩みを受け止めて、「**子ども未来戦略**」は策定されました。（総額**3.6兆円**）

- 若者・子育て世代の所得を増やす
 - 社会全体の構造や意識を変える
 - すべての子どもと子育て世帯をライフステージに応じて切れ目なく支援していく
- 「**子ども未来戦略**」ではこれらを戦略の基本理念として掲げ、若い世代が希望どおり結婚し、希望する誰もが子どもを持ち、安心して子育てできる社会、子どもたちが笑顔で暮らせる社会の実現を目指しています。



玉野市
子ども・子育て支援に関するアンケート調査
調査結果報告書 【概要版】

第 2 期アンケート（令和元年実施）との
比較表

目次

I. 調査の概要	1
1. 2. 調査目的 対象	1
3. 4. 調査時期 方法	1
5. 回収結果	1
II. 調査結果	2
1. お住まいの地域について	2
2. 子どもとご家族の状況について	6
(1) お子さんの年齢	6
(2) 回答者の配偶関係	8
3. お子さんの幼稚園や保育園などの平日の利用について	10
(1) どのようなサービスを利用しているか【未就学児】	10
(2) サービスを利用していない理由【未就学児】	12
(3) 今後のサービスの利用希望【未就学児】	14
4. 子育て支援センターなどの利用について	16
(1) 子育て支援センターの利用【未就学児】	16
(2) 子育て支援センターを利用している理由【未就学児】	16
5. 子どもの病気の際の対応について	18
(1) 病気やケガでサービスが利用できなかったことはあるか【未就学児】	18
(2) 病児・病後児のための保育施設等を利用したいか【未就学児】	20
6. 育児休業制度について	22
(1) 育児休業の取得【未就学児】	22
(2) 育児休業を取得していない理由【未就学児】	24
7. お子さんの放課後の過ごし方について	28
(1) お子さんの放課後についてどのような場所で過ごさせたいと思うか【小学生】	28
(2) 放課後児童クラブに対して、どのように感じているか【小学生】	30
8. 子どもの生活実態について	32
(1) 経済的に負担が大きいと感じるもの	32
(2) 経済的な理由による必要な食料が買えなかった等の経験の有無	36
9. 子育て全般について	38
(1) 仕事と子育てを両立させるために必要なこと	38
(2) 子育てを中心に、日常悩んでいること、または気になること	42
(3) 子育てに関する不安や悩みを解消するために利用している情報源や相談先	46
(4) 子どもに特に身につけてほしい力や大切にしてほしいと思うこと	50
(5) 子育て支援として、地域の人に望むこと	54
(6) 子どもの健全育成や非行防止のために力を入れること【小学生】	58
(7) 子育てや健全な青少年の育成をする上で学校に期待すること【小学生】	60
(8) 子育てしやすい社会にするために必要なこと	62
.....	

I. 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、市内に居住する未就学児童及び小学生の保護者を対象として、アンケート調査を実施し、「第3期玉野市子ども・子育て支援事業計画」を策定するに当たり、市民の方の教育・保育・子育て支援に関する事業の利用状況や今後の利用希望等を把握するための基礎資料とします。

2. 調査対象

未就学児（0～5歳 800人）

小学生（1～6年生 800人）

3. 調査時期

令和6年2月

4. 調査方法

郵送による配布・回収、または園を通じての配布・回収。

5. 回収結果

【R6年2月】

未就学児

配布数	有効回答数	有効回答率
800	634	79.3%

小学生

配布数	有効回答数	有効回答率
800	676	84.5%

【R元年】

未就学児

配布数	有効回答数	有効回答率
800	649	81.1%

小学生

配布数	有効回答数	有効回答率
800	655	81.8%

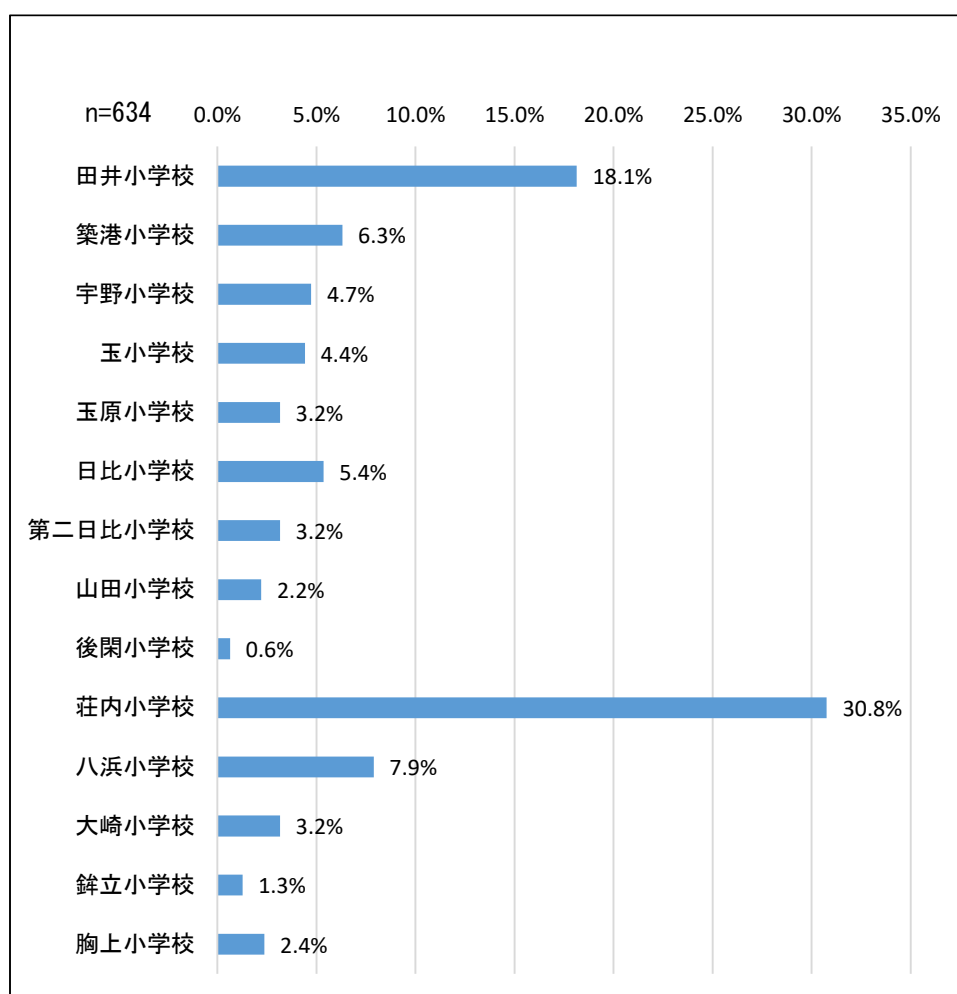
II. 調査結果

1. お住まいの地域について

あなたのお住まいの小学校区はどちらですか。

【未就学児】

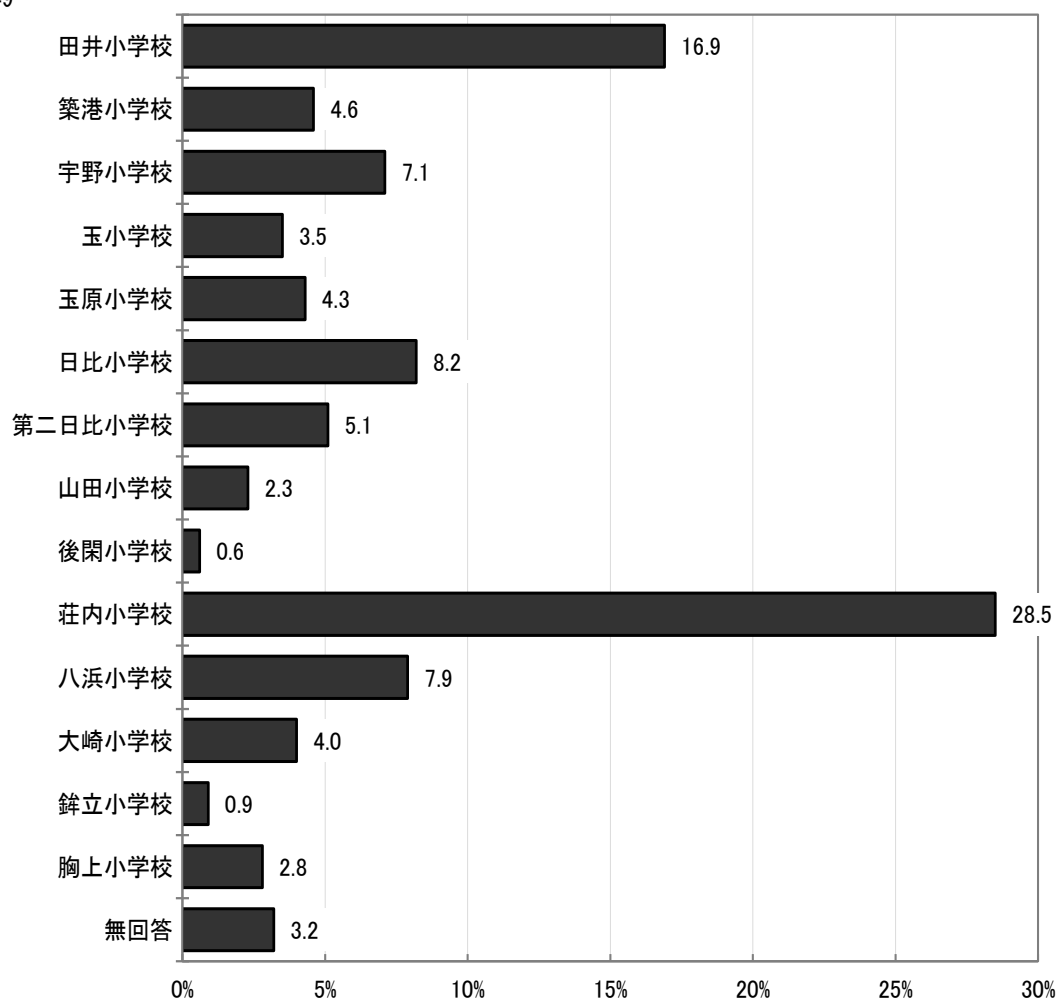
「荘内小学校」の割合が30.8%と最も高く、次いで「田井小学校」が18.1%、「八浜小学校」が7.9%となっています。



【未就学児】

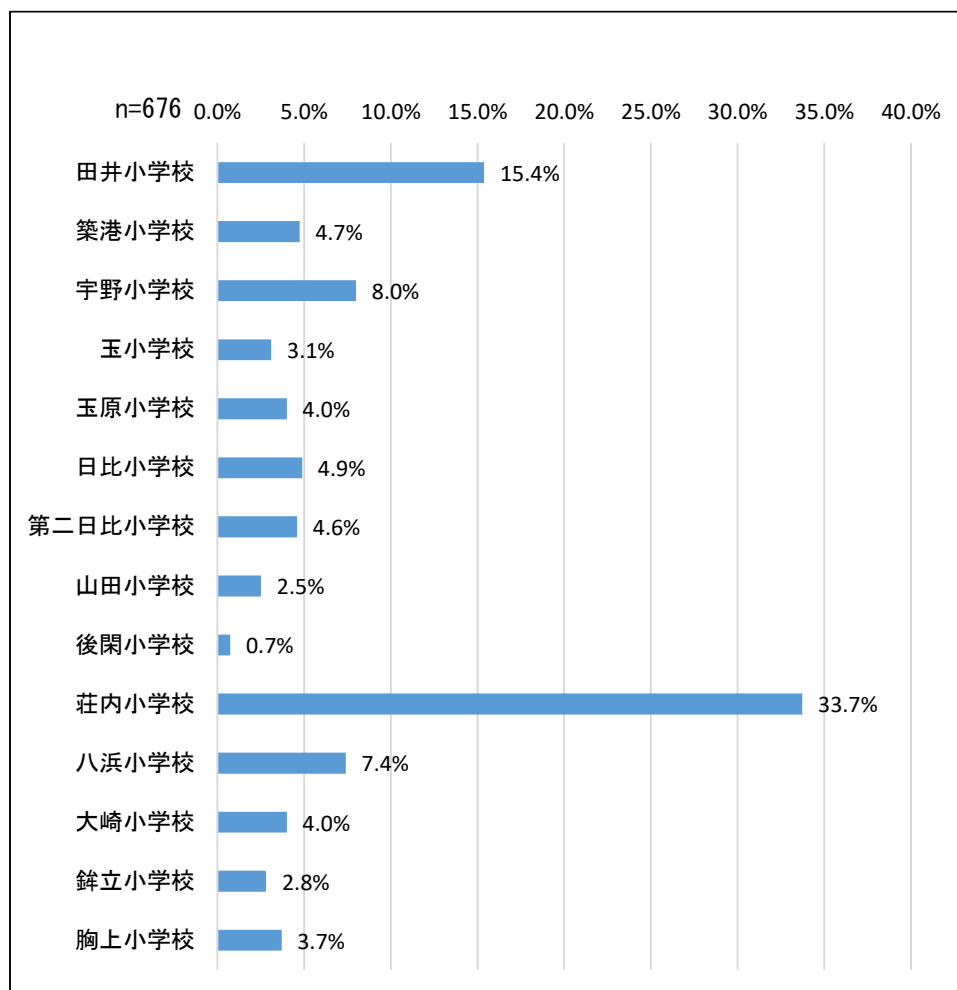
「荘内小学校」が28.5% 「田井小学校」が16.9%
「八浜小学校」7.9%となっています。

(SA) N=649



【小学生】

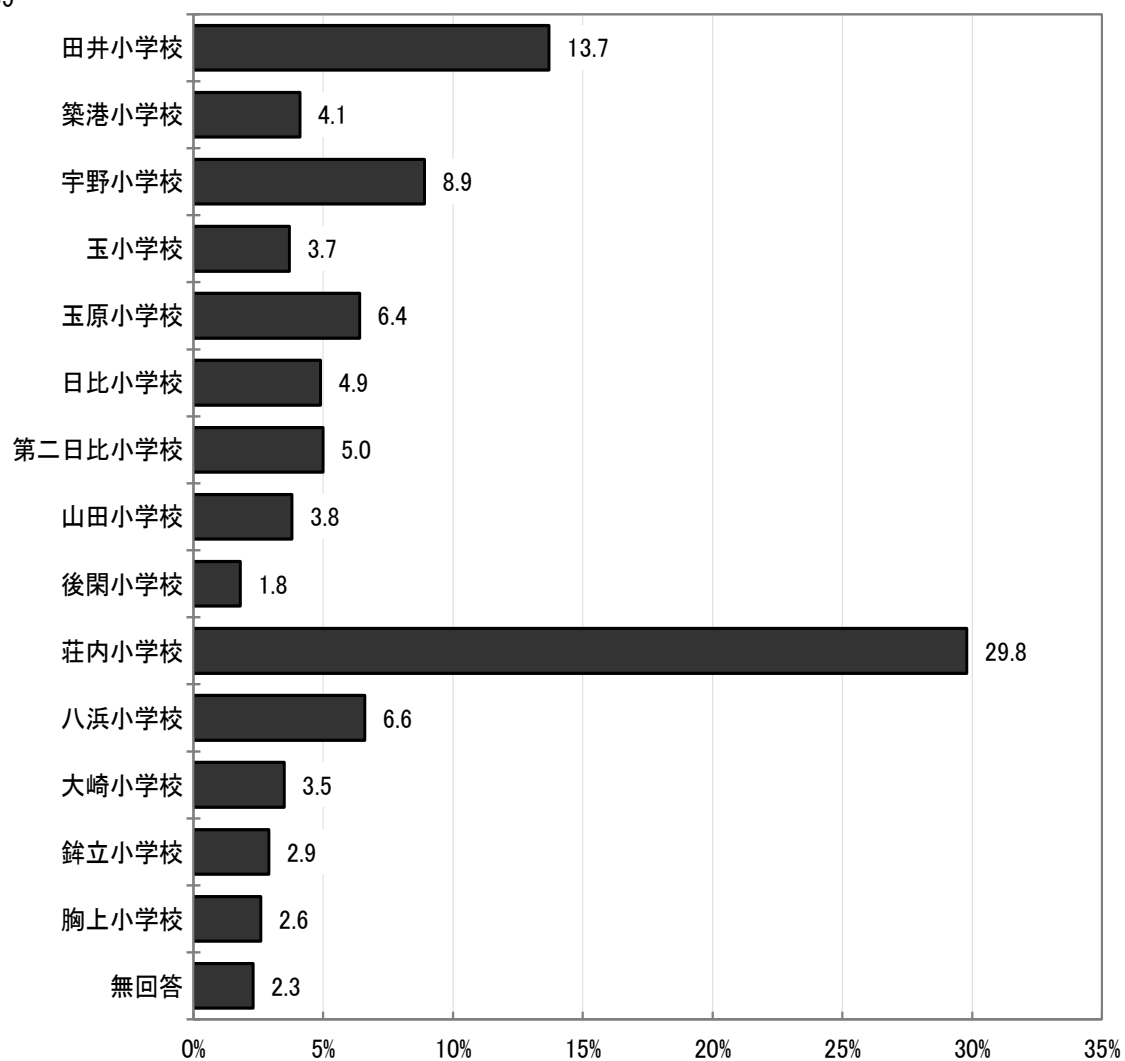
「荘内小学校」の割合が33.7%と最も高く、次いで「田井小学校」が15.4%、「宇野小学校」が8.0%となっています。



【小学生】

「荘内小学校」が29.8% 「田井小学校」が13.7%、
「宇野小学校」が8.9%となっています。

(SA) N=655



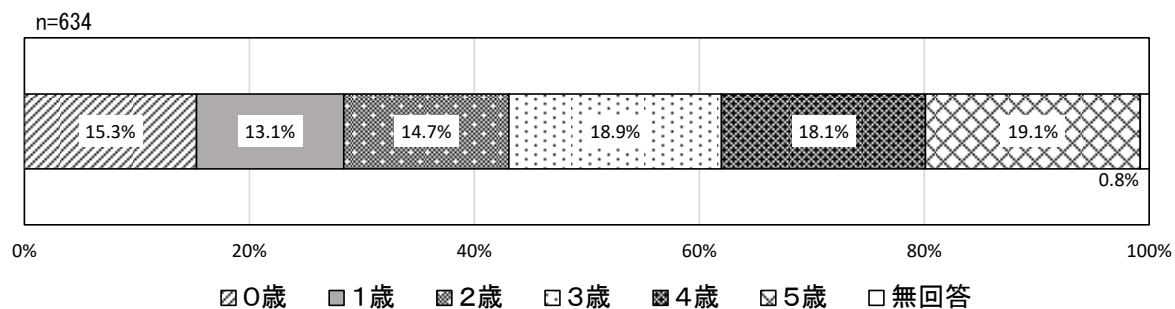
2. 子どもとご家族の状況について

(1) お子さんの年齢

お子さんの生年月をご記入ください。

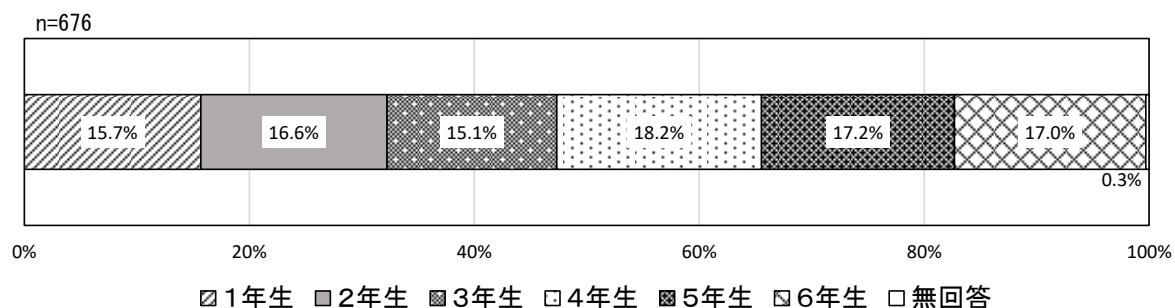
【未就学児】

「5歳」の割合が19.1%と最も高く、次いで「3歳」が18.9%、「4歳」が18.1%となっています。



【小学生】

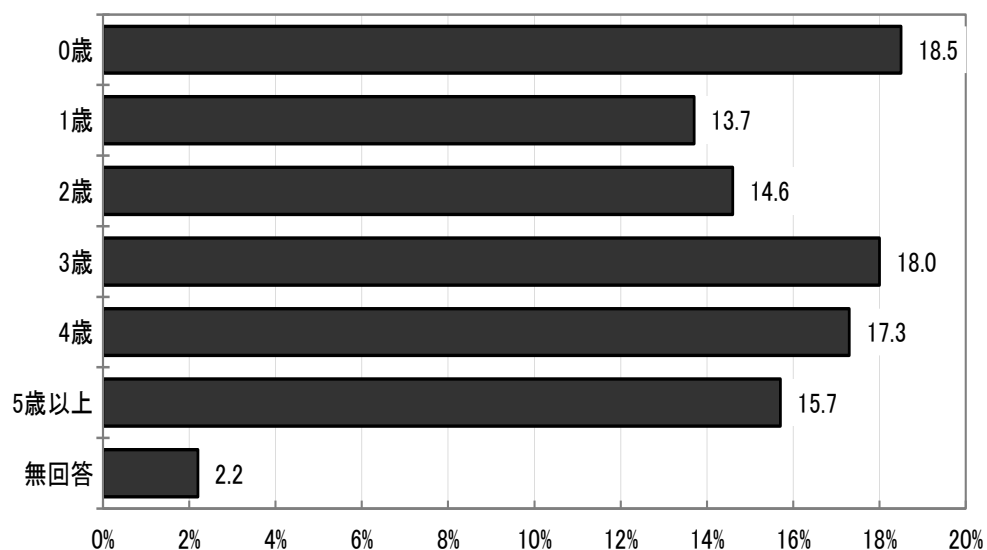
「4年生」の割合が18.2%と最も高く、次いで「5年生」が17.2%、「6年生」が17.0%となっています。



【未就学児】

「0歳」が18.5%で最も高くなっています。次いで「3歳」が18.0%、「4歳」が17.3%が続いています。

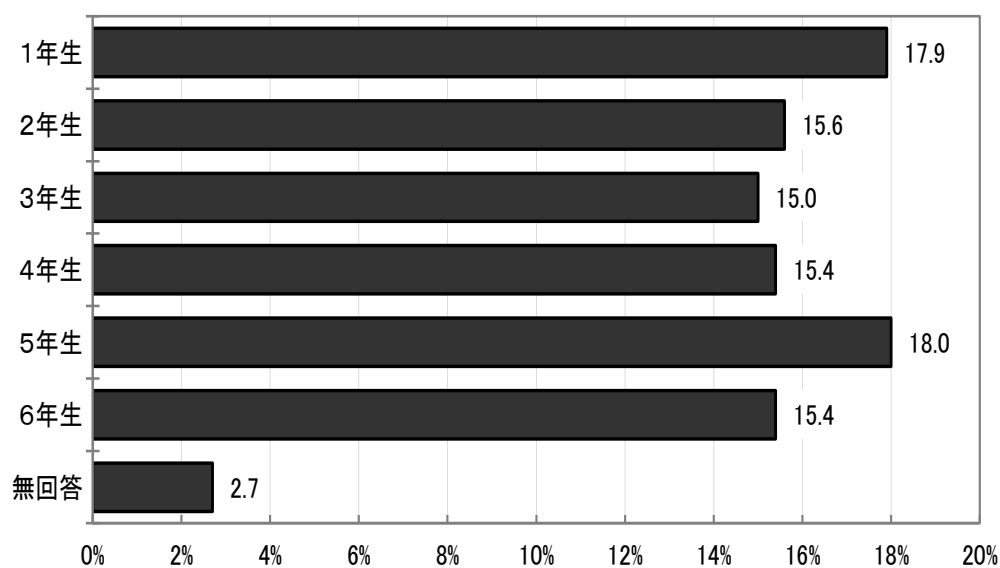
(数量) N=649



【小学生】

「5年生」が18.0%で最も高くなっています。次いで「1年生」が17.9%、「2年生」が15.6%が続いています。

(SA) N=655

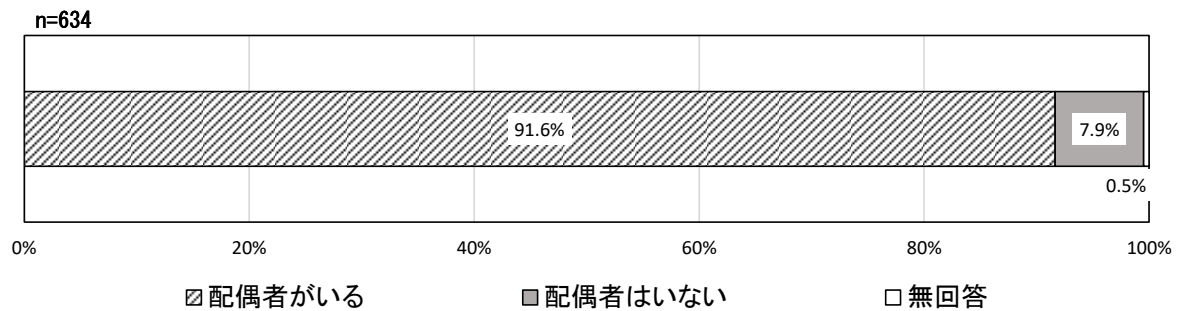


(2) 回答者の配偶関係

あなたに配偶者はいらっしゃいますか。

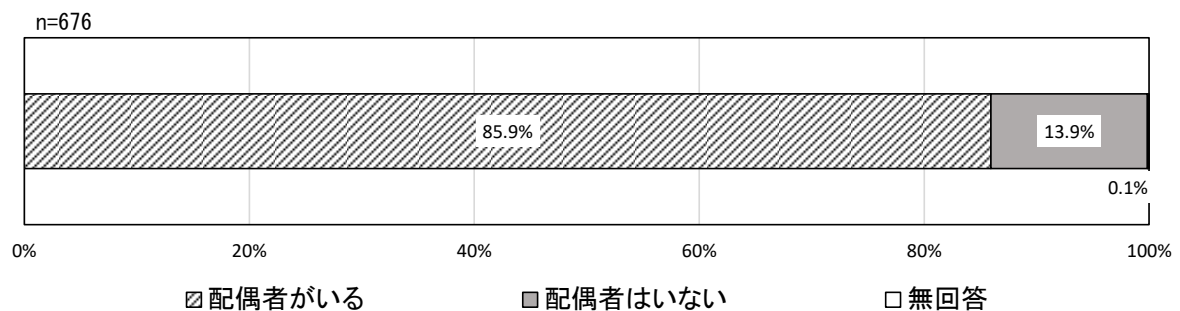
【未就学児】

「配偶者がいる」の割合が91.6%、「配偶者はいない」の割合が7.9%となっています。



【小学生】

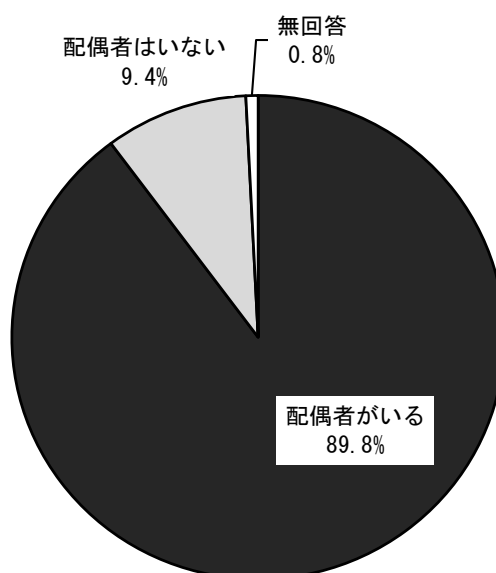
「配偶者がいる」の割合が85.9%、「配偶者はいない」の割合が13.9%となっています。



【未就学児】

「配偶者がいる」が89.8%を占めています。

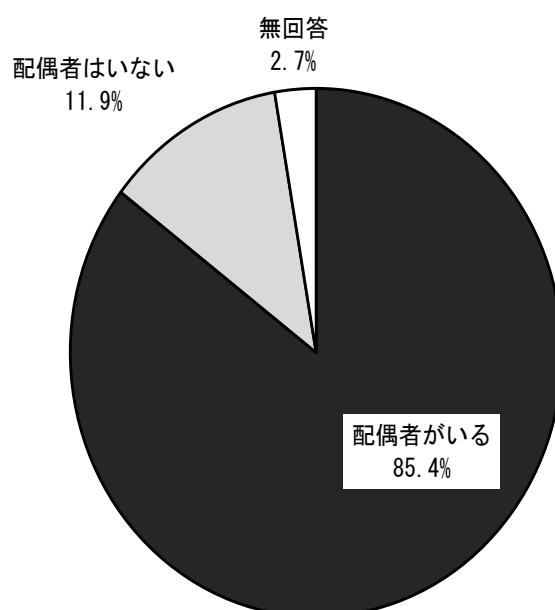
(SA) N=649



【小学生】

「配偶者がいる」が85.4%を占めています。

(SA) N=655



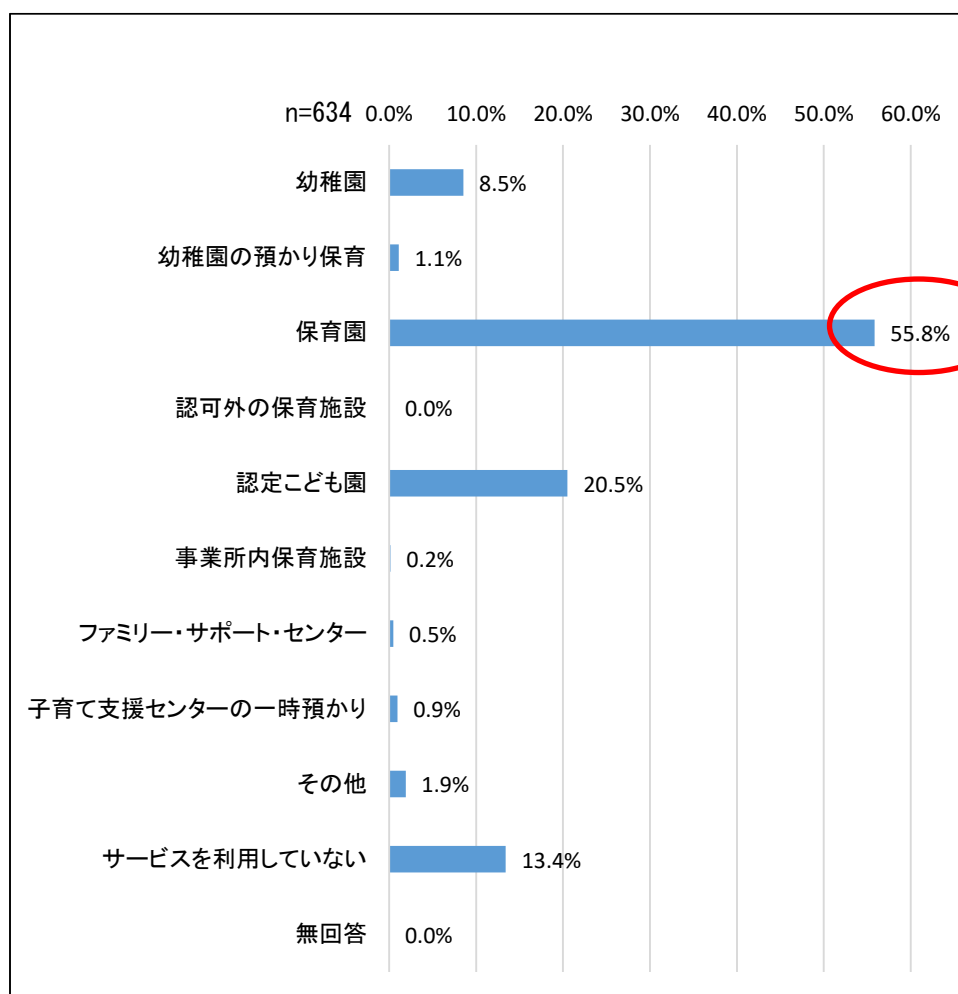
3. お子さんの幼稚園や保育園などの平日の利用について

【未就学児】

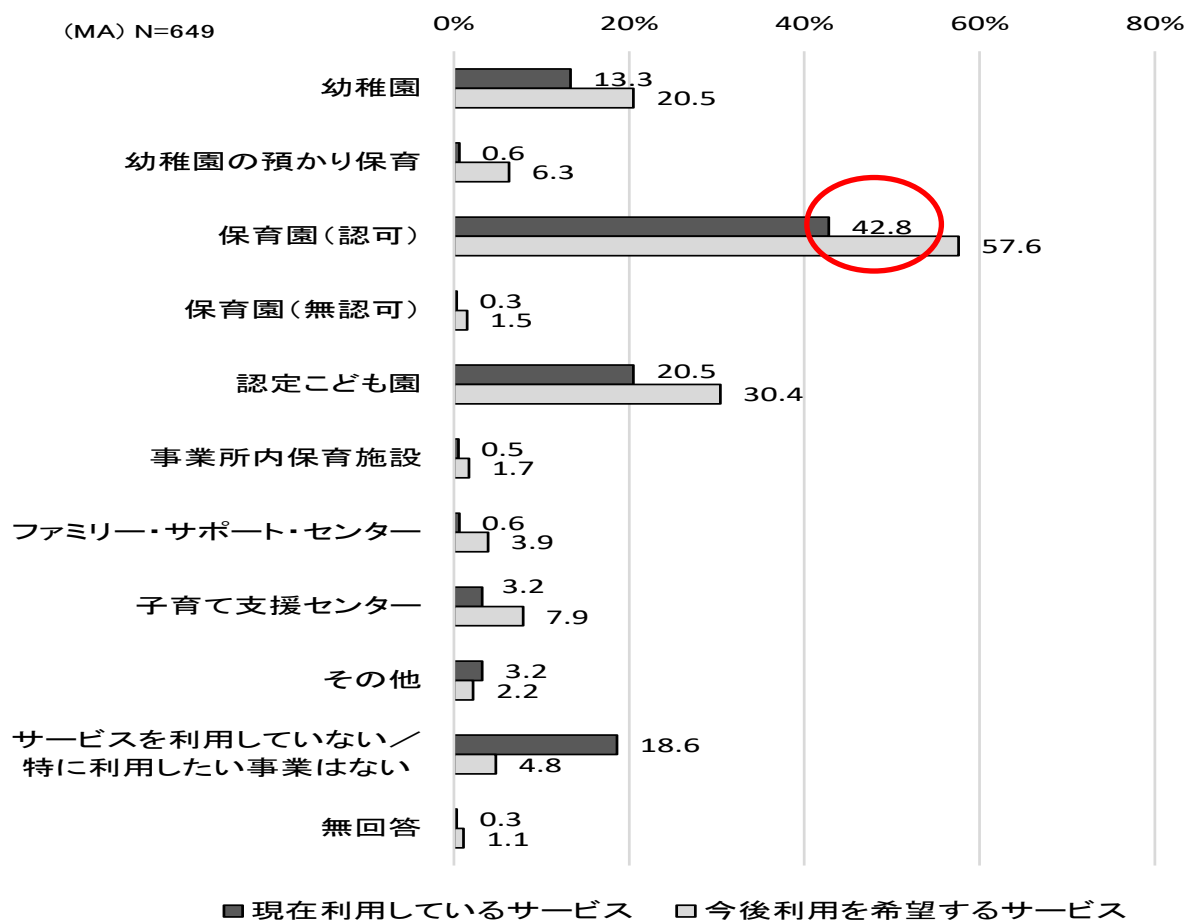
(1) どのようなサービスを利用しているか

お子さんは現在、平日にどのようなサービスを利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用しているサービスをお答えください。(複数回答)

「保育園」の割合が55.8%と最も高く、次いで「認定こども園」が20.5%、「サービスを利用していない」が13.4%となっています。



「保育園（認可）」が42.8%、「認定こども園」が20.5%、
「サービスを利用していない」が18.6%となっています。



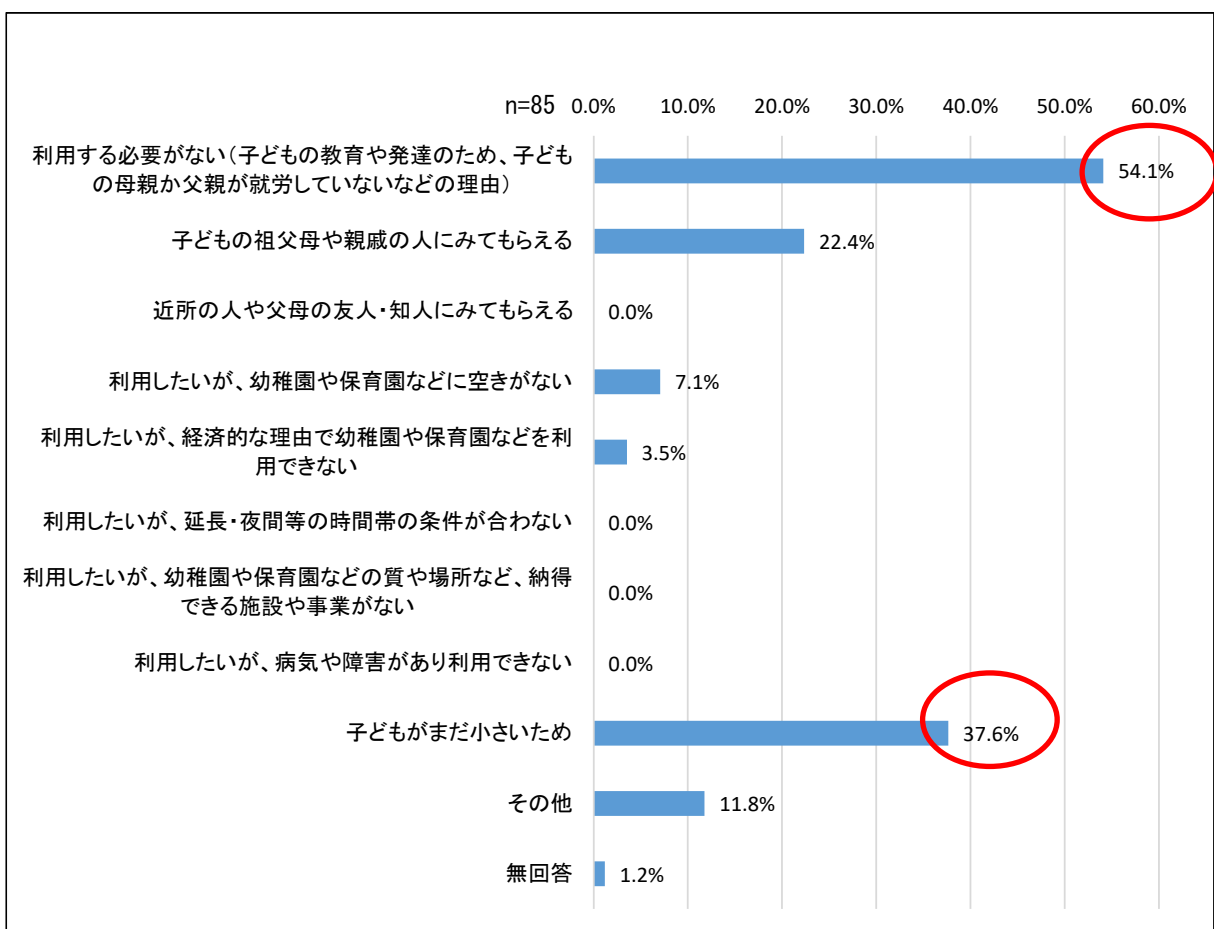
(2) サービスを利用していない理由

【未就学児】

「サービスを利用していない」に○をつけた方におうかがいします。サービスを利用していないのはなぜですか。(複数回答)

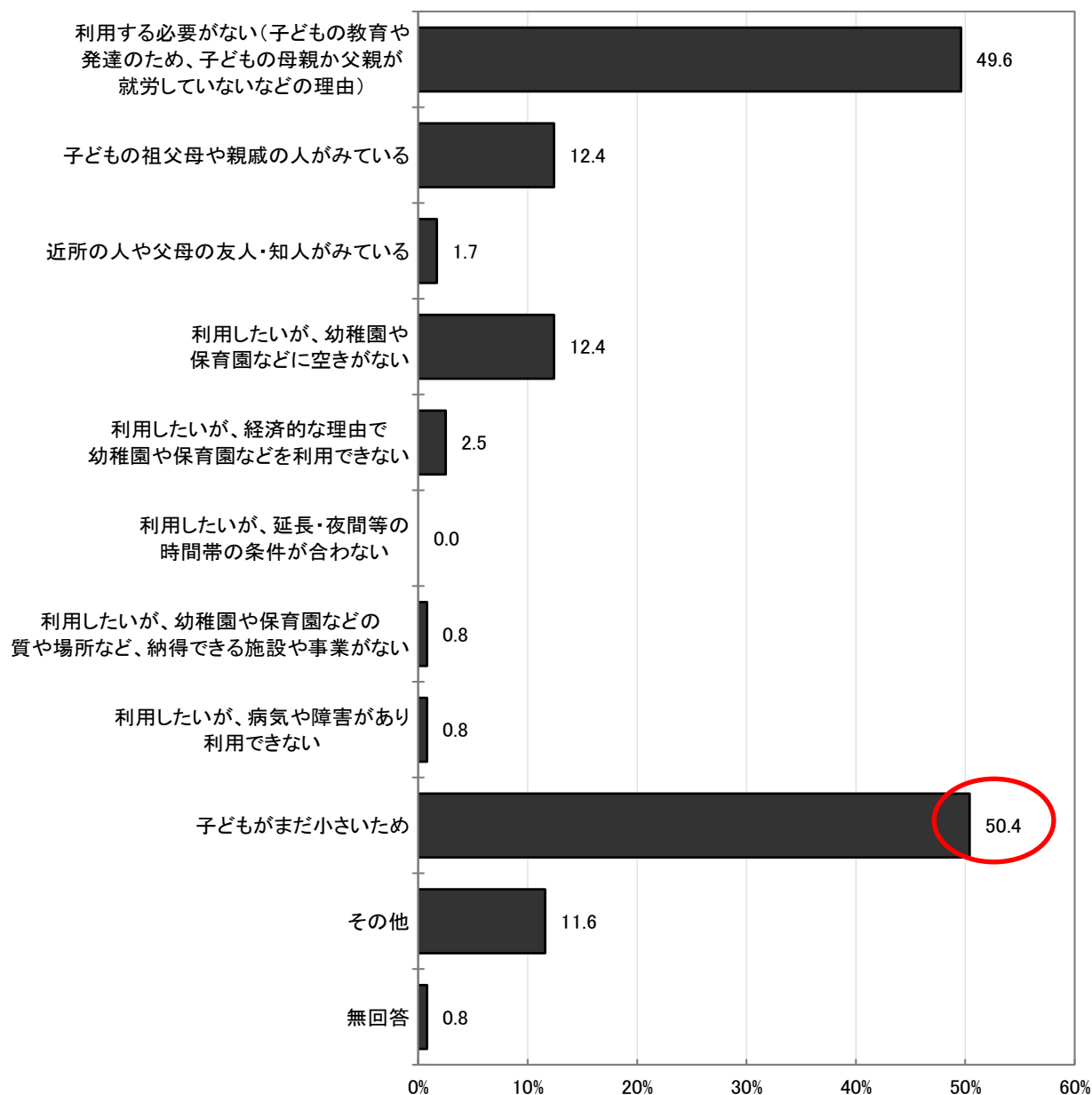
「利用する必要がない(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由)」の割合が54.1%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため」が37.6%、「子どもの祖父母や親戚の人にみてもらえる」が22.4%となっています。

また、「子どもがまだ小さいため」については、2歳くらいになればサービスを利用したいという意見が多くなっています。



「子どもがまだ小さいため」が50.4%、「利用する必要がある（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由）」が49.6%で高くなっています。

(MA) N=121

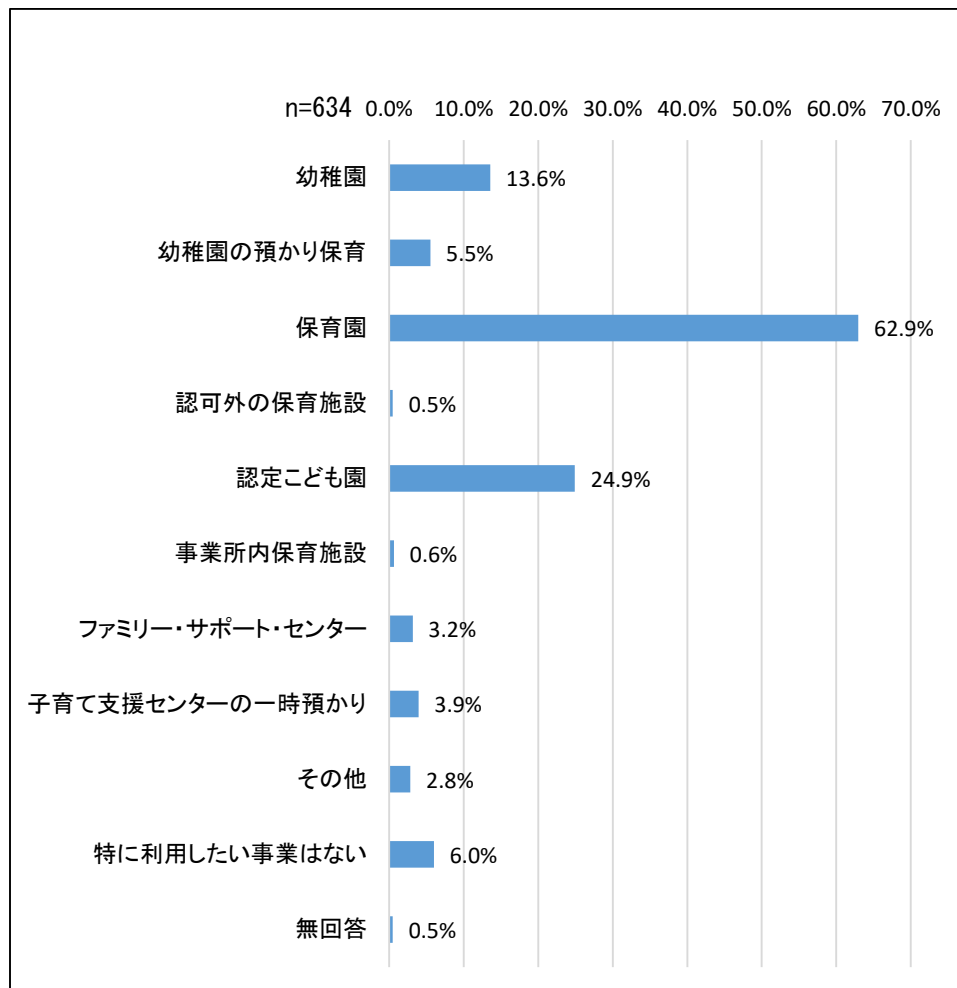


(3) 今後のサービスの利用希望

【未就学児】

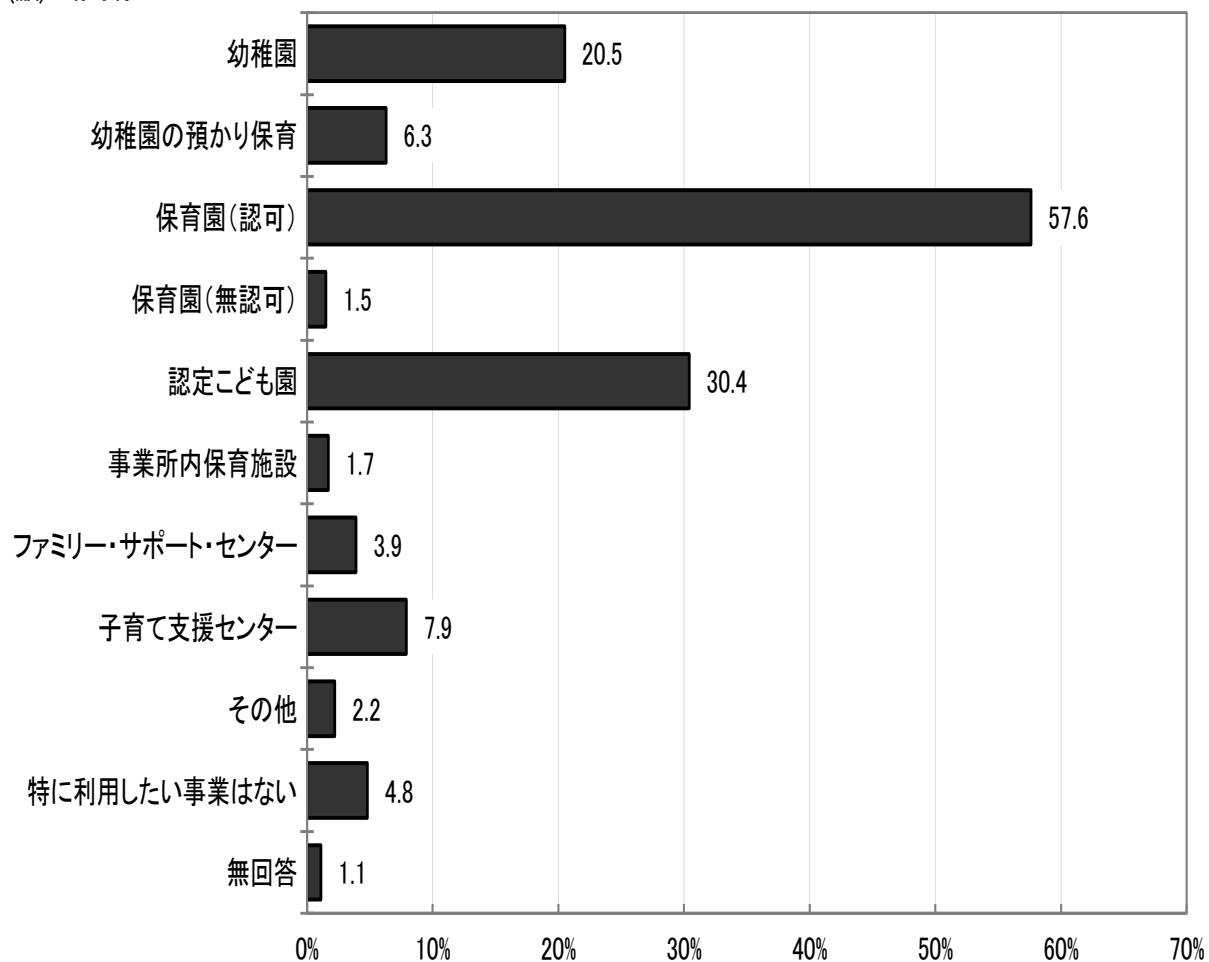
今後の希望についておうかがいします。現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんについて、今後、「定期的に」利用したいサービスをお答えください。（複数回答）

「保育園」の割合が62.9%と最も高く、次いで「認定こども園」が24.9%、「幼稚園」が13.6%となっています。



「保育園（認可）」が 57.6%と高く、「認定こども園」が 30.4%、幼稚園が 20.5%で続いています。

(MA) N=649



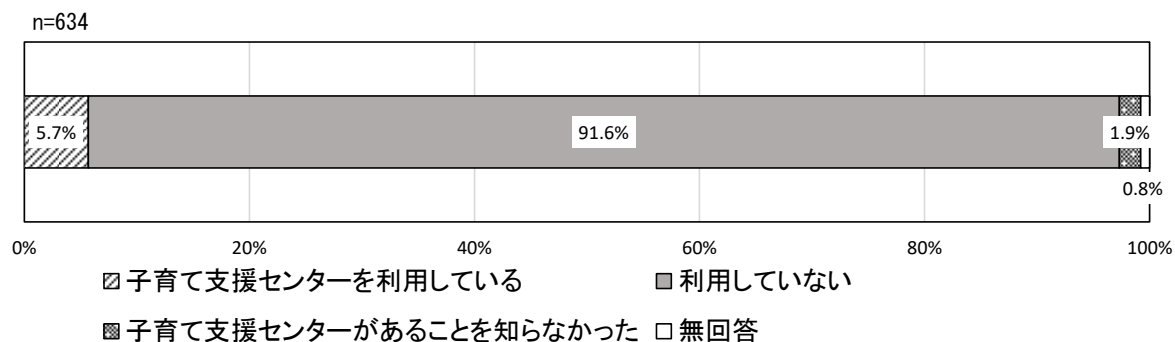
4. 子育て支援センターなどの利用について

【未就学児】

(1) 子育て支援センターの利用

あて名のお子さんは現在、子育て支援センターを利用していますか。

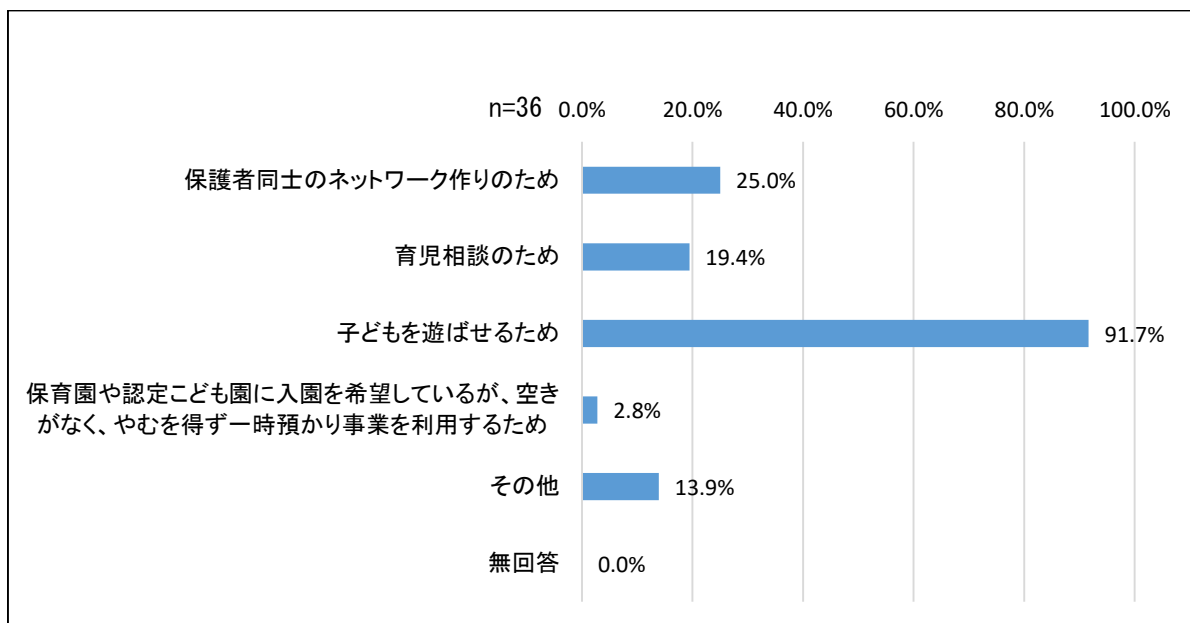
「利用していない」の割合が91.6%と最も高く、次いで「子育て支援センターを利用している」が5.7%となっています。



(2) 子育て支援センターを利用している理由

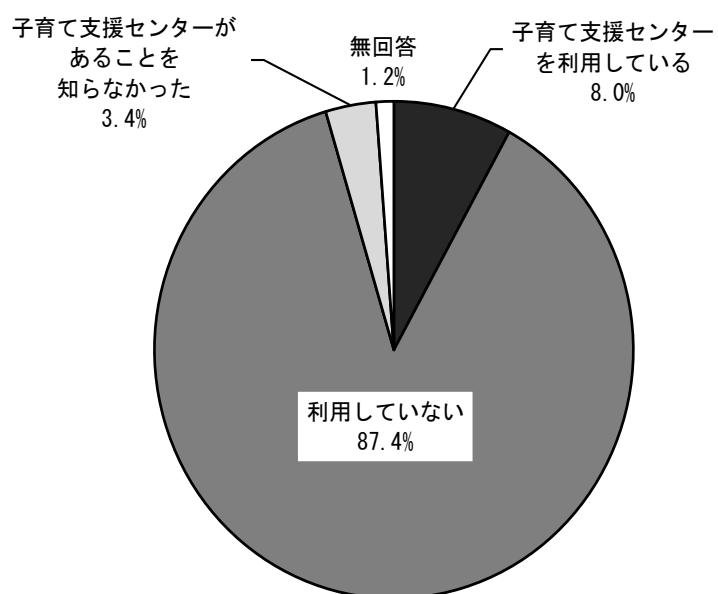
「子育て支援センターを利用している」に○をつけた方におうかがいします。子育て支援センターを利用している理由は何ですか。（複数回答）

「子どもを遊ばせるため」の割合が91.7%と最も高く、次いで「保護者同士のネットワーク作りのため」が25.0%、「育児相談のため」が19.4%となっています。

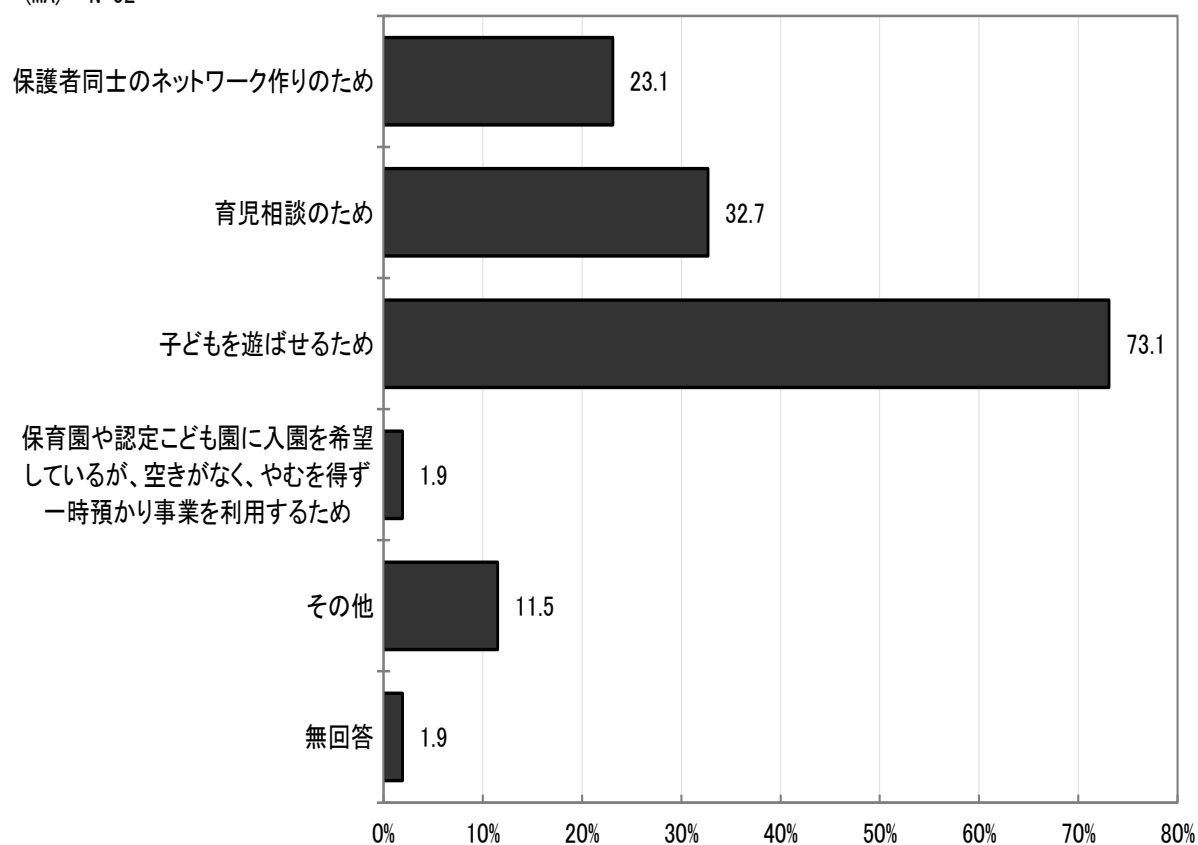


利用していない」が87.4%を占めています。

(SA) N=649



(MA) N=52



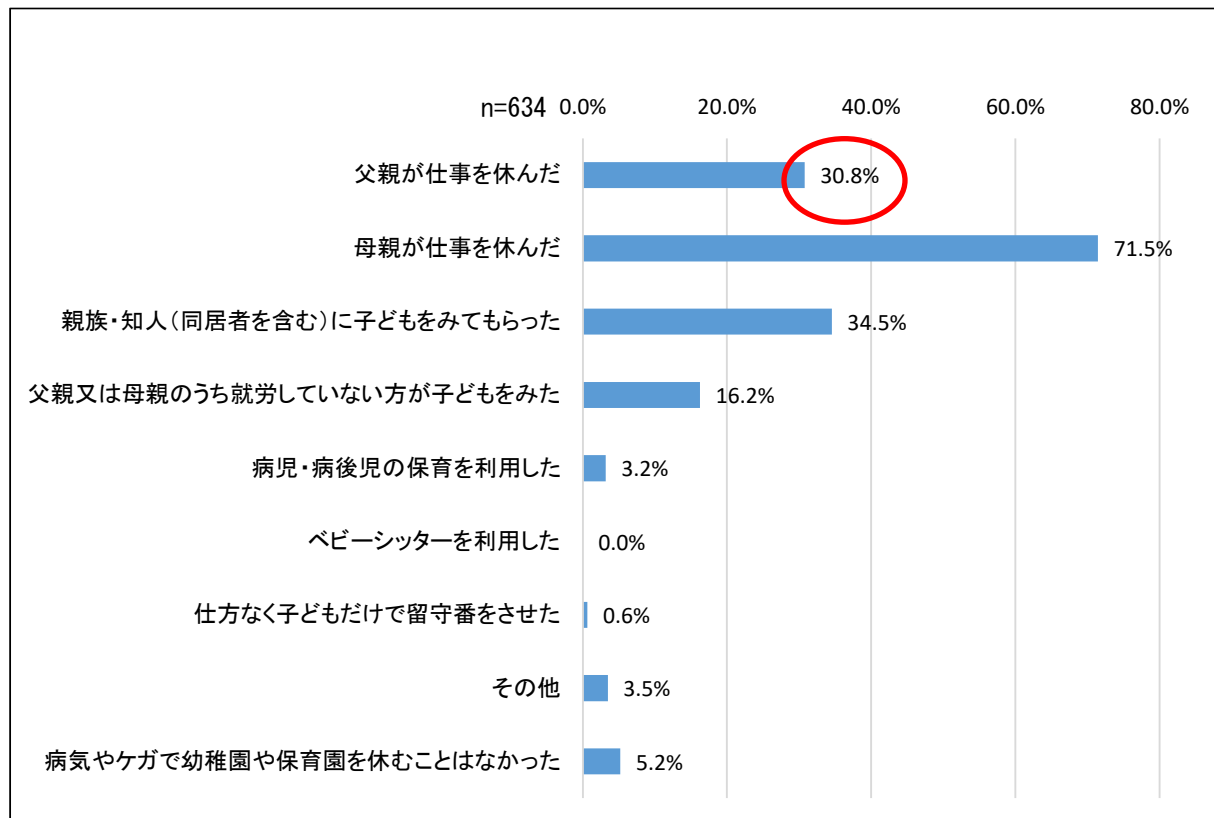
5. 子どもの病気の際の対応について

(1) 病気やケガでサービスが利用できなかったことはあるか

【未就学児】

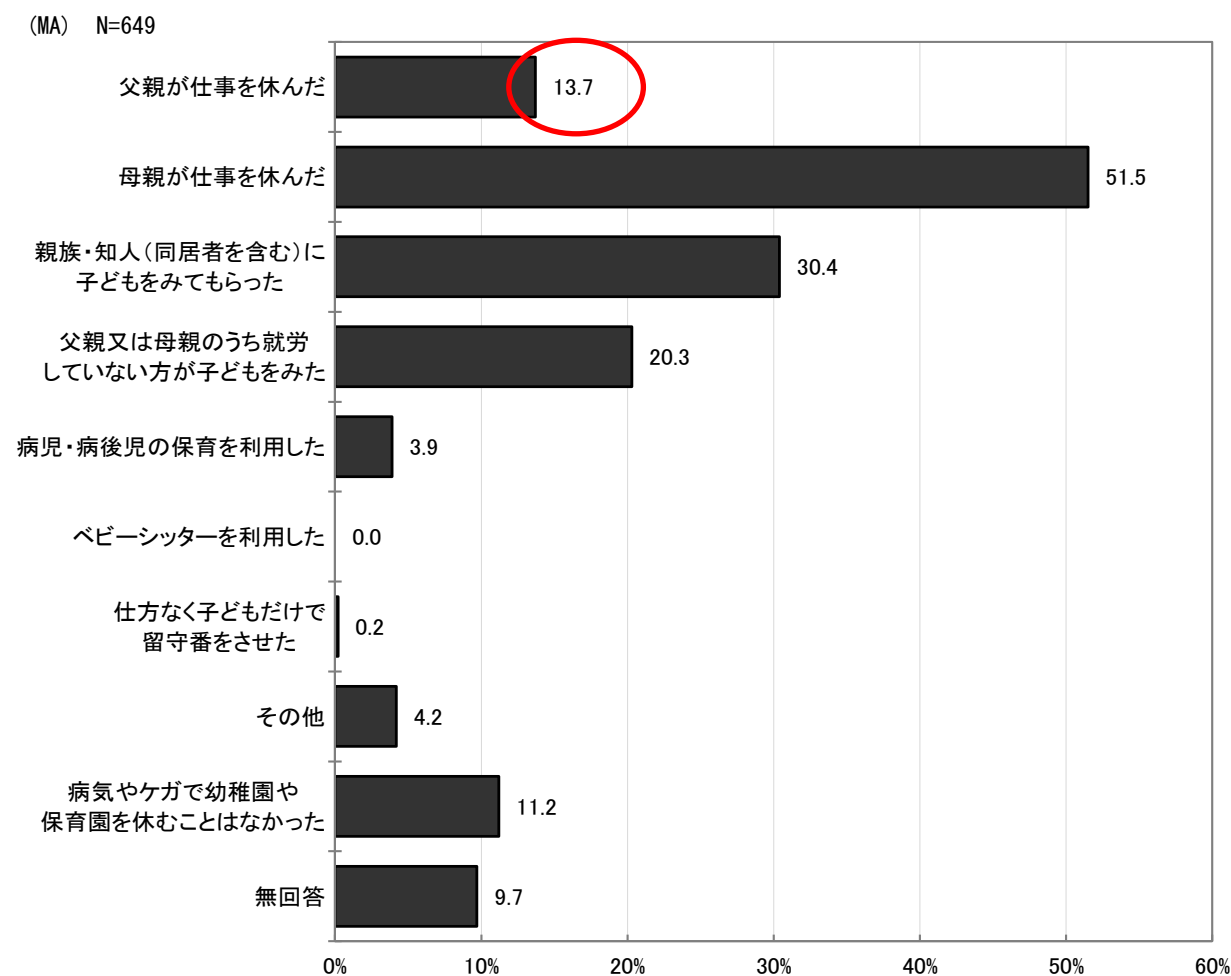
この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、幼稚園や保育園などが利用できなかった時は、どのように対処されましたか。また、それは何日くらいありましたか。対処方法とそれぞれの日数をお答えください。（複数回答）

「母親が仕事を休んだ」の割合が71.5%と最も高く、次いで「親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった」が34.5%、「父親が仕事を休んだ」が30.8%となっています。



項目	1年間の平均日数
父親が仕事を休んだ	4日
母親が仕事を休んだ	10日
親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった	6日
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	10日
病児・病後児の保育を利用した	4日
ベビーシッターを利用した	0日
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	5日
その他（在宅勤務、テレワークをしながらみた等）	11日

「母親が仕事を休んだ」が51.5%で高く、「親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった」が30.4%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が20.3%で続いています。



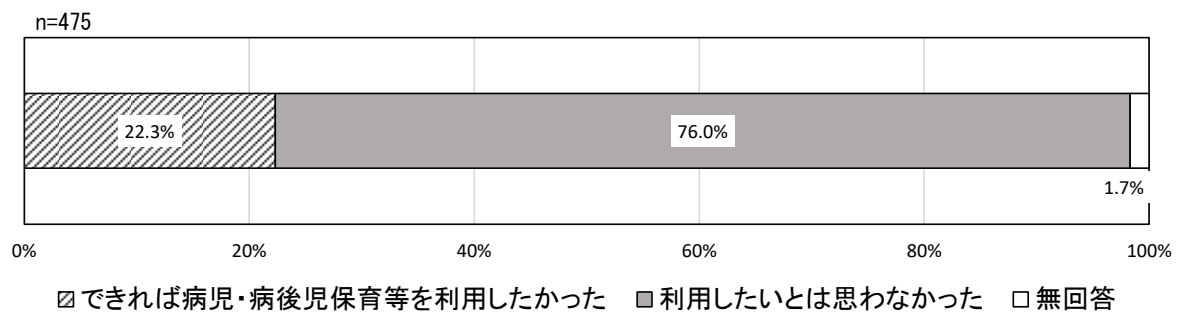
（２）病児・病後児のための保育施設等を利用したいか

【未就学児】

「父親が仕事を休んだ」または「母親が仕事を休んで」に○をつけた方におうかがいします。その際、病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いましたか。また、施設を利用したいと思った日数をお答えください。

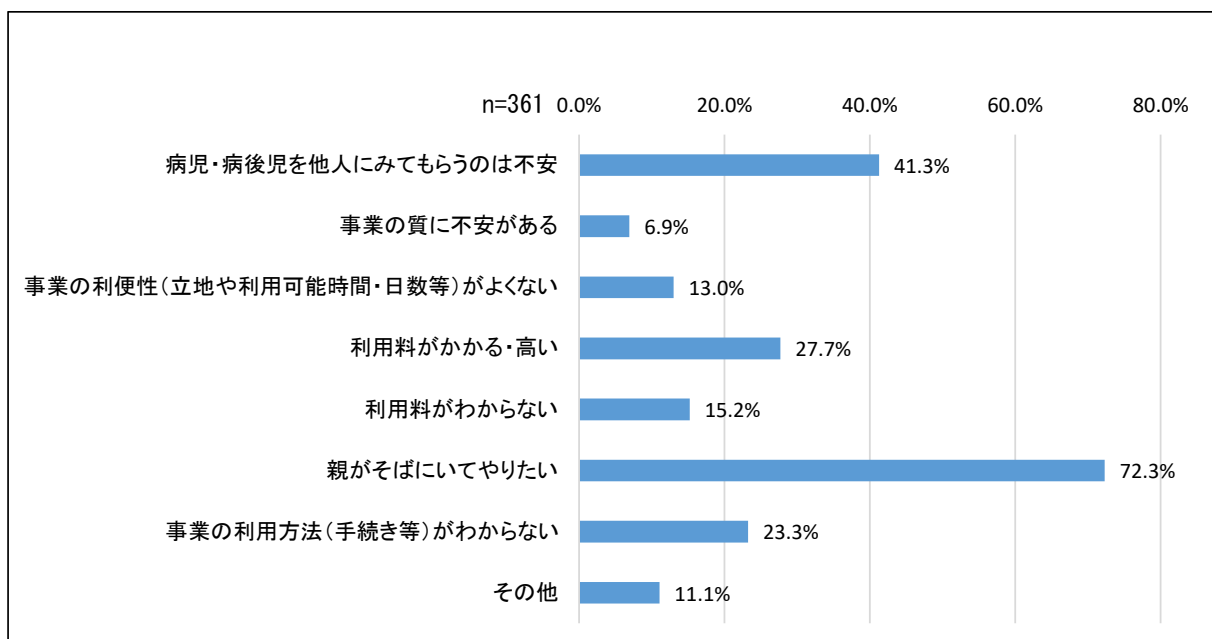
「利用したいとは思わなかった」の割合が76.0%、「できれば病児・病後児保育等を利用したかった」が22.3%となっています。

また、病児・病後児のための保育施設を利用したいと思った方の1年間の平均利用希望日数は5日となっています。



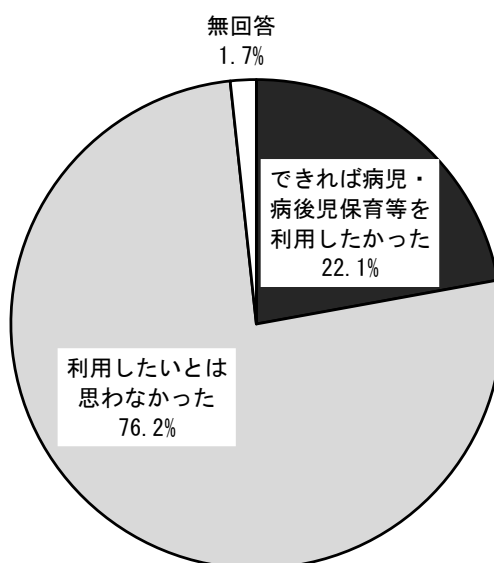
「利用したいとは思わなかった」に○をつけた方におうかがいします。利用したいとは思わない理由は何ですか。（複数回答）

「親がそばにいてやりたい」の割合が72.3%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が41.3%、「利用料がかかる・高い」が27.7%となっています。



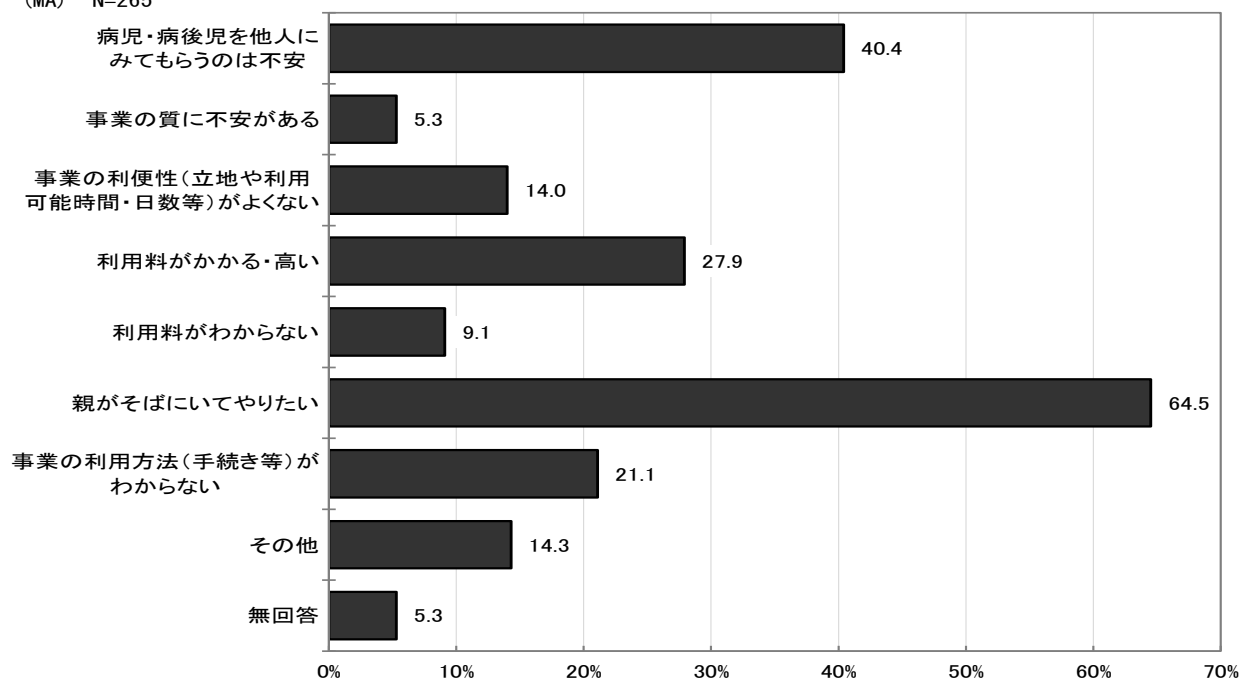
「利用したいとは思わなかった」が76.2%を占めています。

(SA) N=348



「親がそばにいてやりたい」が64.5%で最も高くなっています。次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が40.4%、「利用料がかかる・高い」が27.9%が続いています。

(MA) N=265



6. 育児休業制度について

(1) 育児休業の取得

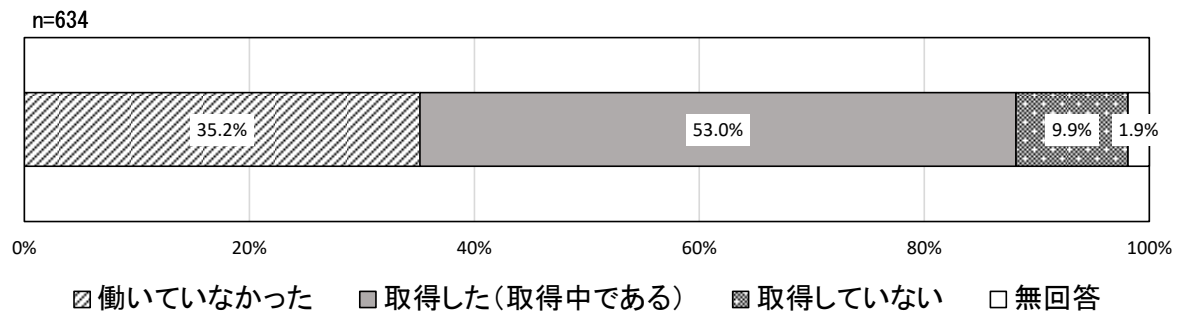
【未就学児】

あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

①母親

「取得した（取得中である）」の割合が 53.0%と最も高く、次いで「働いていなかった」が 35.2%、「取得していない」が 9.9%となっています。

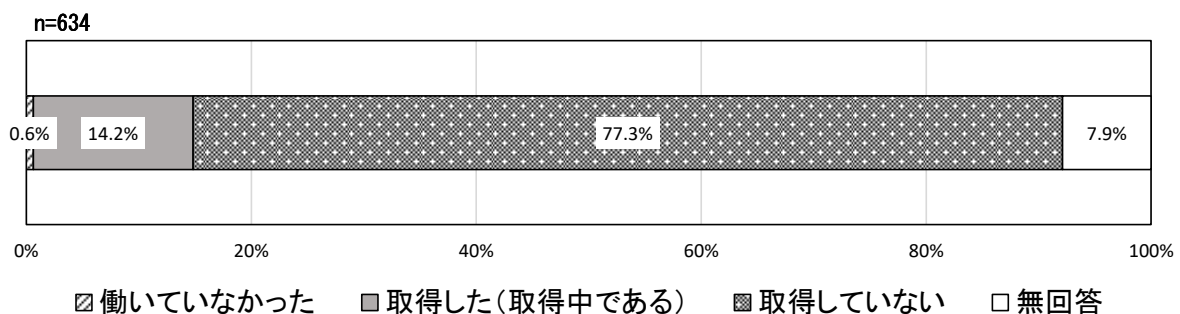
また、育児休業を取得した方の平均日数は 371 日となっています。



②父親

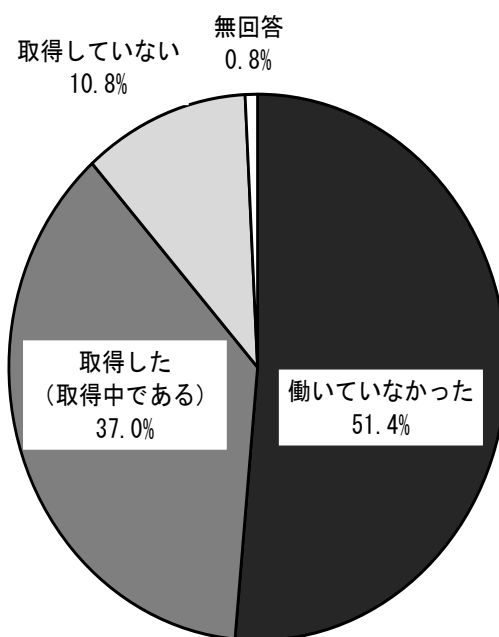
「取得していない」の割合が 77.3%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」が 14.2%、「働いていなかった」が 0.6%となっています。

また、育児休業を取得した方の平均日数は 30 日となっています。



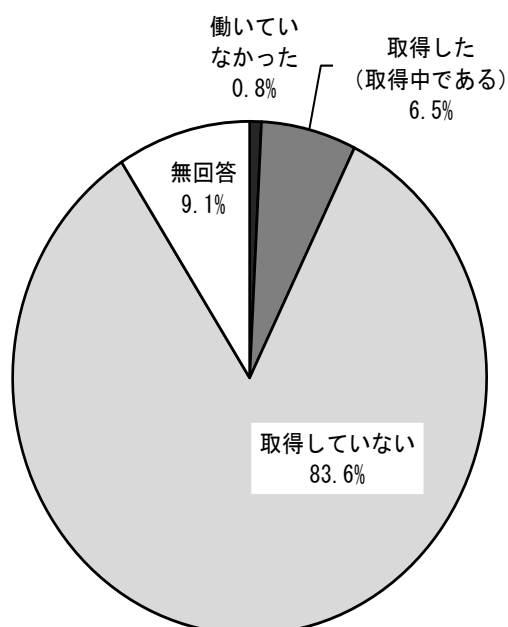
母親 「働いていなかった」が51.4%を占めています。

(SA) N=649



父親 「取得していない」が83.6%、「取得した」は、6.5%

(SA) N=649



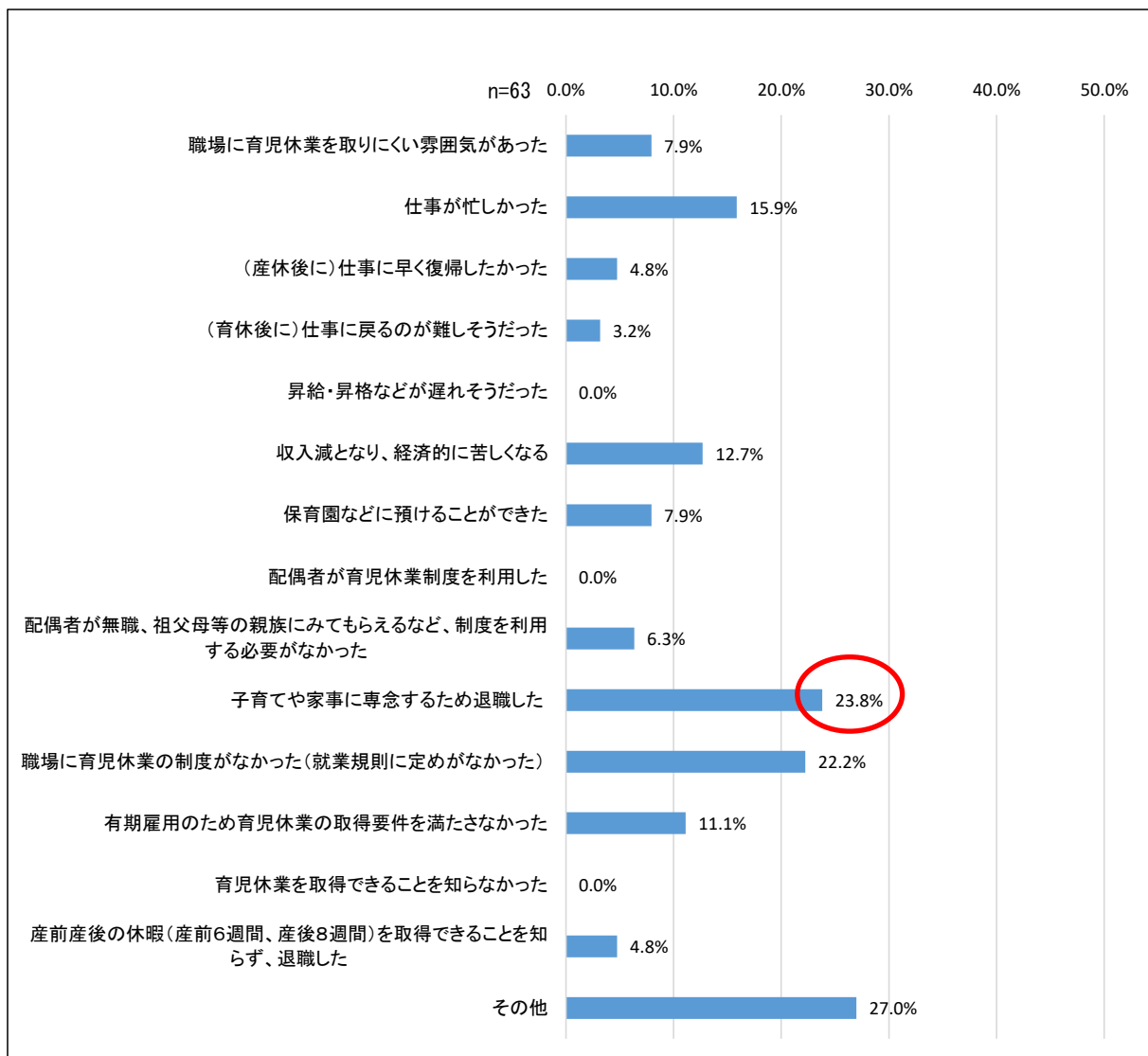
(2) 育児休業を取得していない理由

【未就学児】

「取得していない」に○をつけた方におうかがいします。取得していない理由は何ですか。(複数回答)

①母親

「その他（自営業のため、在宅勤務のため等）」の割合が27.0%と最も高く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」が23.8%、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が22.2%となっています。



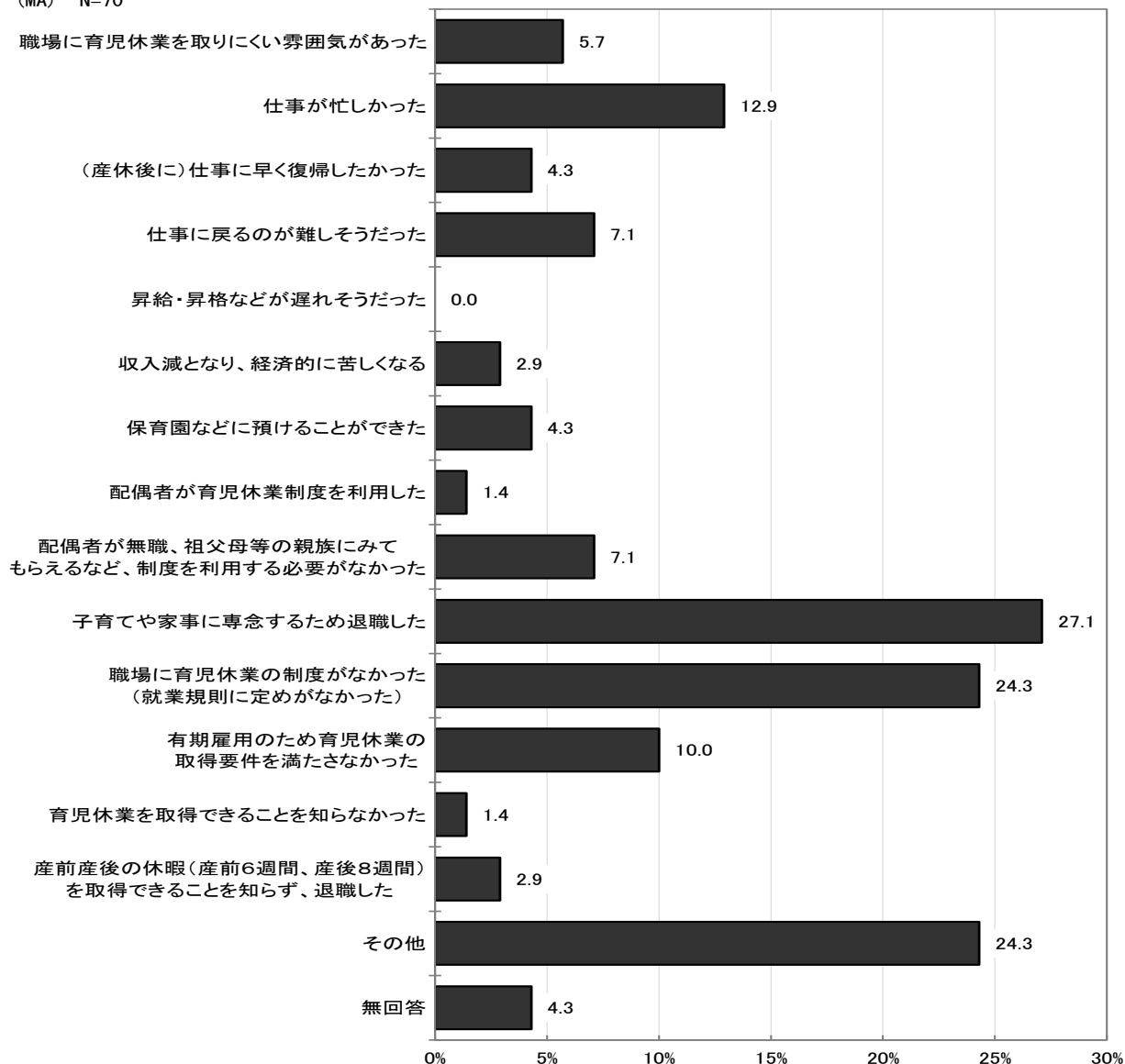
(2) 育児休業を取得していない理由 【未就学児】

「取得していない」に○をつけた方におうかがいします。取得していない理由は何ですか。(複数回答)

① 母親

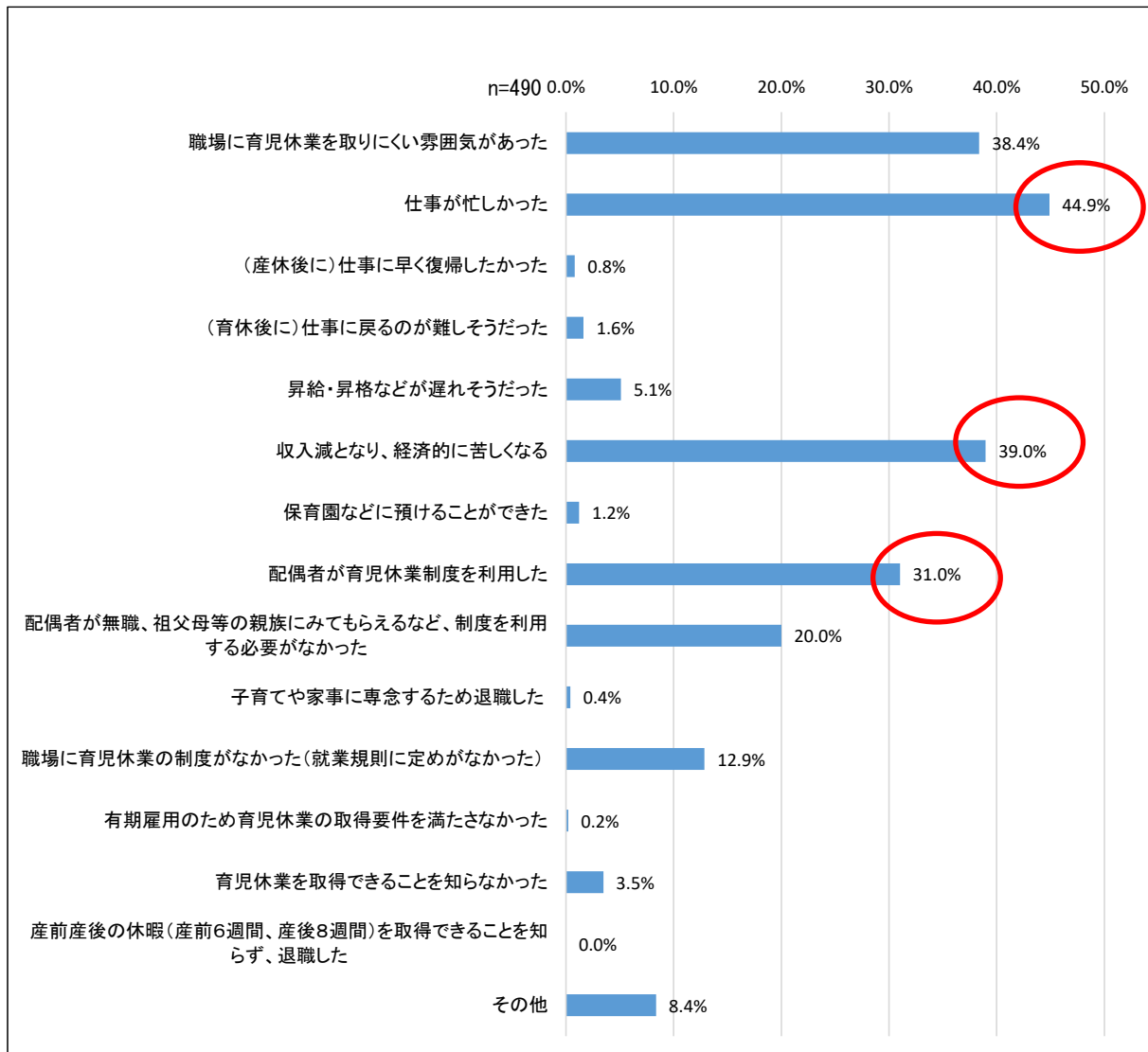
家事に専念するため退職した」が27.1%で最も高くなっています。次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」「その他」が24.3%が続いています。

(MA) N=70



②父親

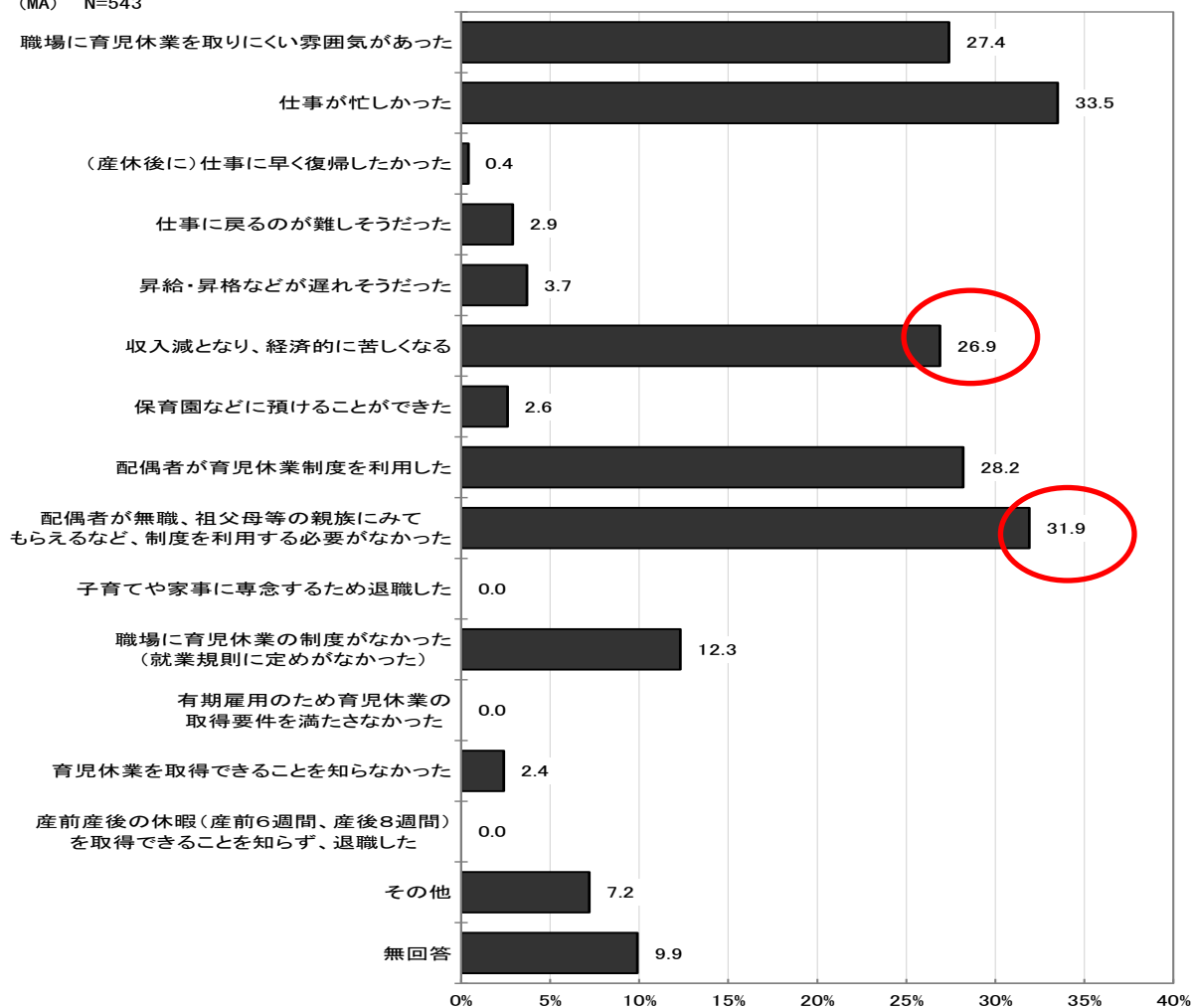
「仕事が忙しかった」の割合が44.9%と最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」が39.0%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が38.4%となっています。



②父親

「仕事が忙しかった」が33.5%で最も高くなっています。次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が31.9%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が28.2%で続いています。

(MA) N=543



7. お子さんの放課後の過ごし方について 【小学生】

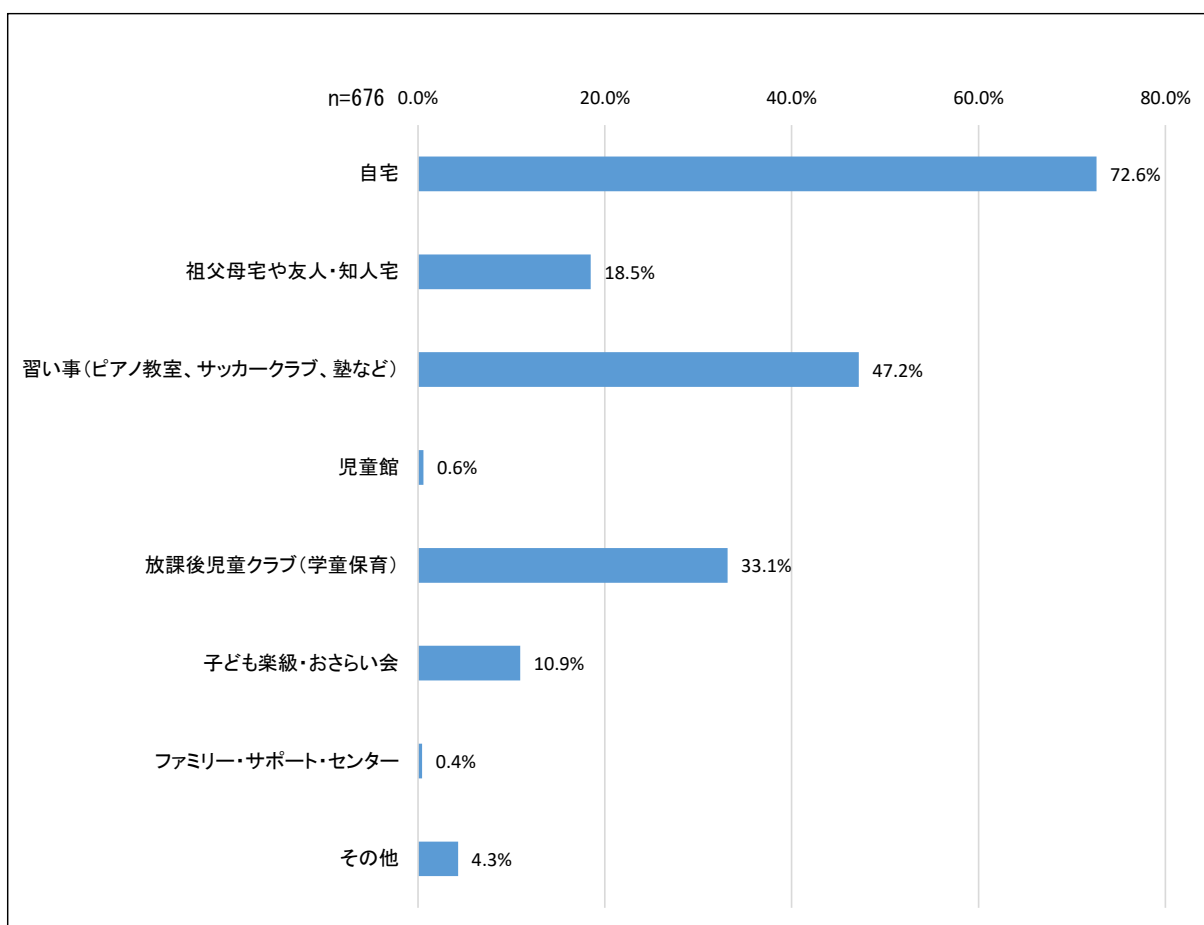
(1) お子さんの放課後についてどのような場所で過ごさせたいと思うか

お子さんについて、現在、放課後の時間をどのような場所で過ごさせていますか。

(複数回答)

「自宅」の割合が72.6%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、塾など）」が47.2%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が33.1%となっています。

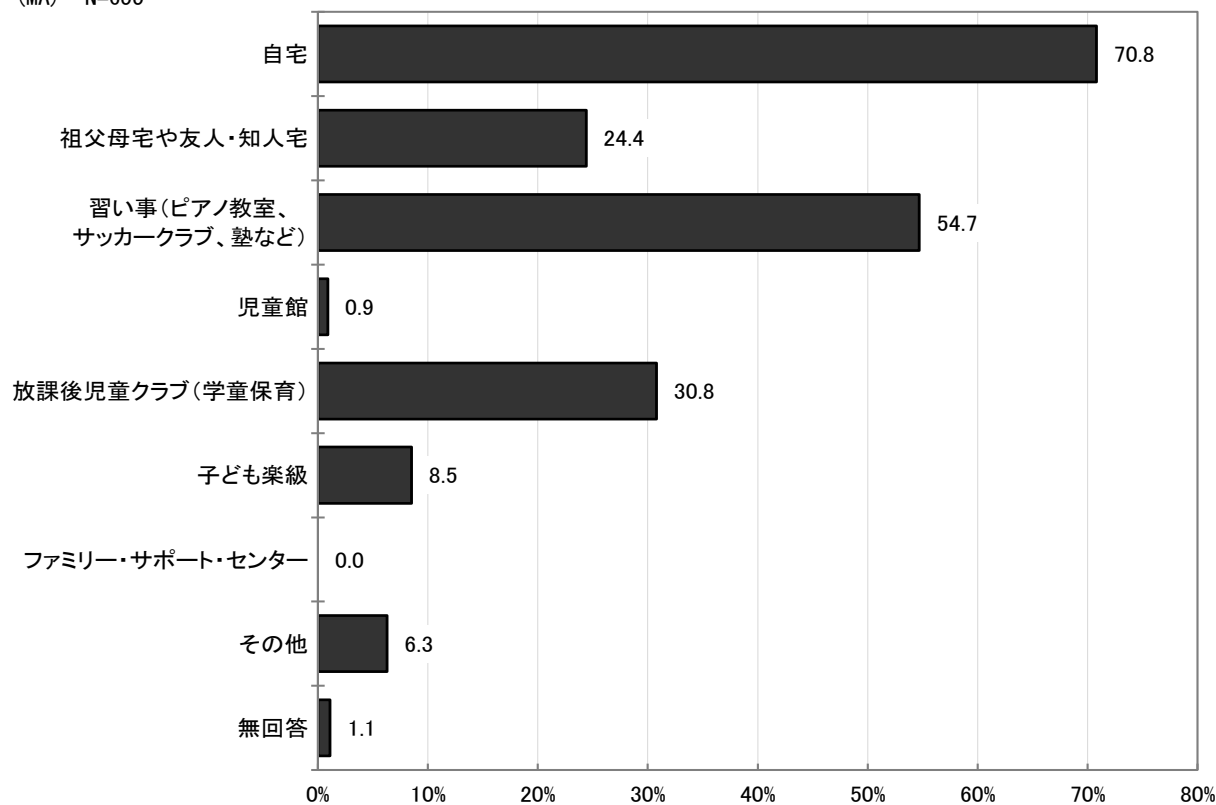
また、「放課後児童クラブ（学童保育）」と回答した方の利用希望時間は下校時から平均で17時までが最も多くなっています。



項目	週平均利用日数
自宅	4日
祖父母宅や友人・知人宅	3日
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、塾など）	2日
児童館	2日
放課後児童クラブ（学童保育）	4日
子ども楽級・おさらい会	2日（ひと月あたり）
ファミリー・サポート・センター	3日
その他（外で遊ぶ、公園、友人宅、放課後デイサービス等）	2日

「自宅」が70.8%で最も高くなっています。次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、塾など)」が54.7%、「放課後児童クラブ(学童保育)」が30.8%が続いています。

(MA) N=655



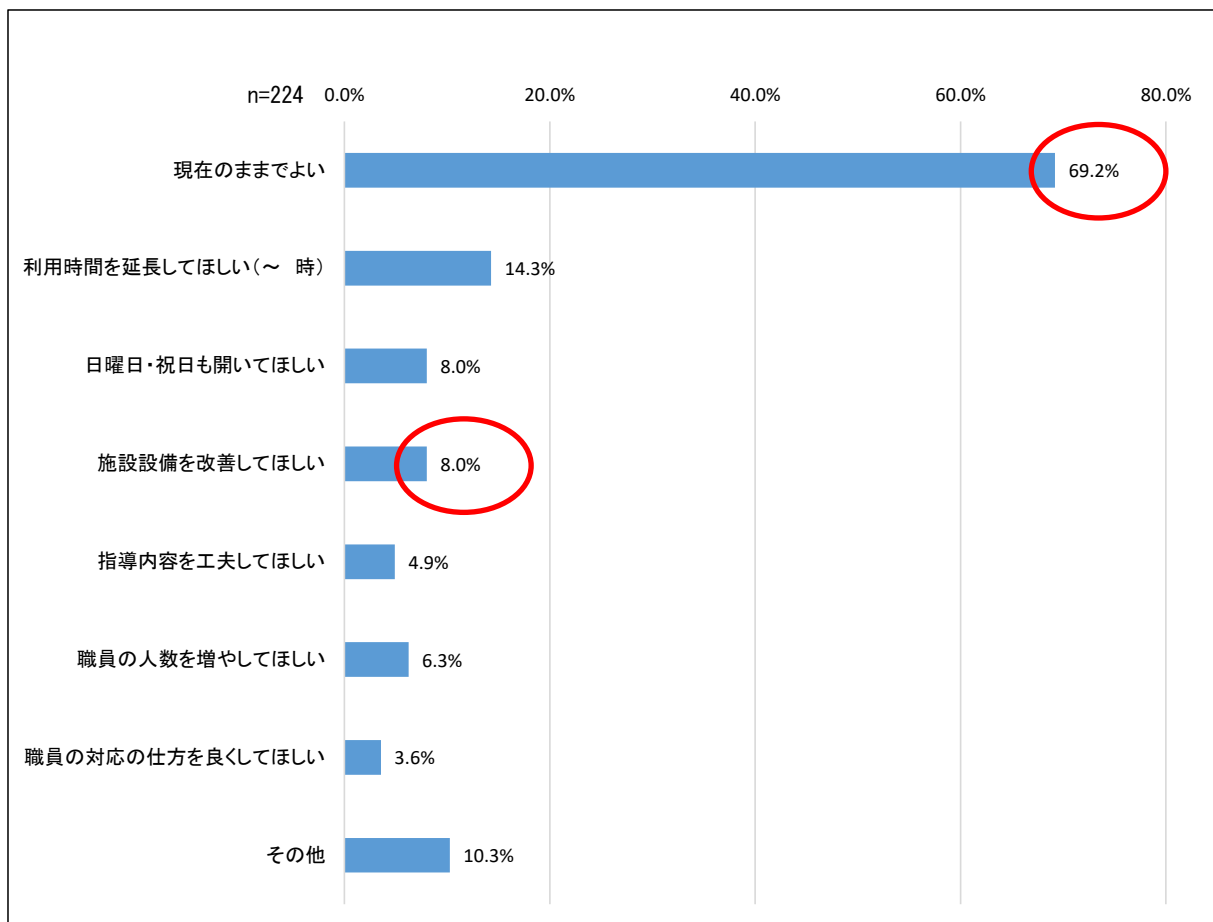
(2) 放課後児童クラブに対して、どのように感じているか

【小学生】

「放課後児童クラブ（学童保育）」に〇をつけた方におうかがいします。現在通っている放課後児童クラブに対して、どのように感じていますか。（複数回答）

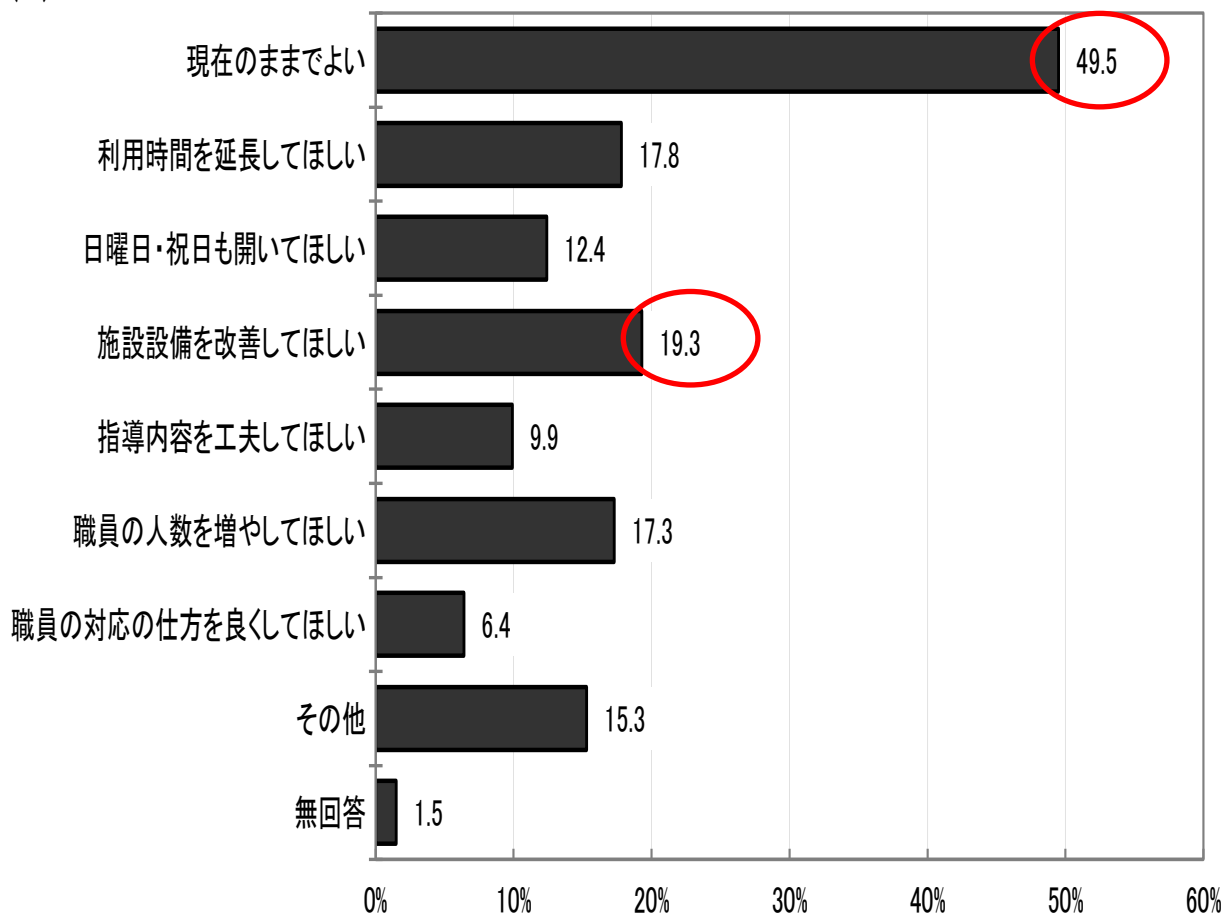
「現在のままでよい」の割合が 69.2%と最も高く、次いで「利用時間を延長してほしい」が 14.3%、「その他（長期休暇のみの利用、料金を安くしてほしい等）」が 10.3%となっています。

また、「利用時間を延長してほしい」と回答した方の平均希望時間は 19 時となっています。



「現在のままでよい」が49.5%。「施設設備を改善してほしい」が19.3%、「利用時間を延長してほしい」が17.8%が続いています。

(MA) N=202



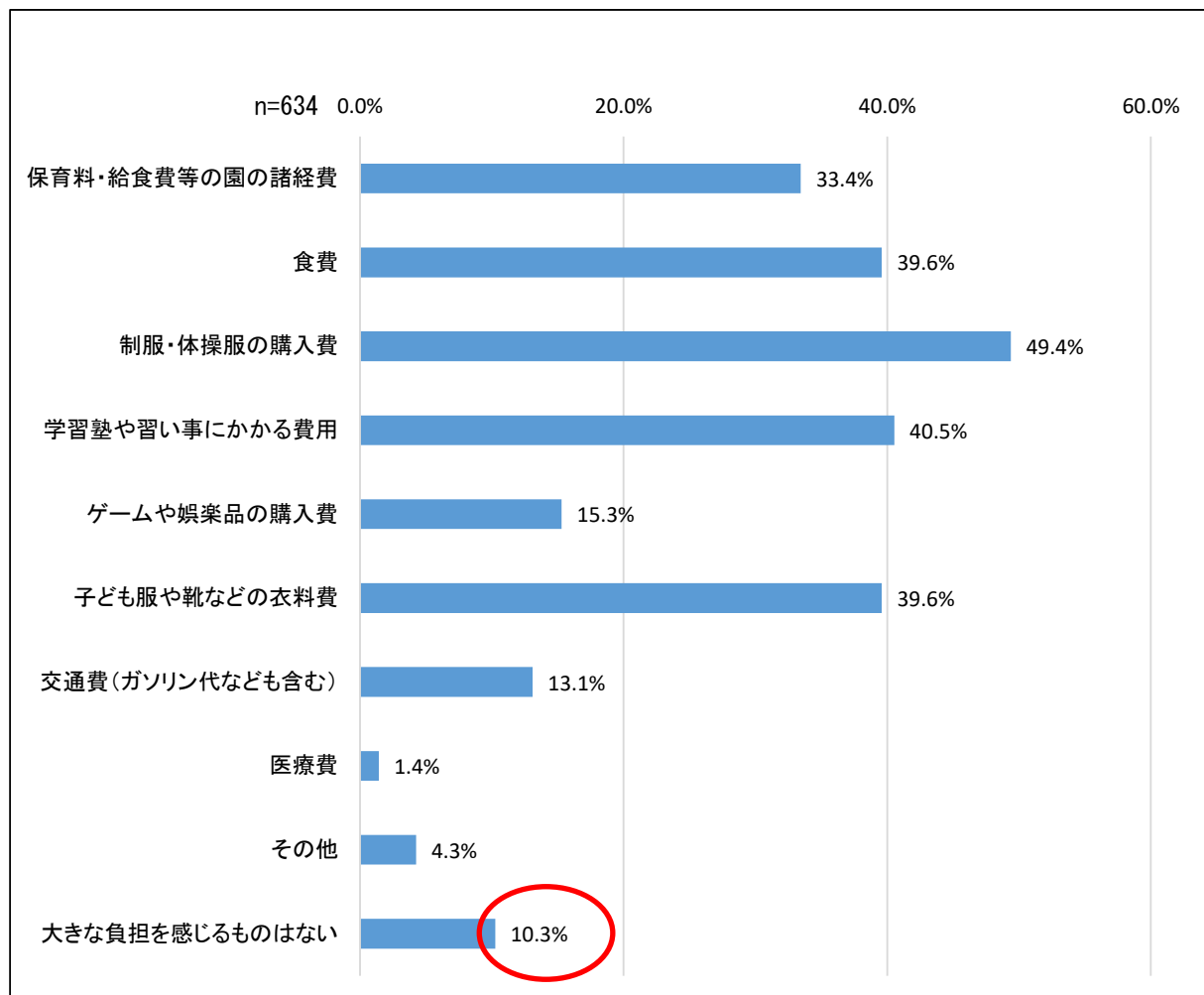
8. 子どもの生活実態について

(1) 経済的に負担が大きいと感じるもの

お子さんにかかる費用のうち、経済的に負担が大きいと感じるものは何ですか。
(複数回答)

【未就学児】

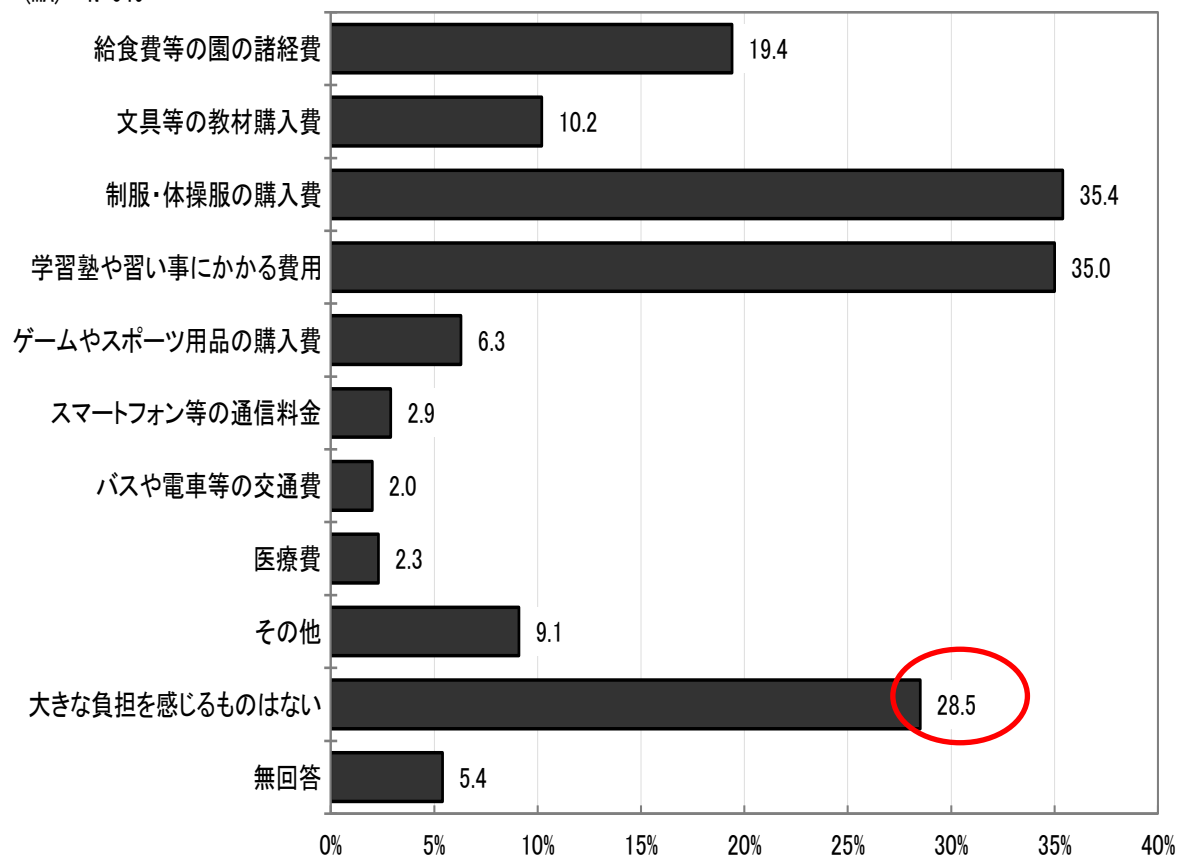
「制服・体操服の購入費」の割合が49.4%と最も高く、次いで「学習塾や習い事にかかる費用」が40.5%、「食費」「子ども服や靴などの衣料費」が39.6%となっています。



【未就学児】

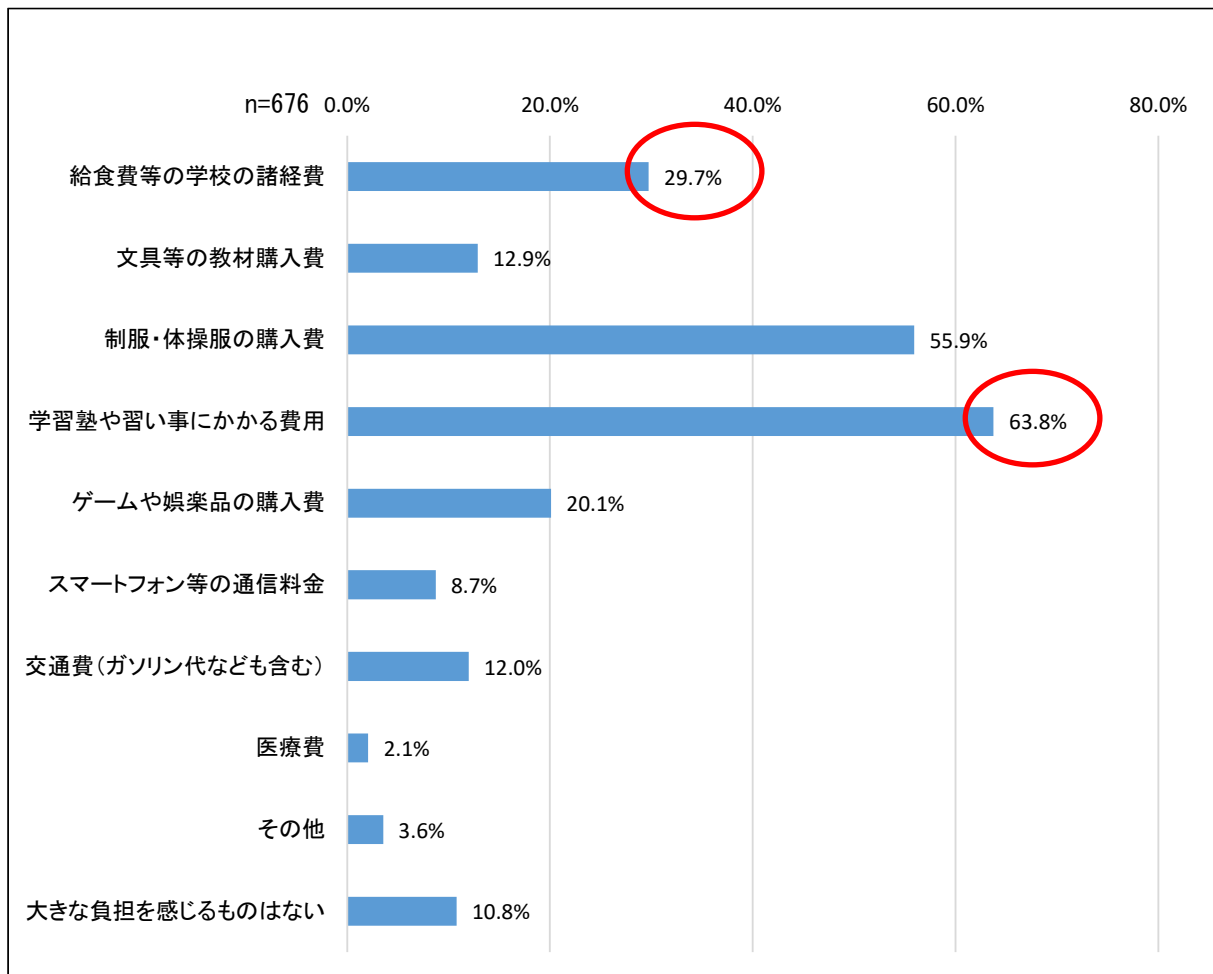
「制服・体操服の購入費」が35.4%で最も高くなっています。次いで「学習塾や習い事にかかる費用」が35.0%、「大きな負担を感じるものはない」が28.5%が続いています。

(MA) N=649



【小学生】

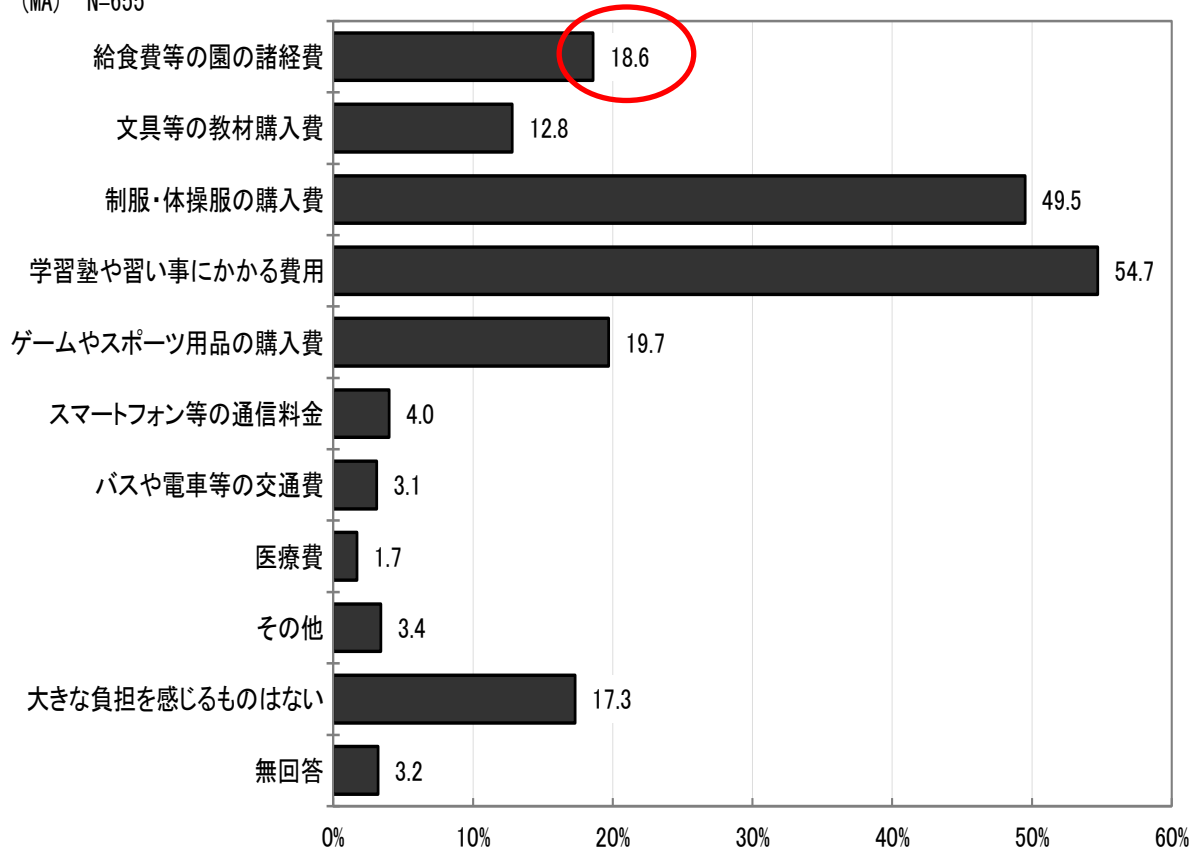
「学習塾や習い事にかかる費用」の割合が63.8%と最も高く、次いで「制服・体操服の購入費」が55.9%、「給食費等の学校の諸経費」が29.7%となっています。



【小学生】

「学習塾や習い事にかかる費用」が54.7%、「制服・体操服の購入費」が49.5%で群を抜いて高くなっています。「ゲームやスポーツ用品の購入費」が19.7%が続いています。

(MA) N=655

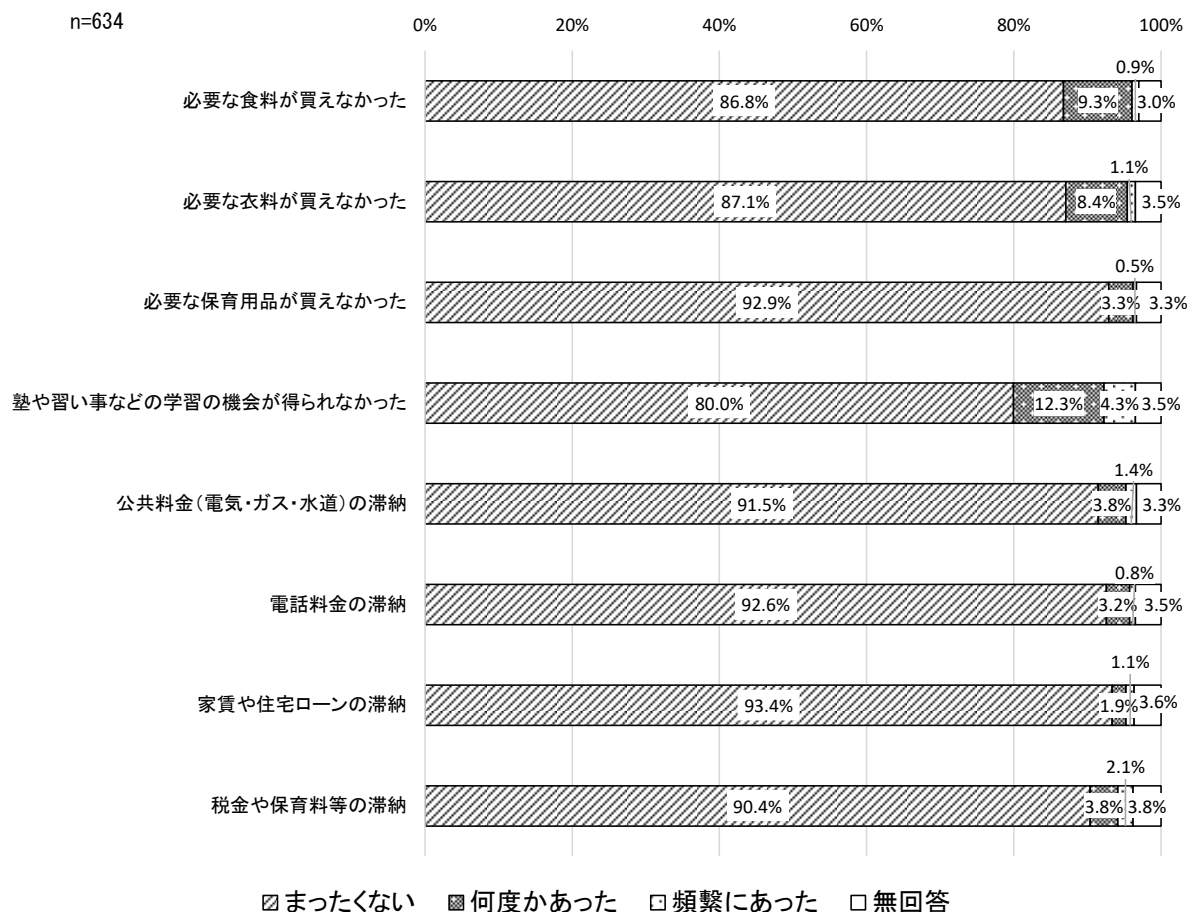


(2) 経済的な理由による必要な食料が買えなかった等の経験の有無

あなたの世帯（家庭）では、過去1年間に、経済的な理由による次のような経験がありましたか。

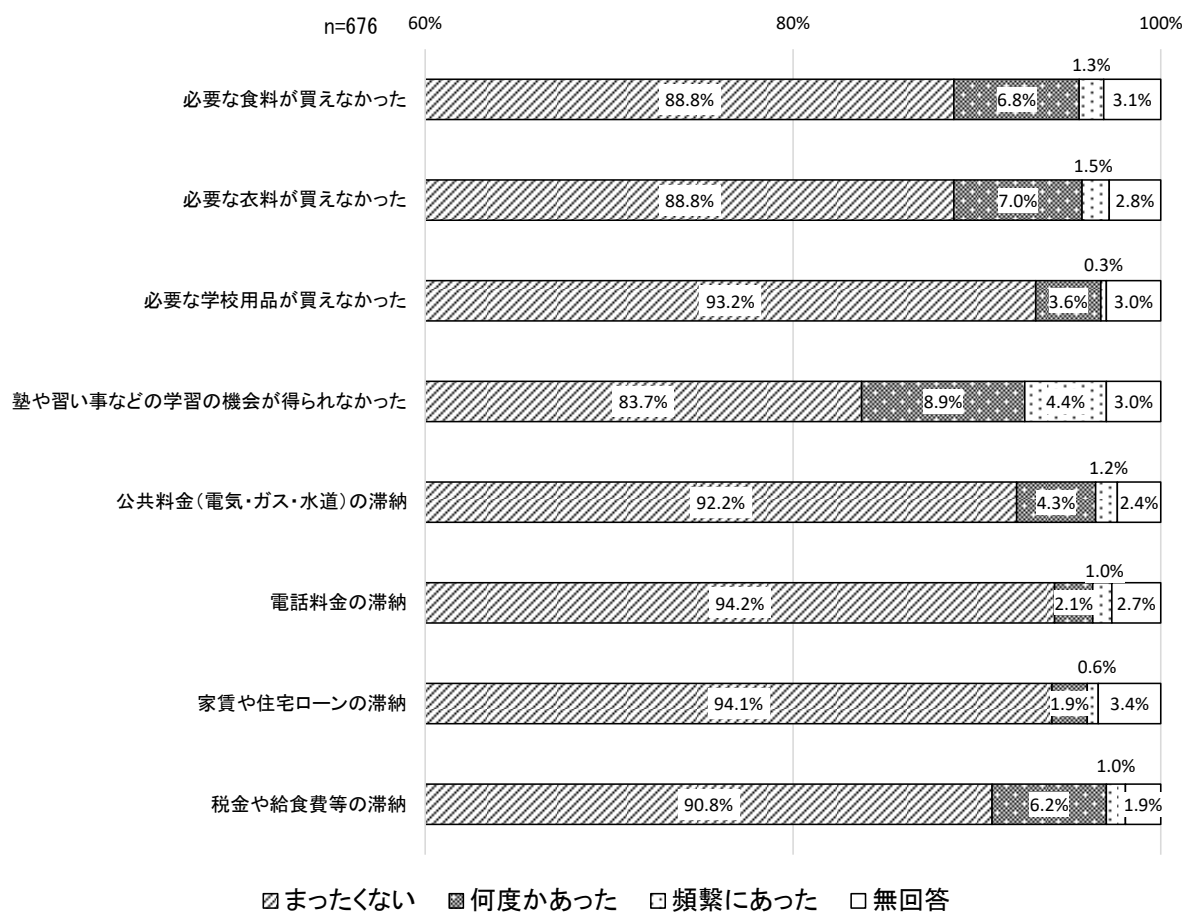
【未就学児】

全ての項目で「まったくない」の割合が最も高くなっています。一方、「塾や習い事などの学習の機会が得られなかった」では「何度かあった」の割合が他の項目と比較してやや高くなっています。



【小学生】

全ての項目で「まったくない」の割合が最も高くなっています。一方、「塾や習い事などの学習の機会が得られなかった」では「頻繁にあった」の割合が他の項目と比較してやや高くなっています。



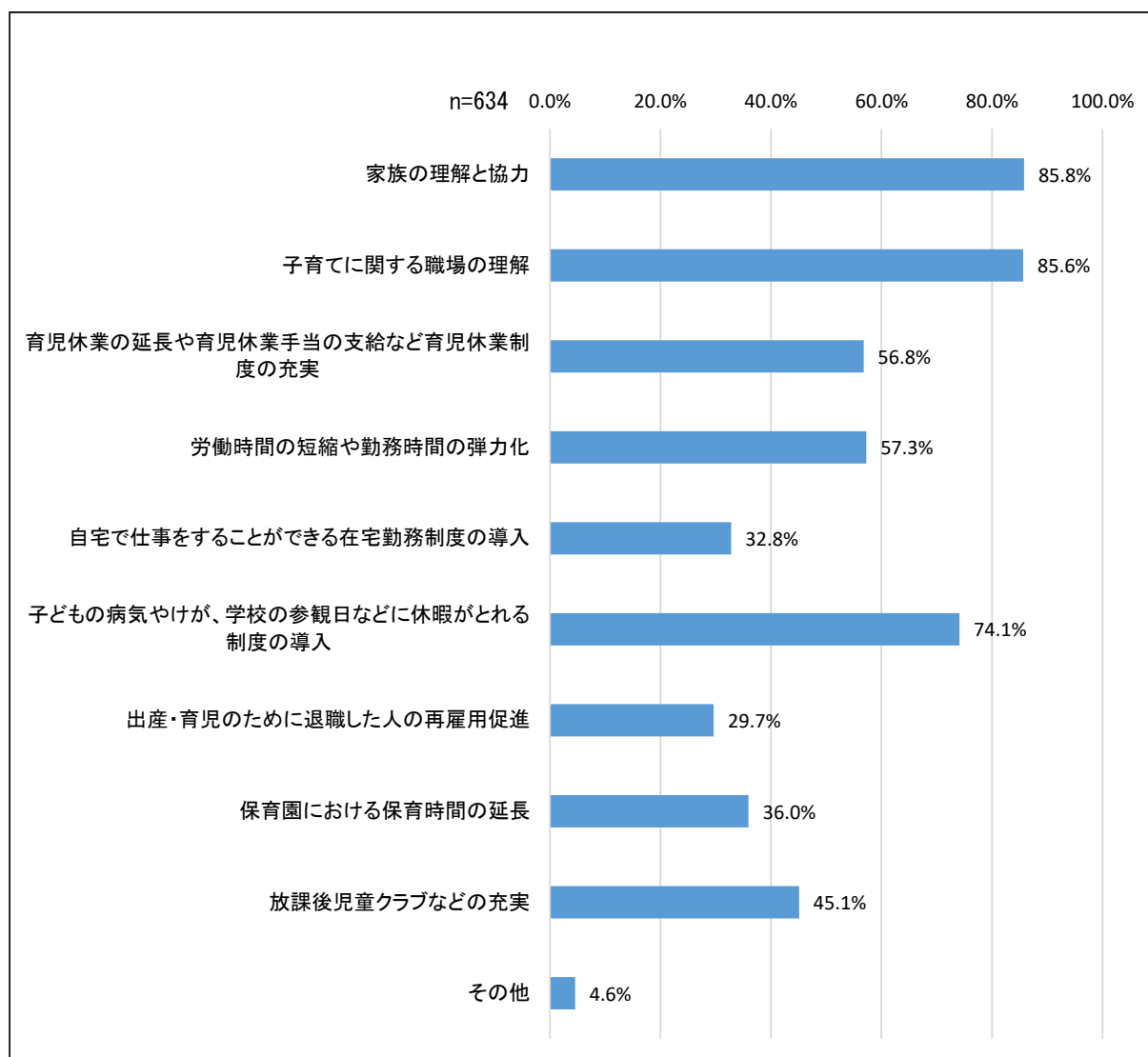
9. 子育て全般について

(1) 仕事と子育てを両立させるために必要なこと

仕事と子育てを両立させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

【未就学児】

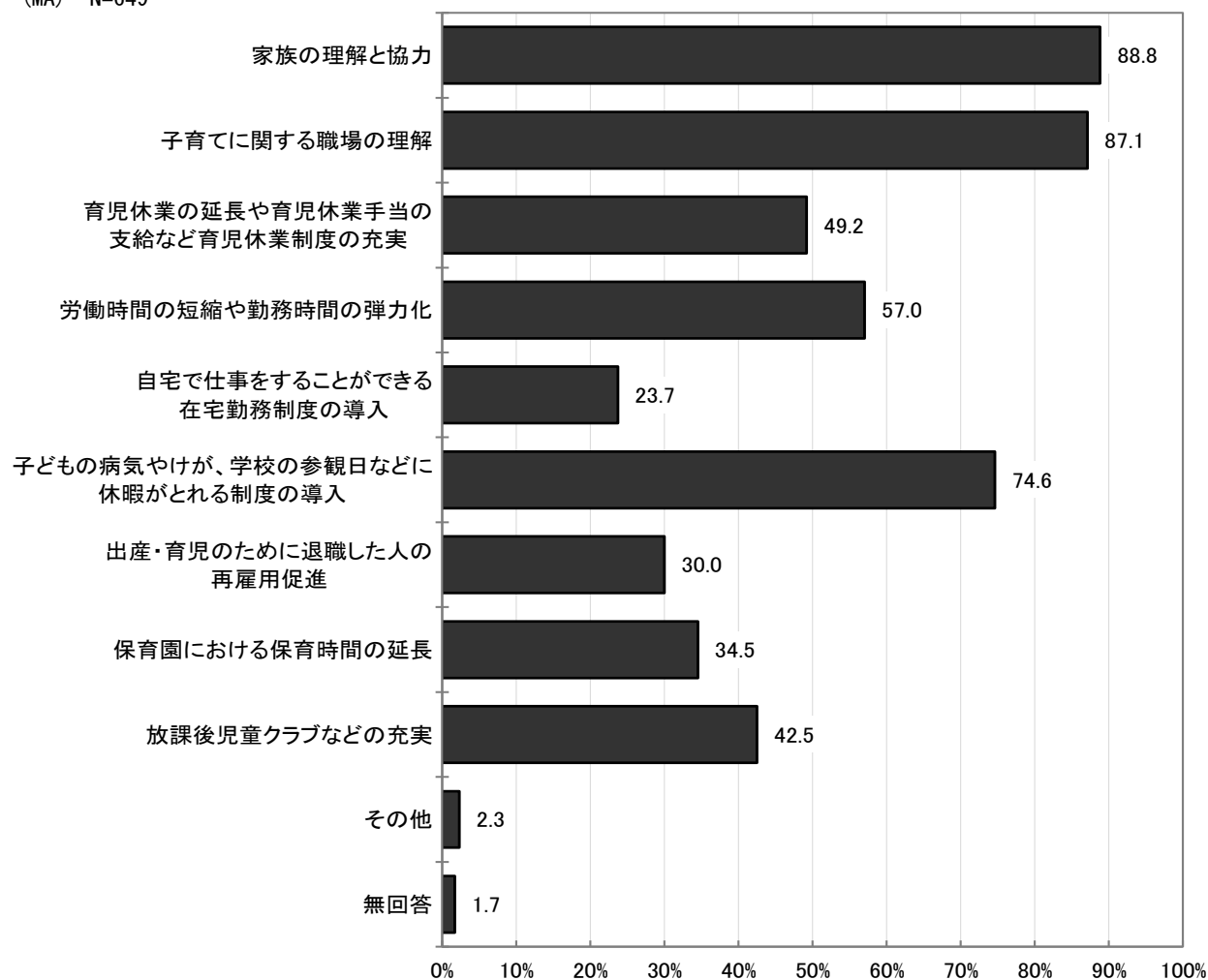
「家族の理解と協力」の割合が85.8%と最も高く、次いで「子育てに関する職場の理解」が85.6%、「子どもの病気やけが、学校の参観日などに休暇がとれる制度の導入」が74.1%となっています。



【未就学児】

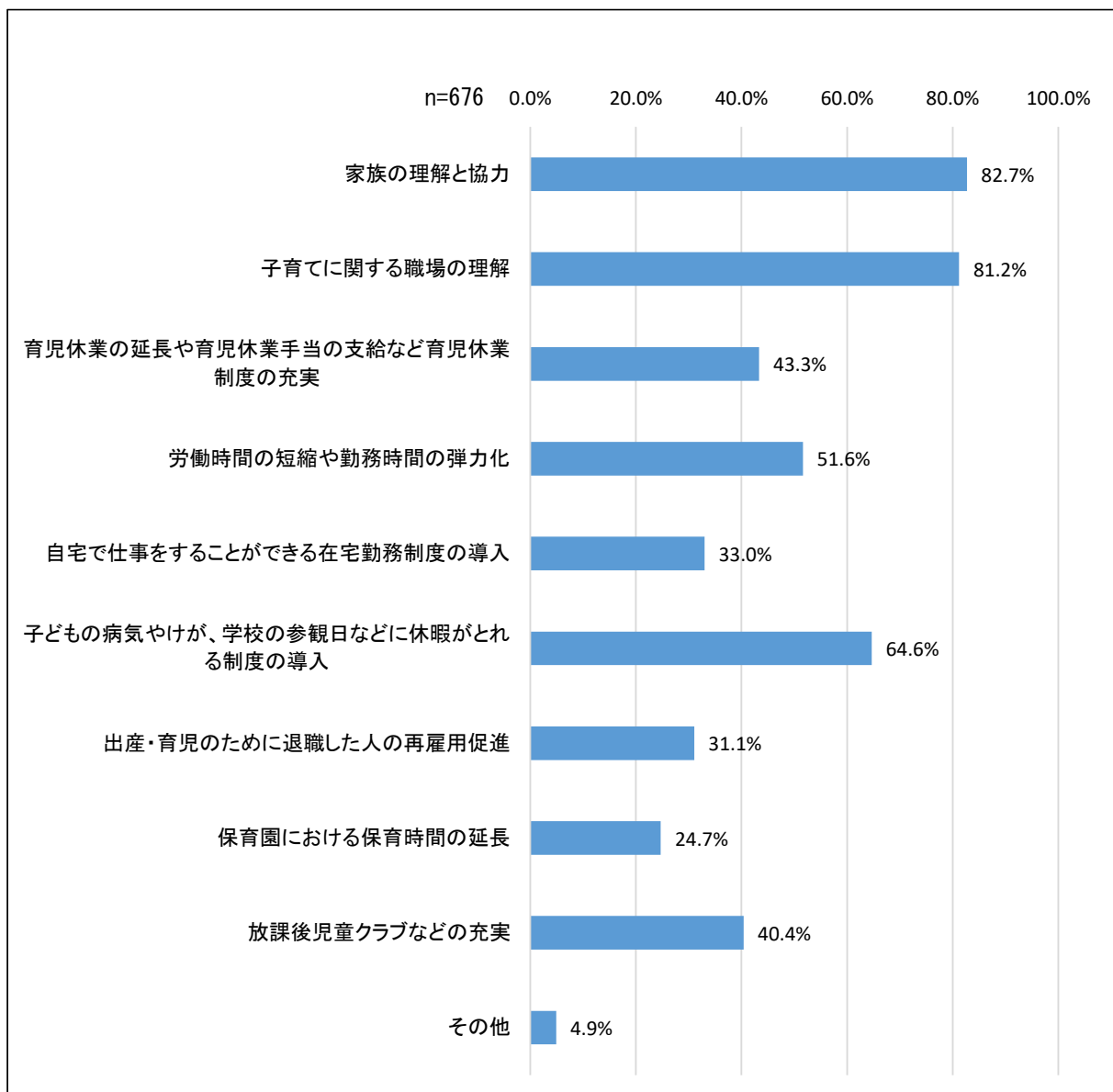
「家族の理解と協力」が88.8%で最も高くなっています。次いで「子育てに関する職場の理解」が87.1%、「子どもの病気やけが、学校の参観日などに休暇がとれる制度の導入」が74.6%で続いています。

(MA) N=649



【小学生】

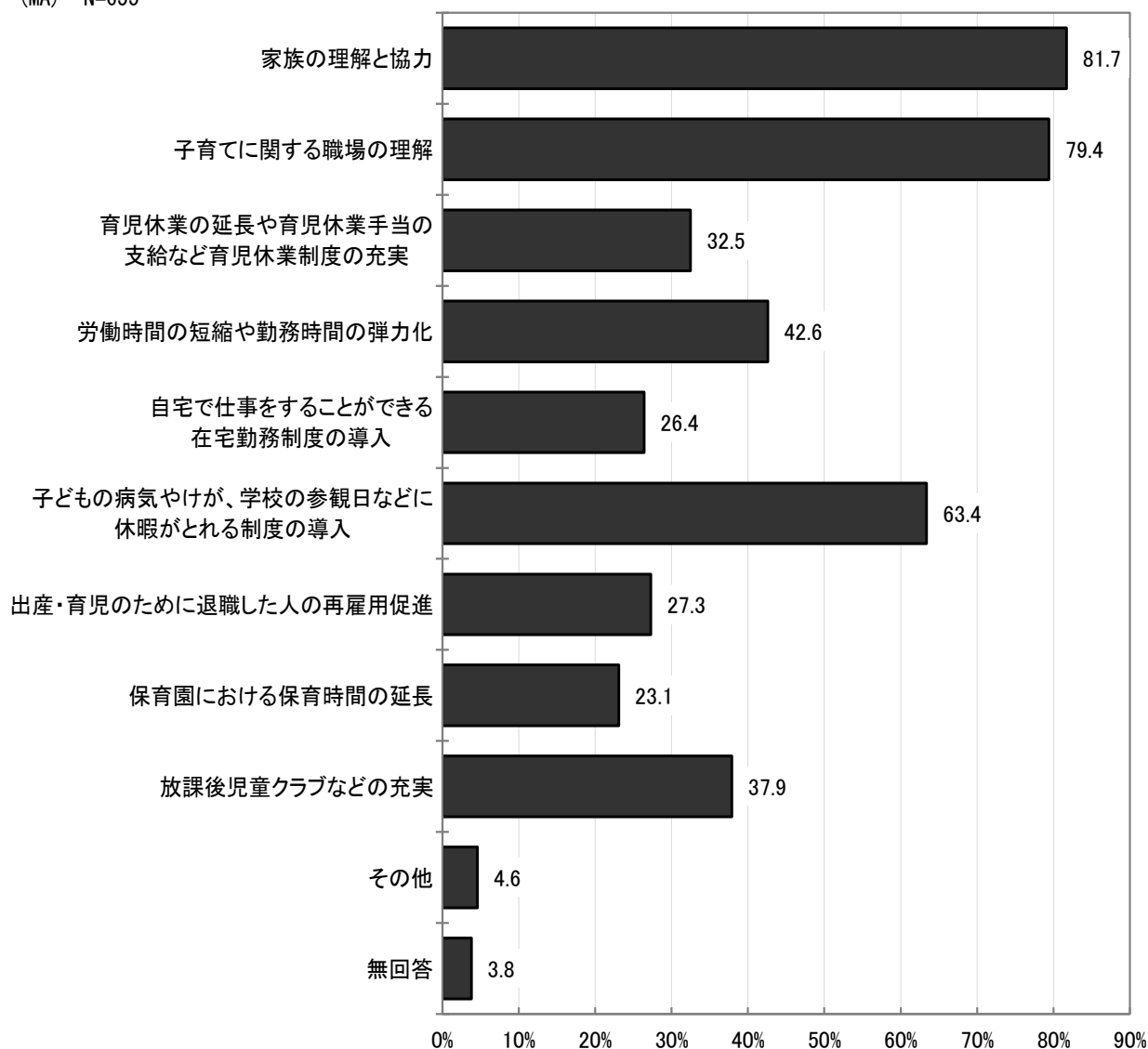
「家族の理解と協力」の割合が82.7%と最も高く、次いで「子育てに関する職場の理解」が81.2%、「子どもの病気やけが、学校の参観日などに休暇がとれる制度の導入」が64.6%となっています。



【小学生】

「家族の理解と協力」が81.7%で最も高くなっています。次いで「子育てに関する職場の理解」が79.4%、「子どもの病気やけが、学校の参観日などに休暇がとれる制度の導入」が63.4%で続いています。

(MA) N=655

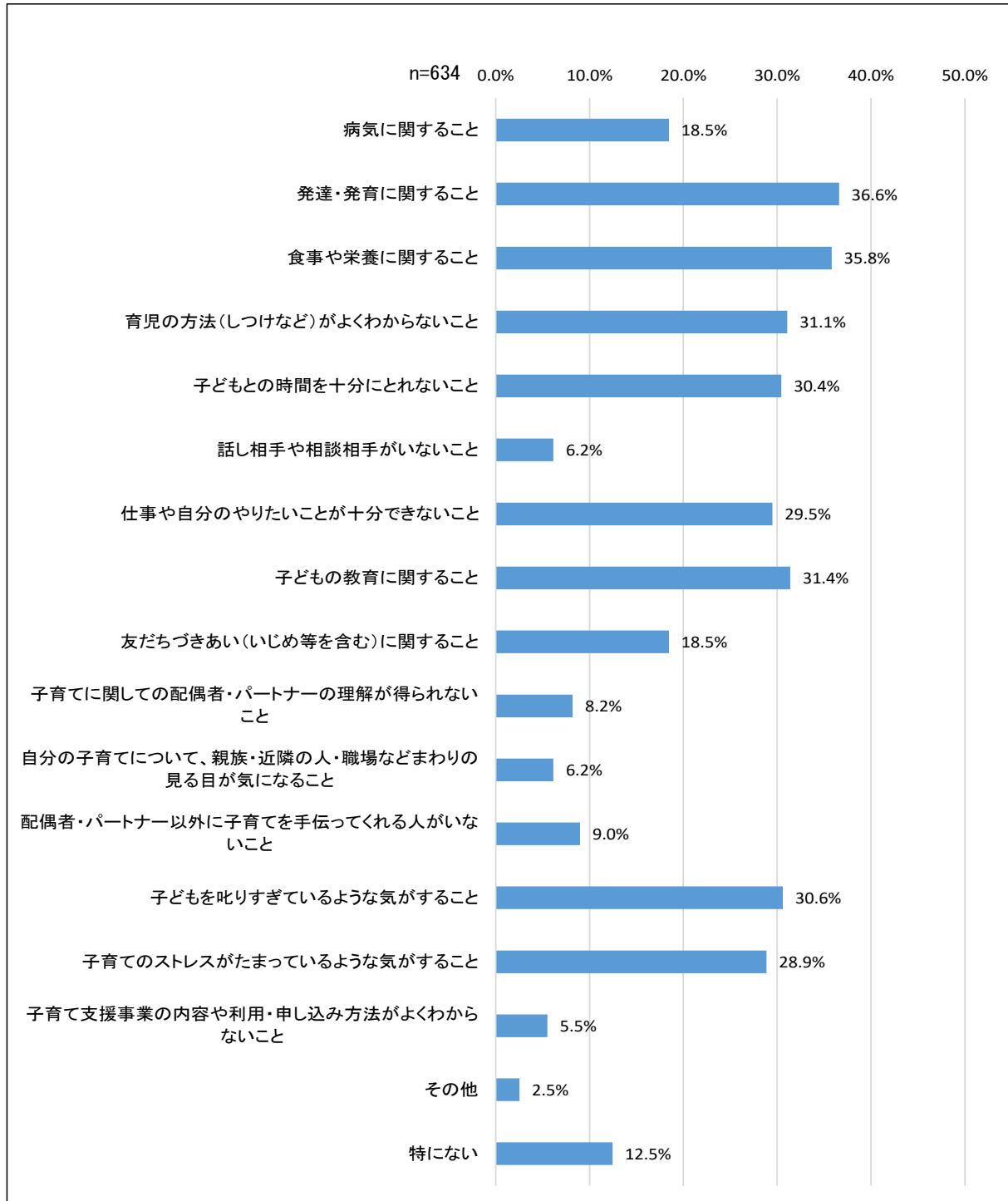


(2) 子育てを中心に、日常悩んでいること、または気になること

子育てを中心に、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
(複数回答)

【未就学児】

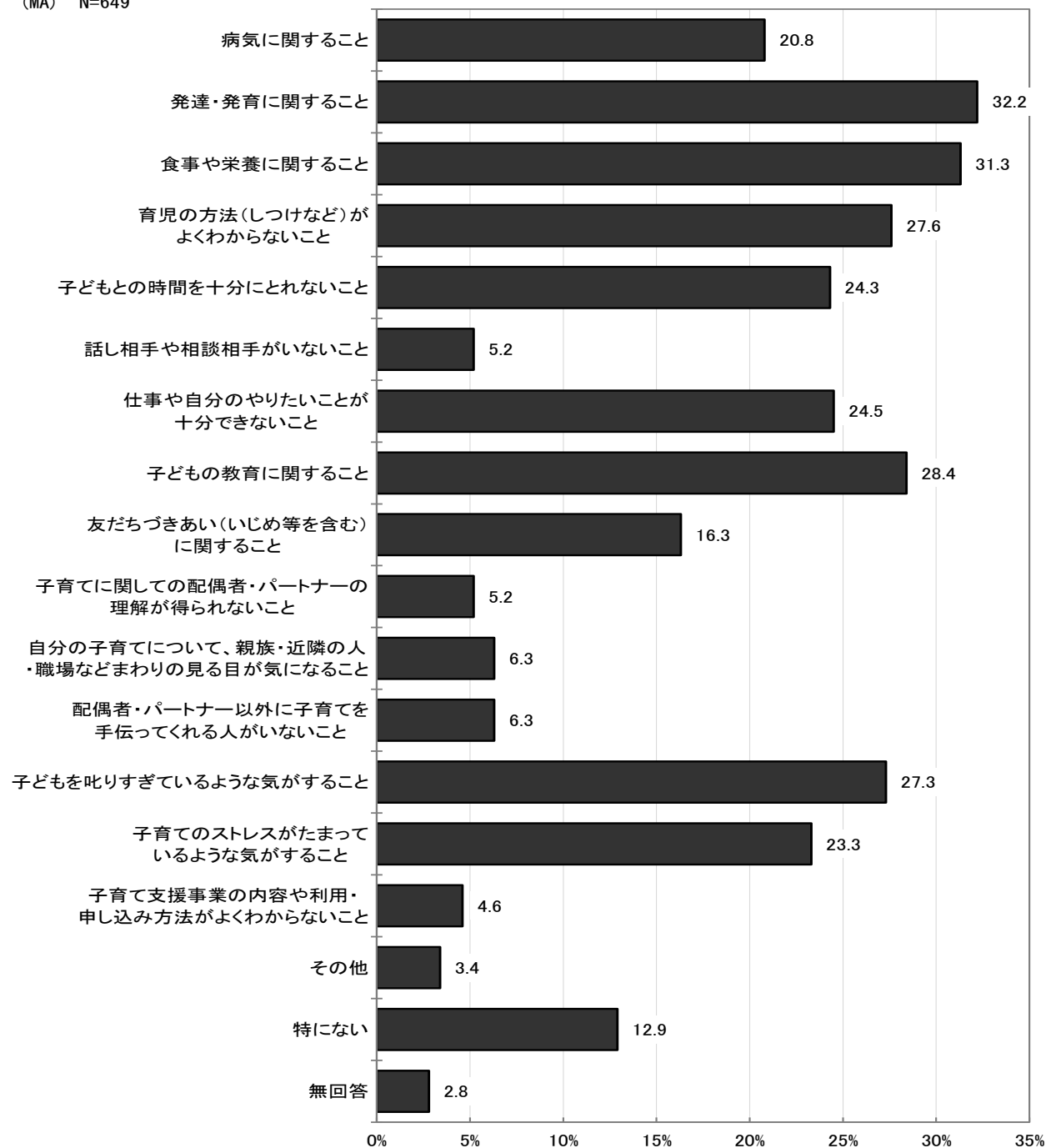
「発達・発育に関すること」の割合が36.6%と最も高く、次いで「食事や栄養に関すること」が35.8%、「子どもの教育に関すること」が31.4%となっています。



【未就学児】

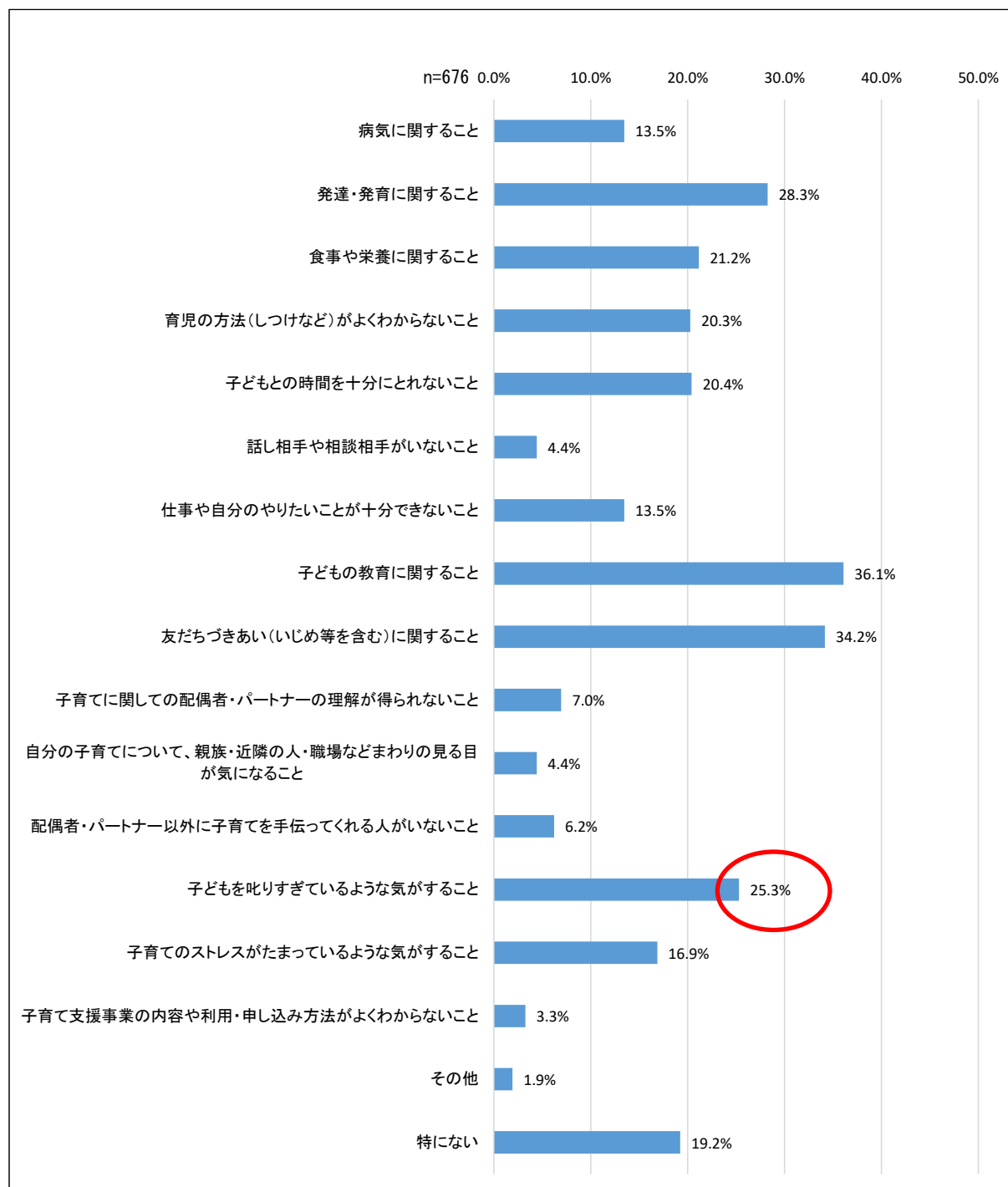
「発達・育児に関すること」が32.2%で最も高くなっています。次いで「食事や栄養に関すること」が31.3%、「子どもの教育に関すること」が28.4%が続いています。

(MA) N=649



【小学生】

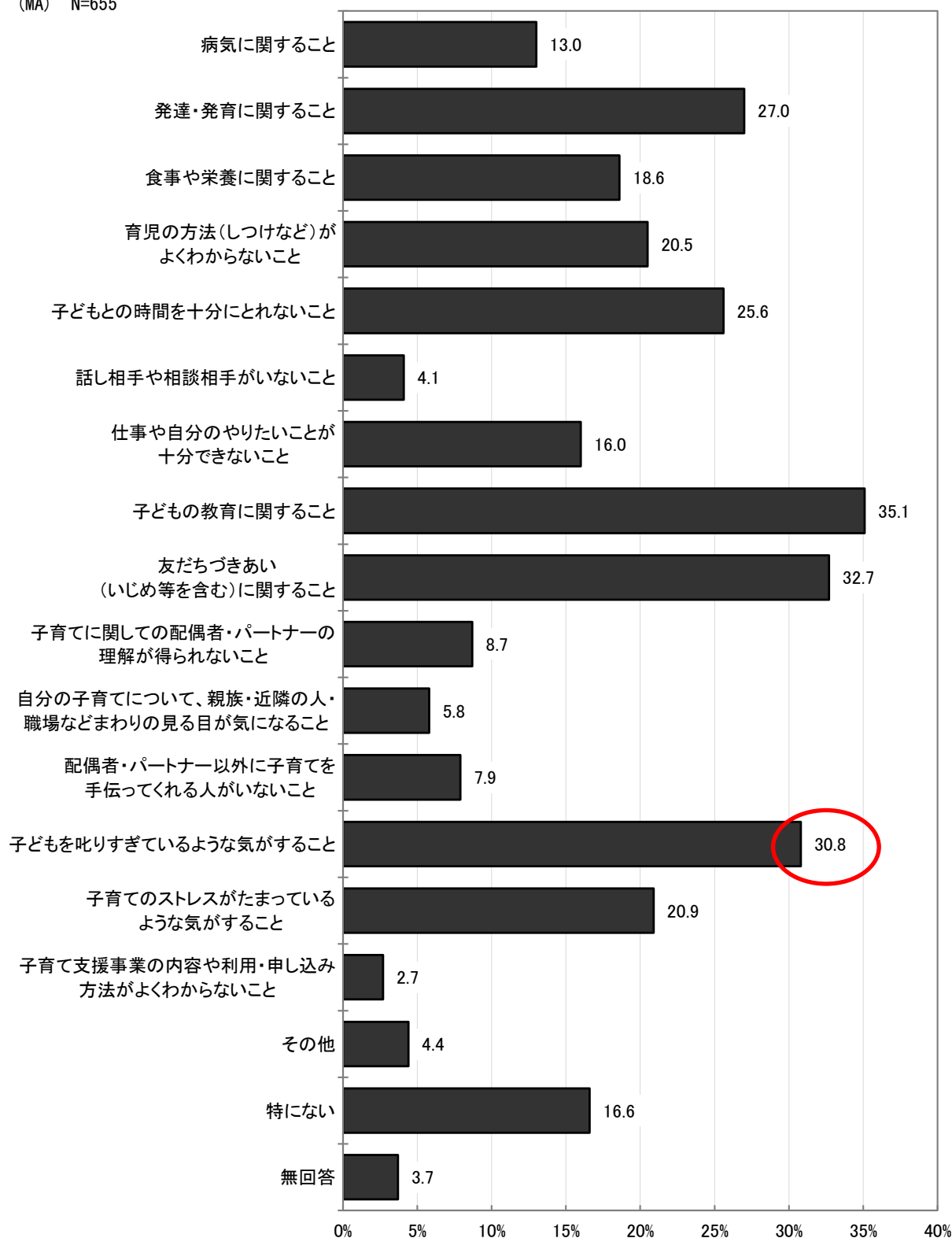
「子どもの教育に関すること」の割合が36.1%と最も高く、次いで「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」が34.2%、「発達・発育に関すること」が28.3%となっています。



【小学生】

「子どもの教育に関すること」が35.1%で最も高くなっています。次いで「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」が32.7%、「子どもを叱りすぎているような気がすること」が30.8%が続いています。

(MA) N=655

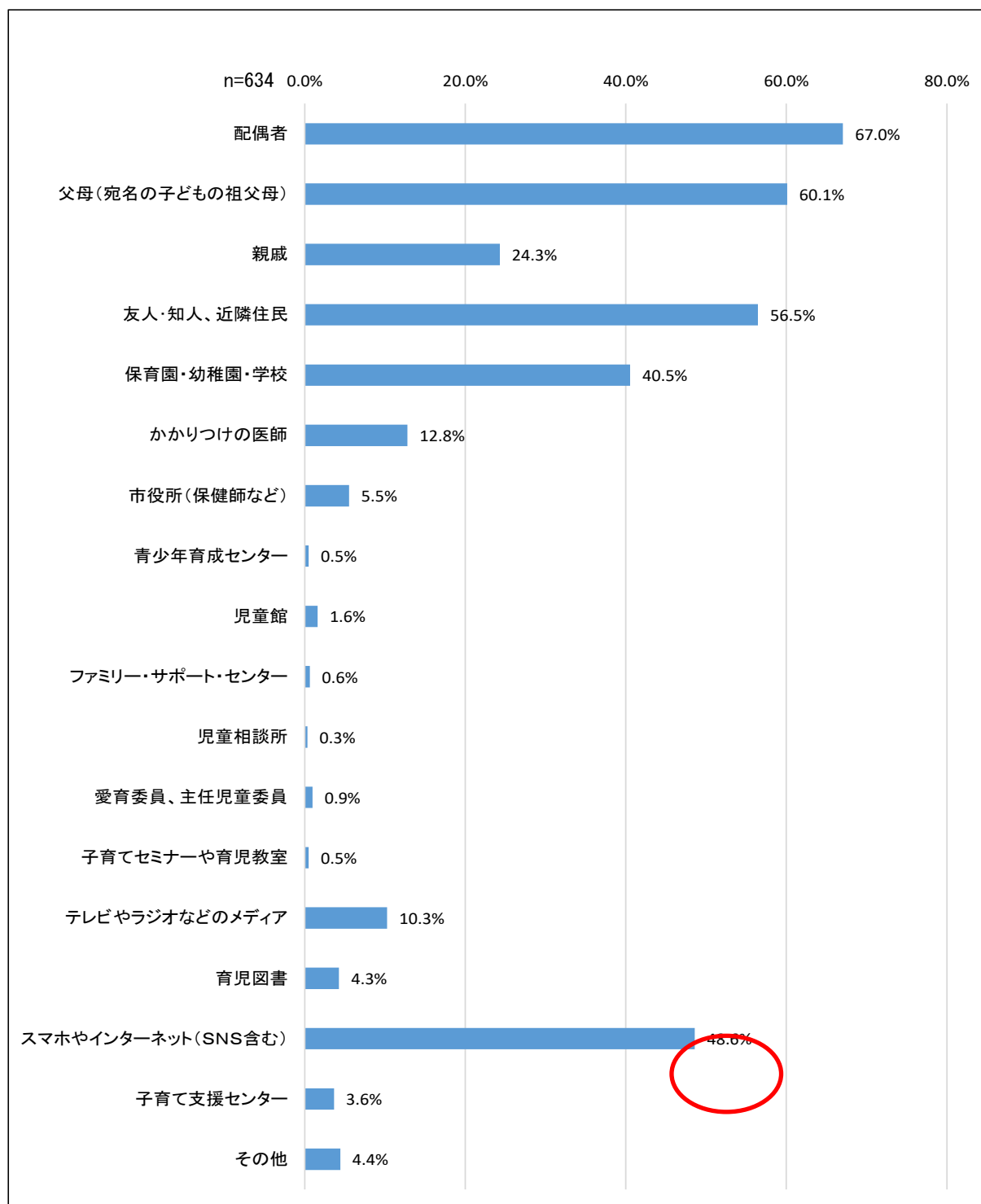


(3) 子育てに関する不安や悩みを解消するために利用している情報源や相談先

子育てに関する不安や悩みを解消するために利用している情報源や相談先はどこですか。(複数回答)

【未就学児】

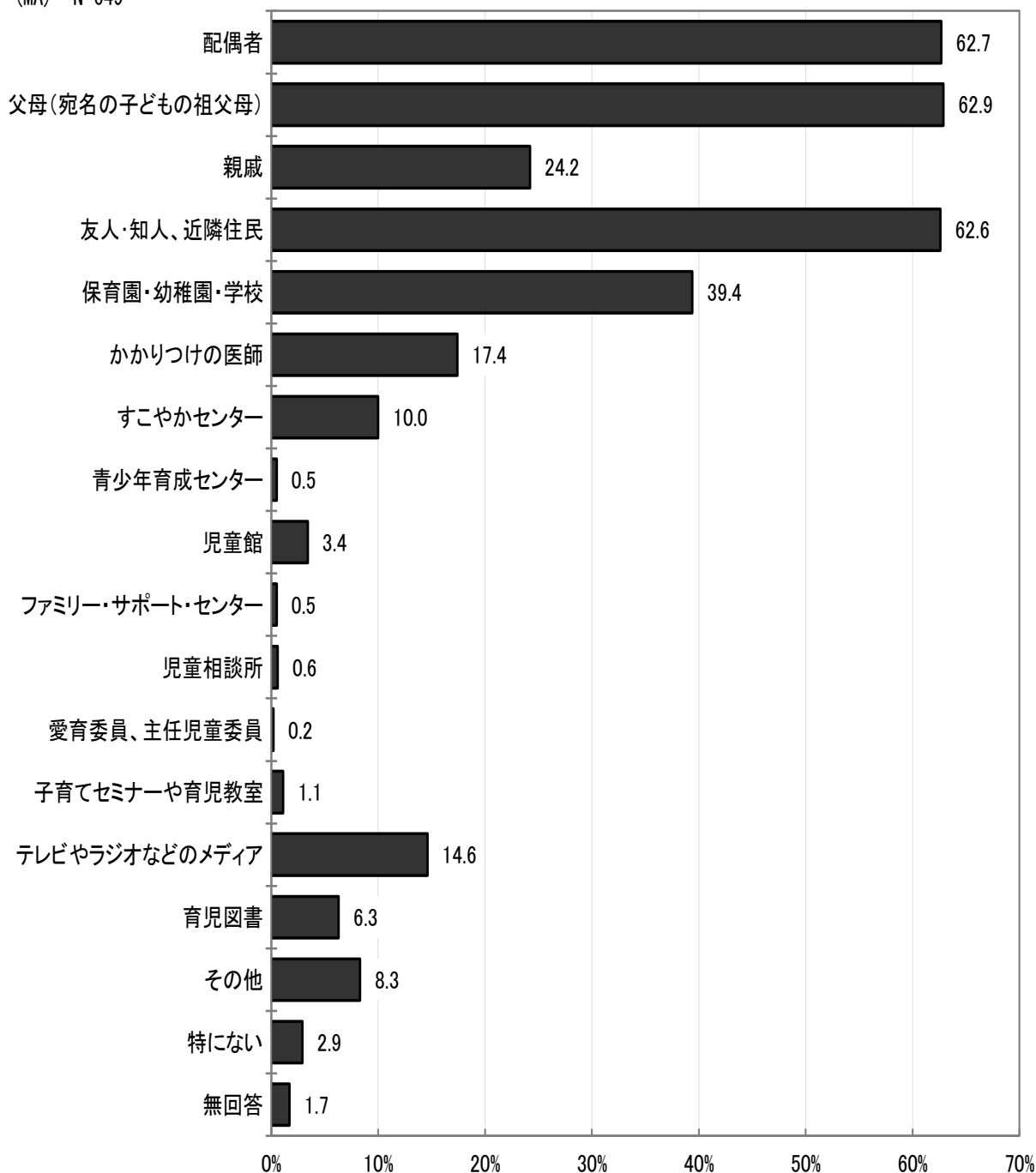
「配偶者」の割合が67.0%と最も高く、次いで「父母(宛名の子どもの祖父母)」が60.1%、「友人・知人、近隣住民」が56.5%となっています。



【未就学児】

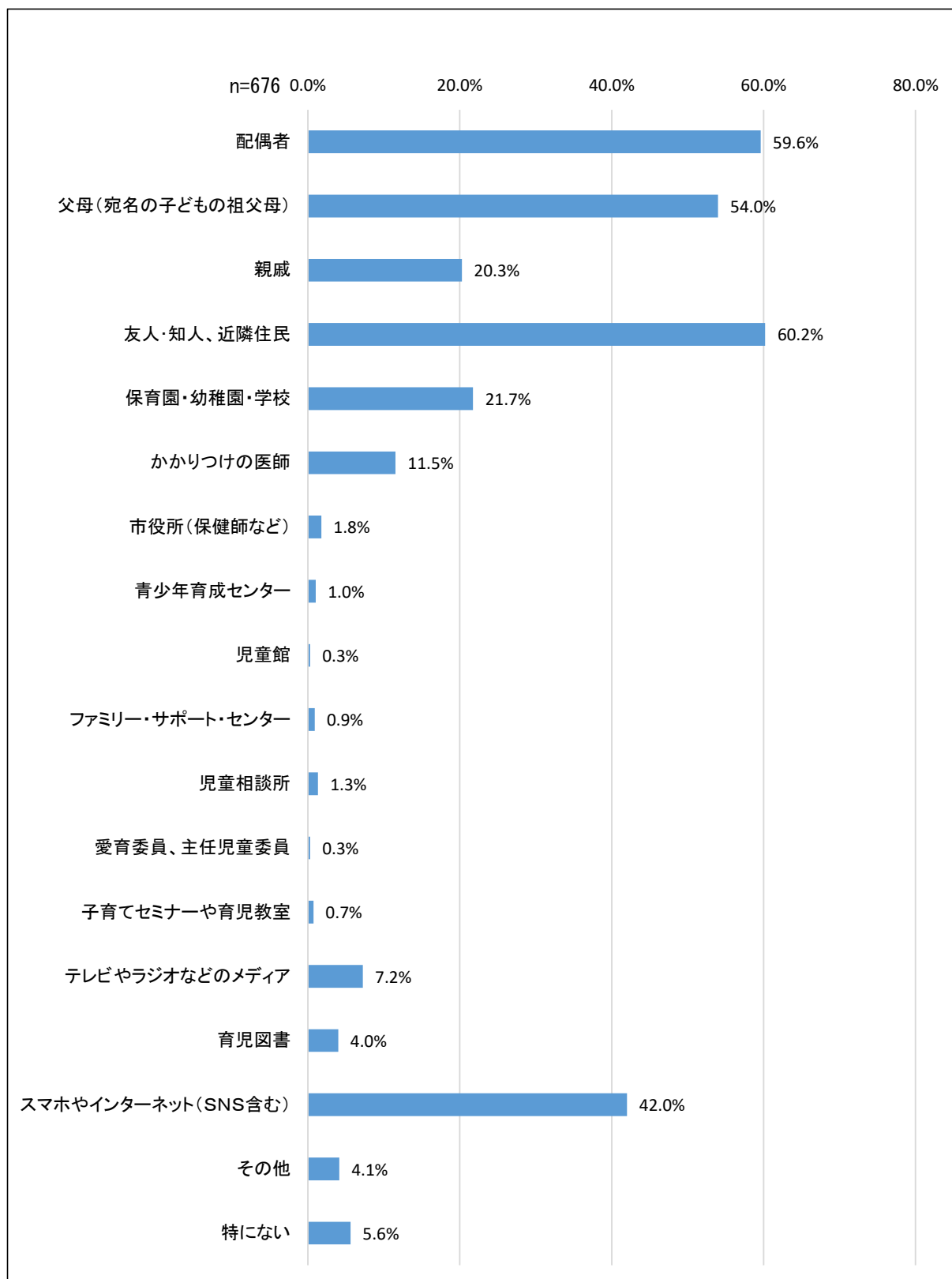
「父母（宛名の子どもの祖父母）」が62.9%で最も高くなっています。次いで「配偶者」が62.7%、「友人・知人、近隣住民」が62.6%で続いています。

(MA) N=649



【小学生】

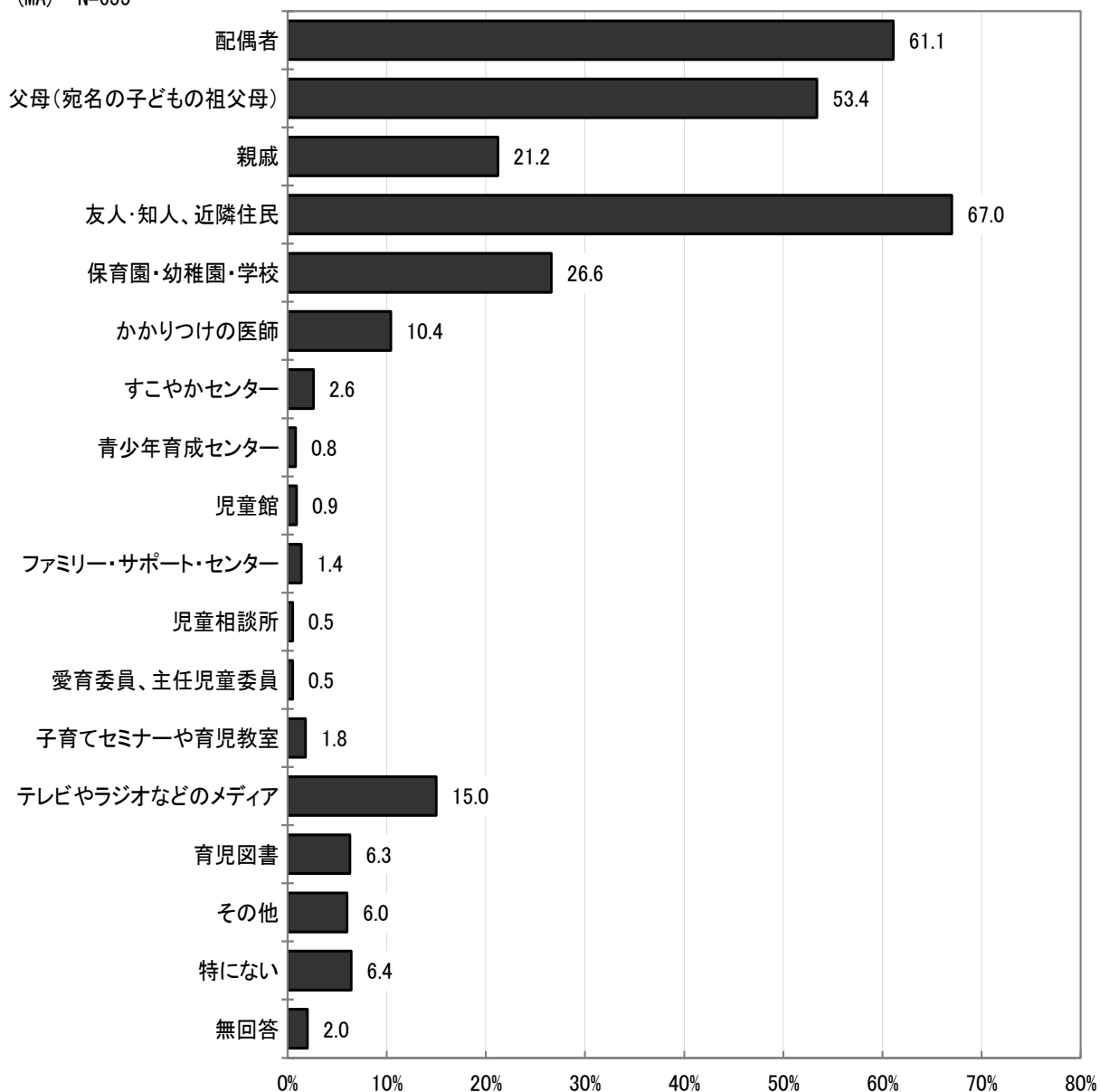
「友人・知人、近隣住民」の割合が60.2%と最も高く、次いで「配偶者」が59.6%、「父母（宛名の子どもの祖父母）」が54.0%となっています。



【小学生】

「友人・知人、近隣住民」が67.0%で最も高くなっています。次いで「配偶者」が61.1%、「父母（宛名の子どもの祖父母）」が53.4%が続いています。

(MA) N=655



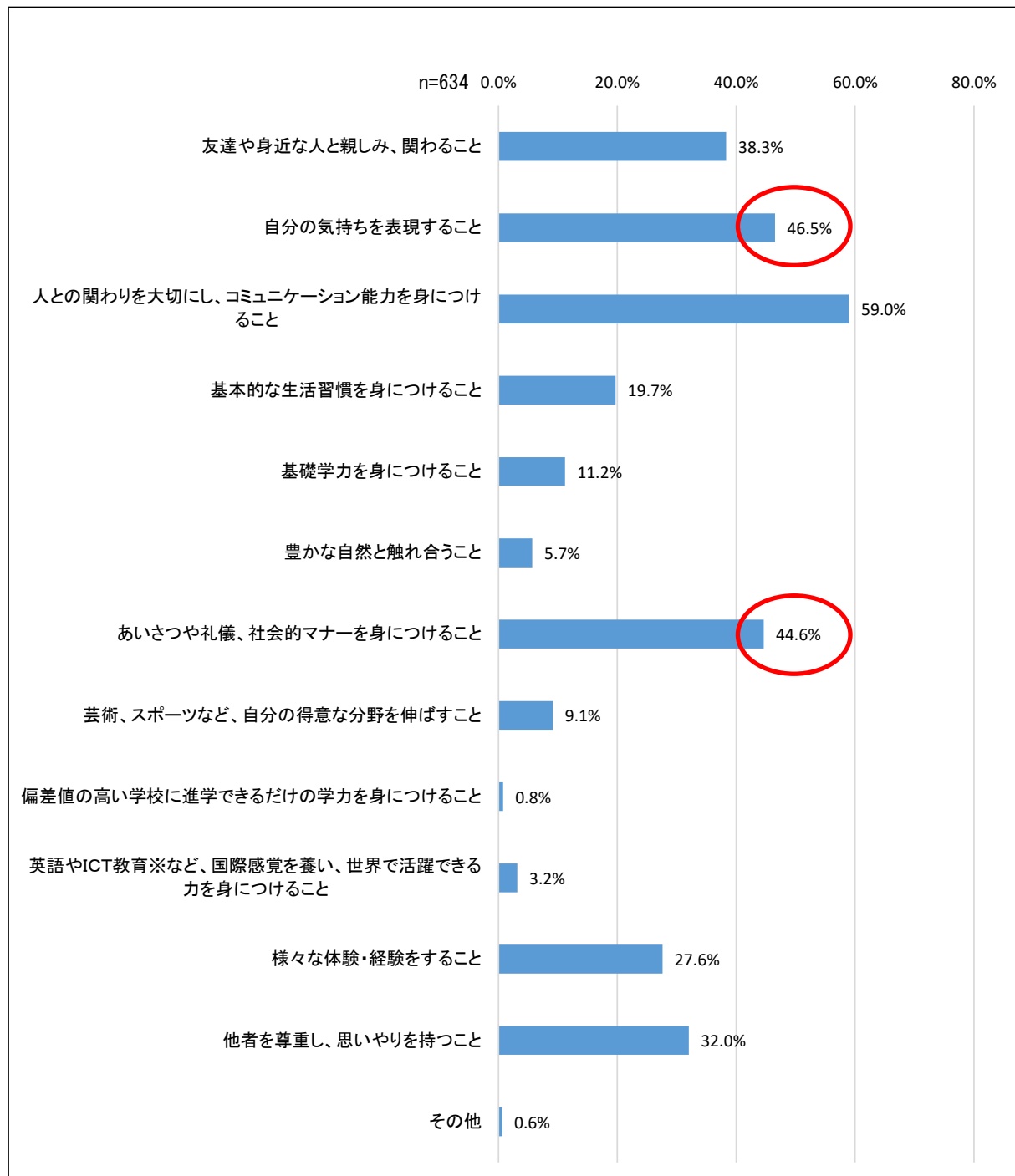
(4) 子どもに特に身につけてほしい力や大切にしてほしいと思うこと

子どもに特に身につけてほしい力や大切にしてほしいと思うことは何ですか。

(複数回答)

【未就学児】

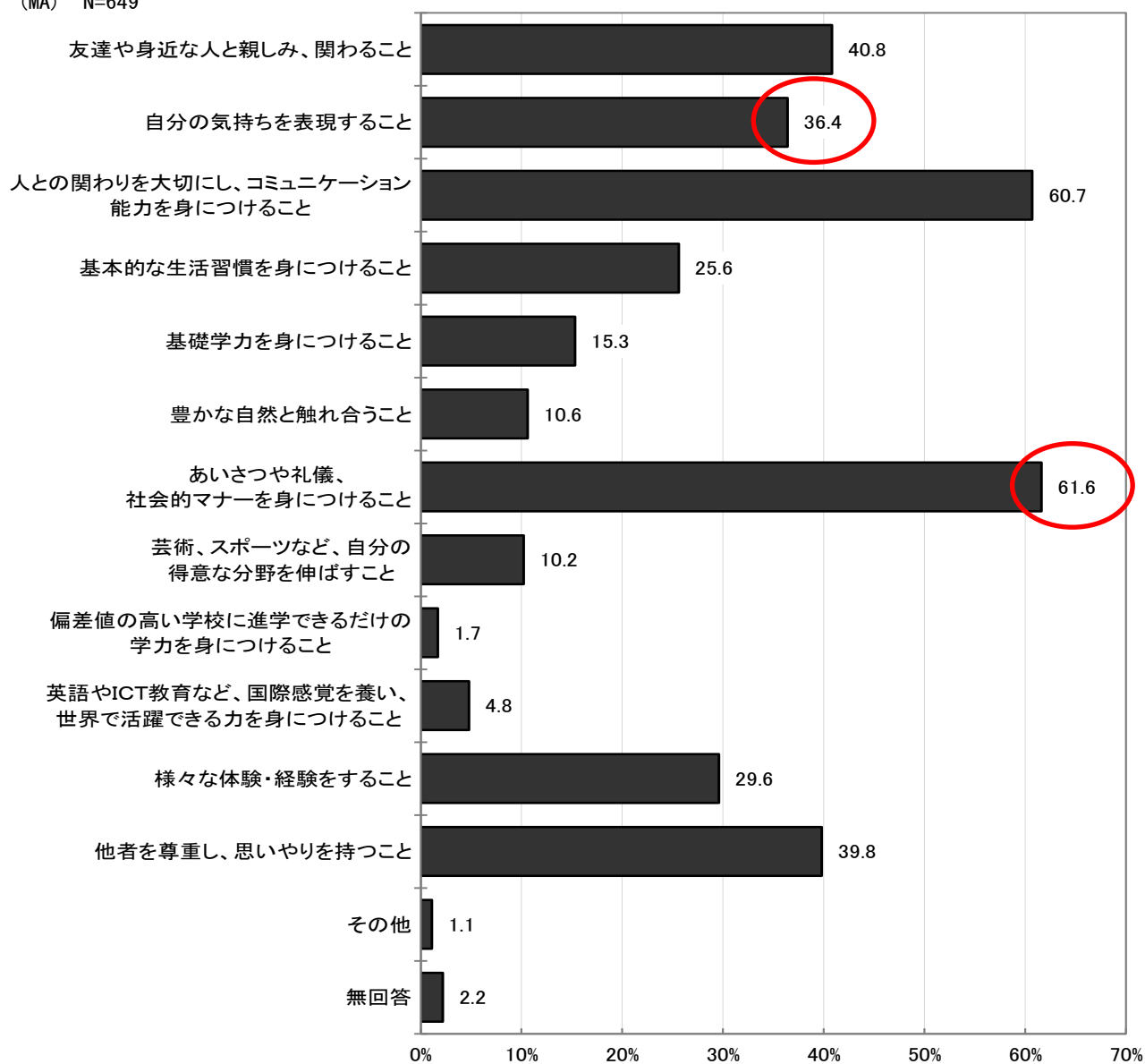
「人との関わりを大切にし、コミュニケーション能力を身につけること」の割合が59.0%と最も高く、次いで「自分の気持ちを表現すること」が46.5%、「あいさつや礼儀、社会的マナーを身につけること」が44.6%となっています。



【未就学児】

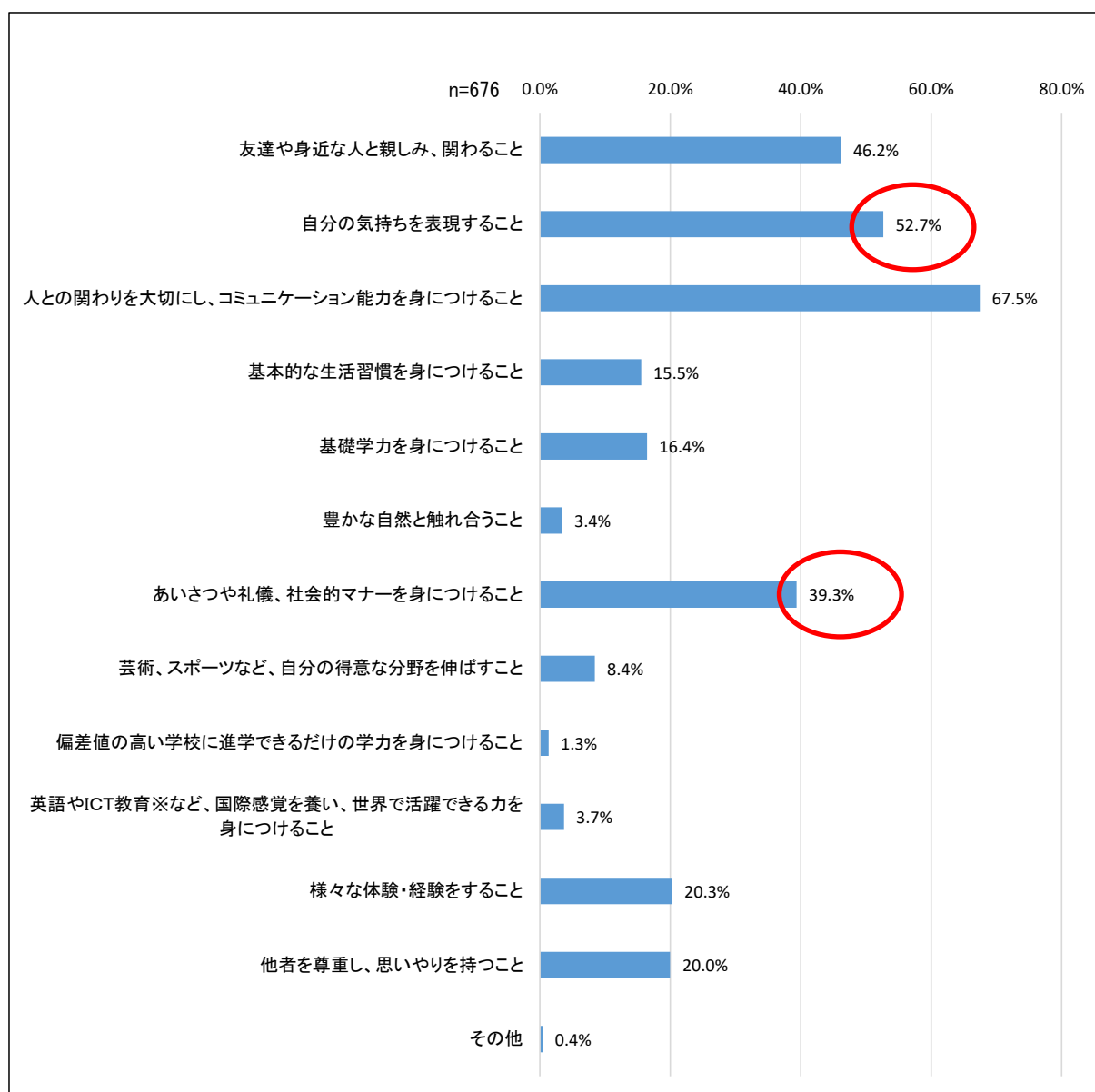
「あいさつや礼儀、社会的マナーを身につけること」が61.6%で最も高くなっています。次いで「人との関わりを大切にし、コミュニケーション能力を身につけること」が60.7%、「友達や身近な人と親しみ、関わること」が40.8%で続いています

(MA) N=649



【小学生】

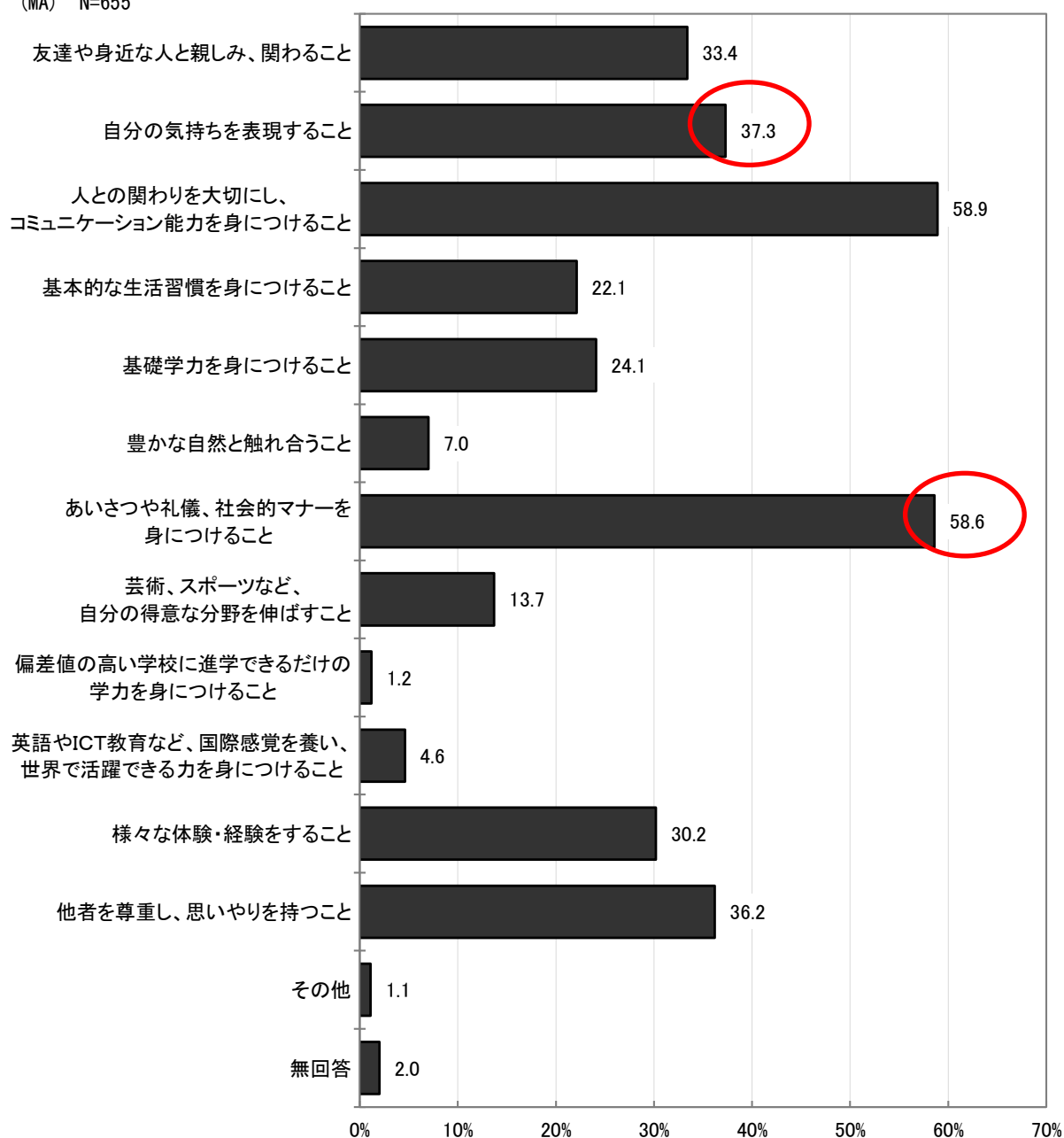
「人との関わりを大切にし、コミュニケーション能力を身につけること」の割合が67.5%と最も高く、次いで「自分の気持ちを表現すること」が52.7%、「友達や身近な人と親しみ、関わること」が46.2%となっています。



【小学生】

「人との関わりを大切にし、コミュニケーション能力を身につけること」が58.9%、「あいさつや礼儀、社会的マナーを身につけること」が58.6%で高くなっています。次いで、「自分の気持ちを表現すること」が37.3%で続いています。

(MA) N=655

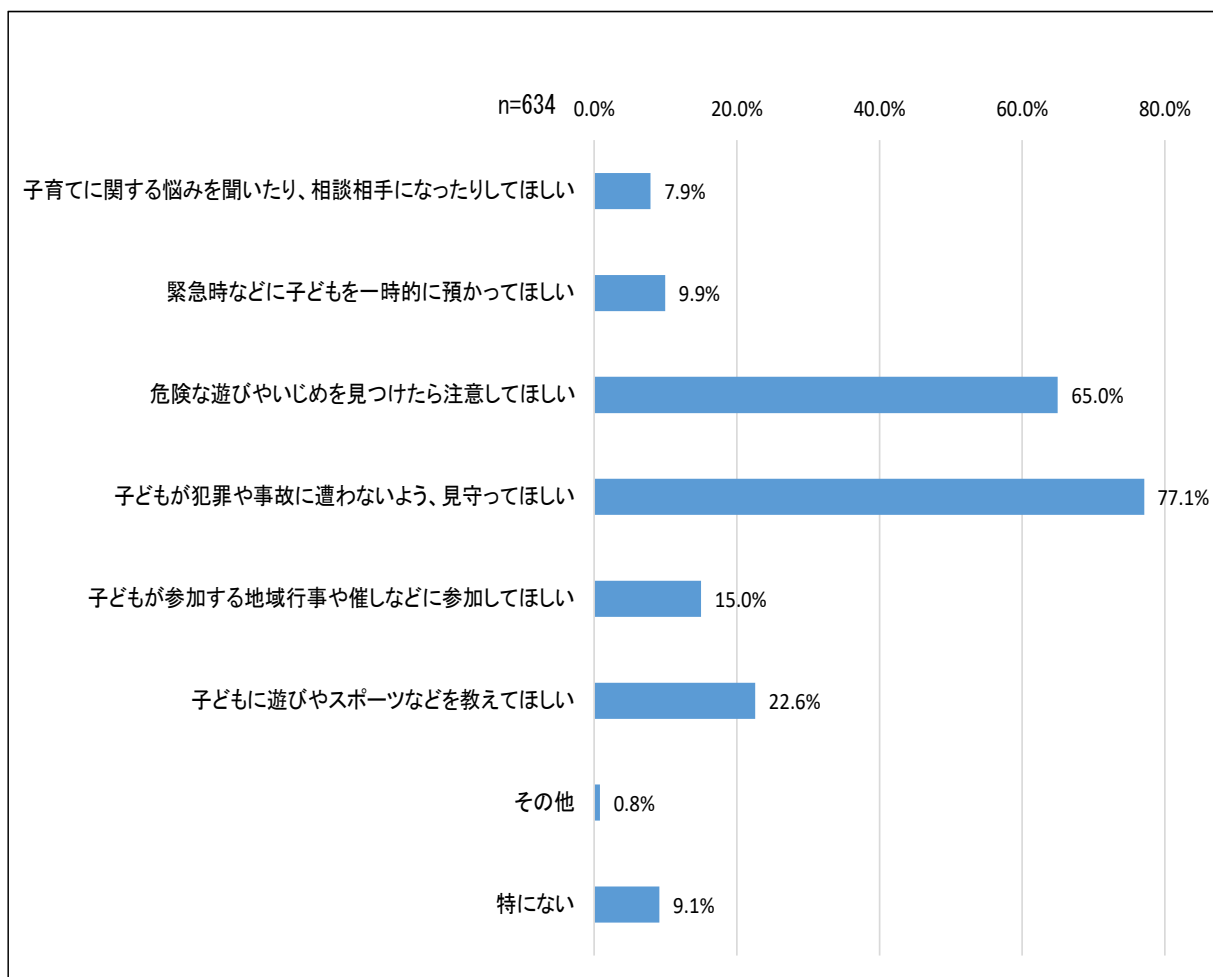


（５）子育て支援として、地域の人に望むこと

子育て支援として、地域の人に望むことがありますか。（複数回答）

【未就学児】

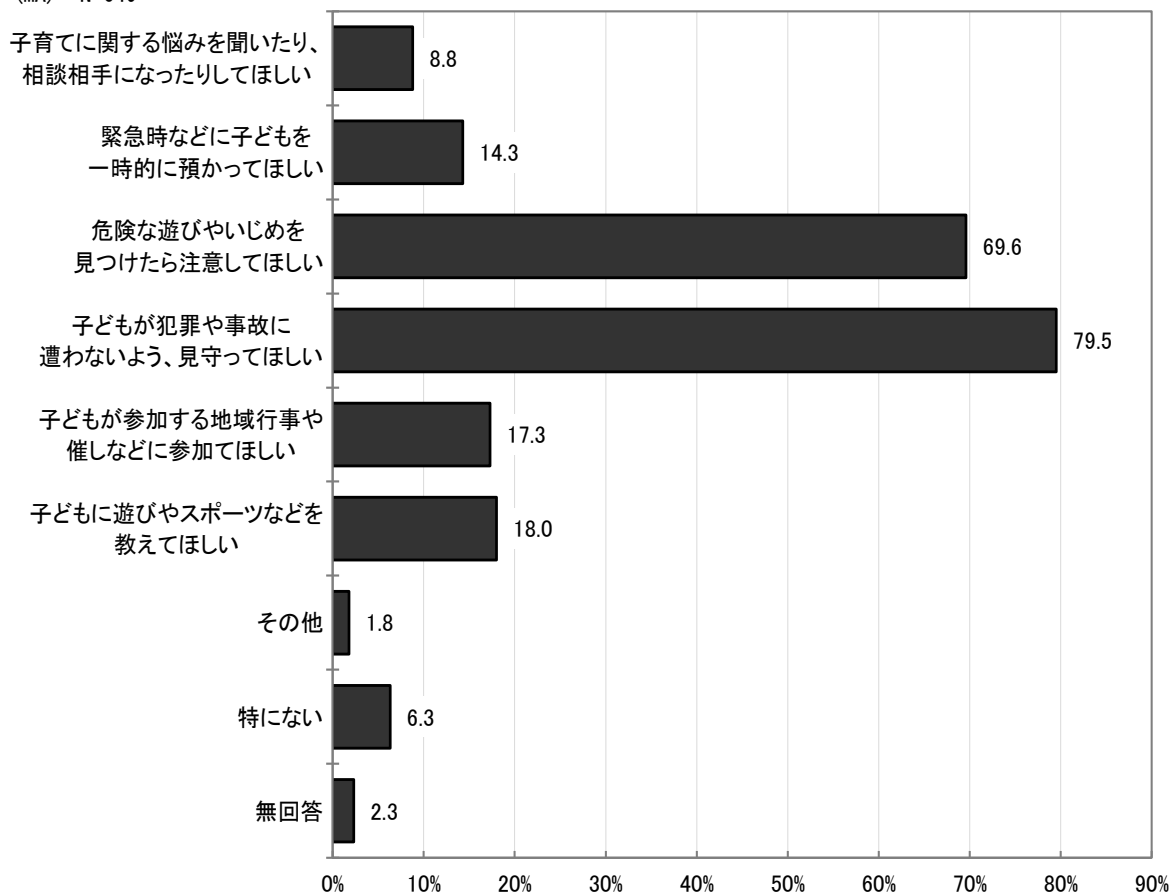
「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」の割合が77.1%と最も高く、次いで「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」が65.0%、「子どもに遊びやスポーツなどを教えてほしい」が22.6%となっています。



【未就学児】

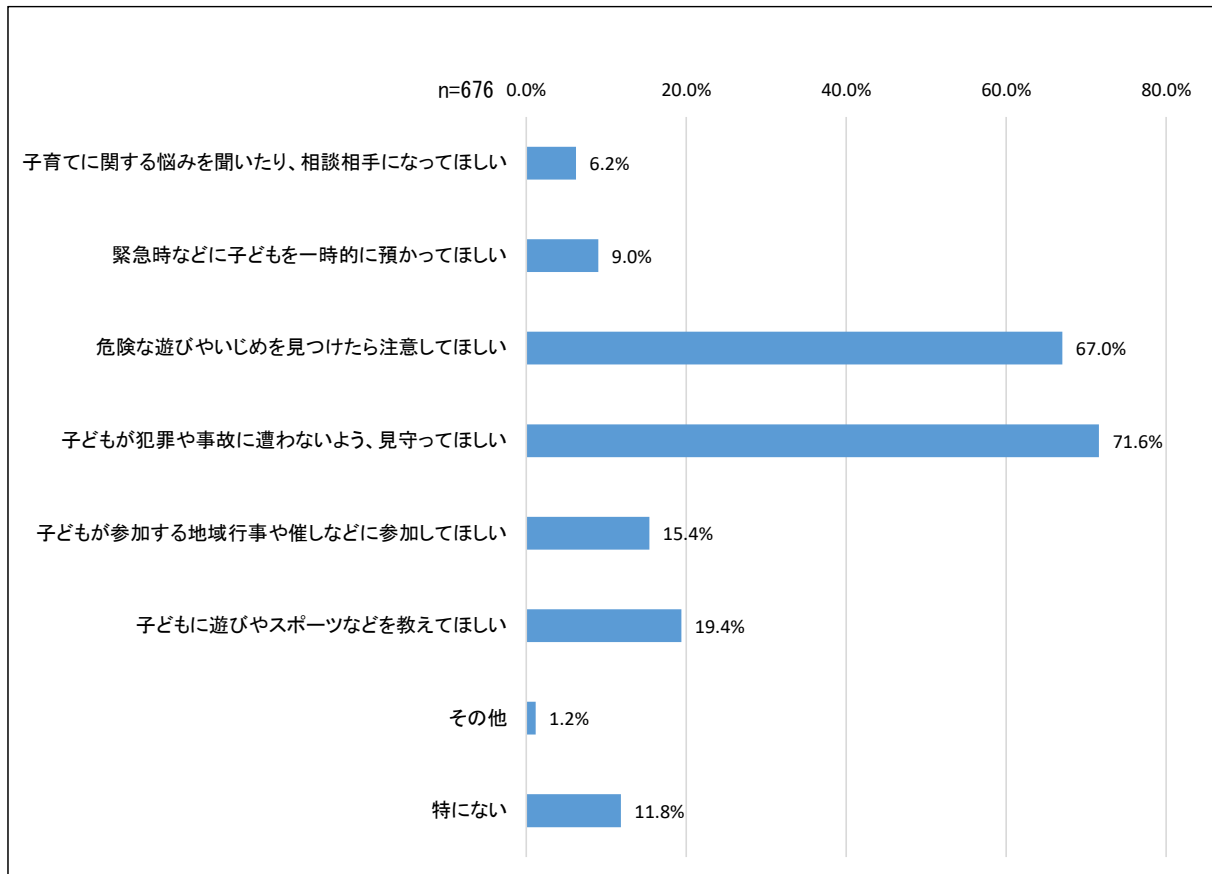
「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」が 79.5%で最も高くなっています。次いで「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」が 69.6%が続いています。

(MA) N=649



【小学生】

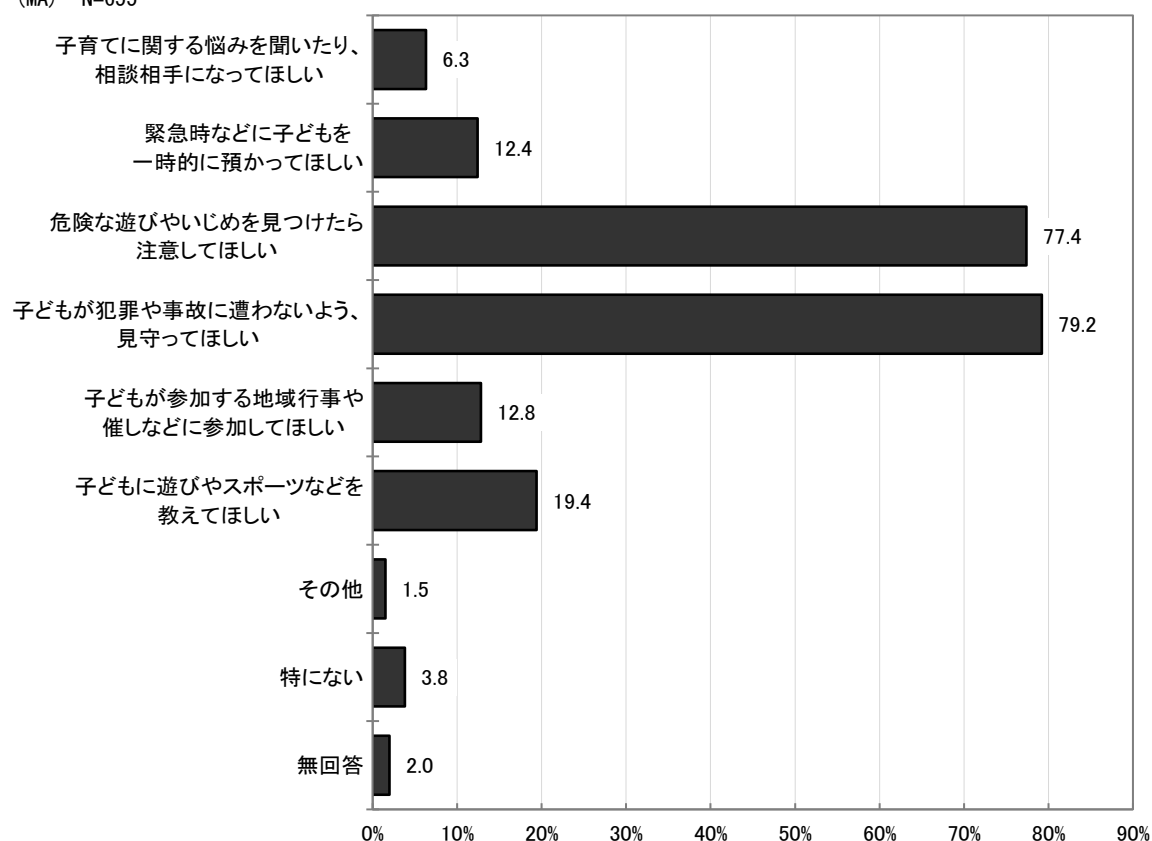
「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」の割合が71.6%と最も高く、次いで「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」が67.0%、「子どもに遊びやスポーツなどを教えてほしい」が19.4%となっています。



【小学生】

「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」が79.2%、「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」が77.4%で群を抜いて高くなっています。「子どもに遊びやスポーツなどを教えてほしい」が19.4%が続いています。

(MA) N=655

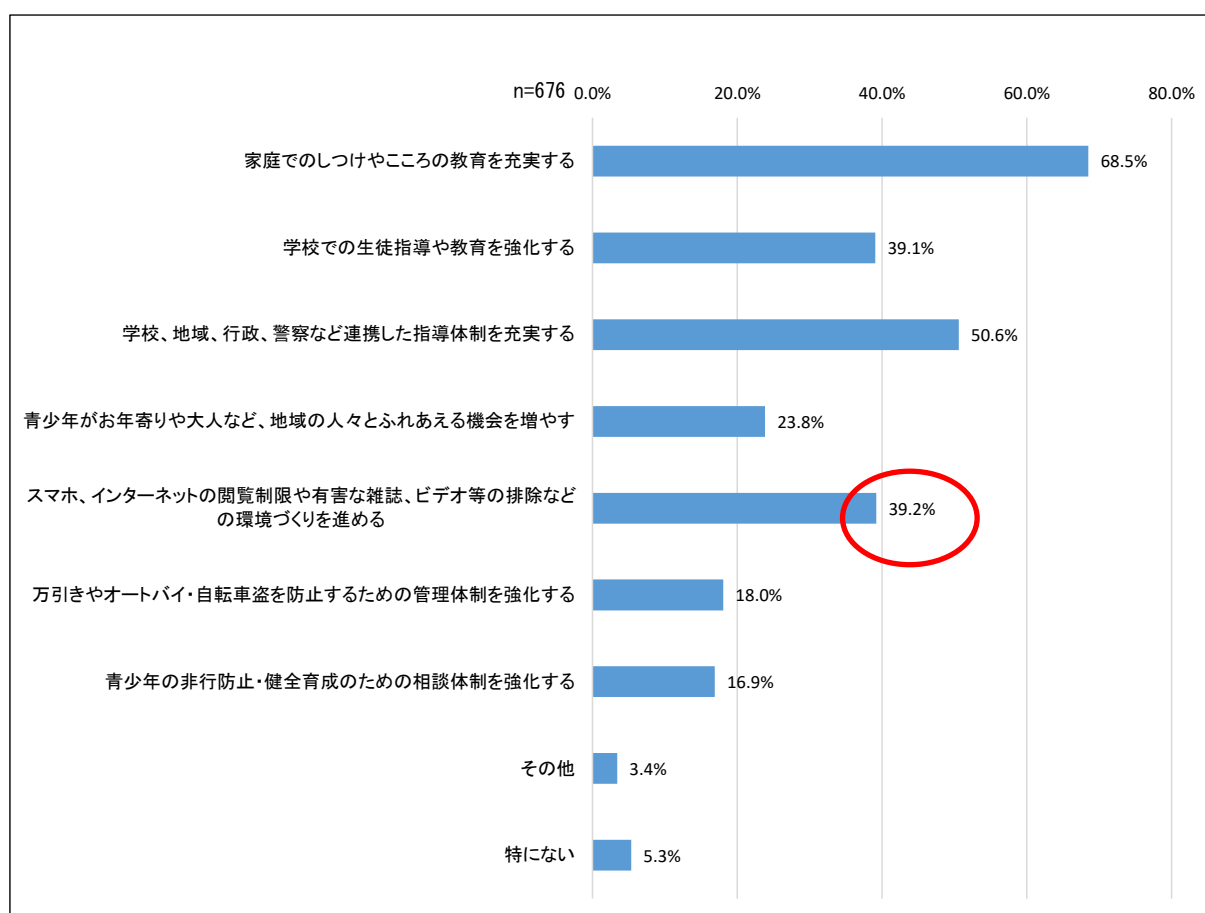


(6) 子どもの健全育成や非行防止のために力を入れること

【小学生】

子どもの健全育成や非行防止のために、どのようなことに力を入れるべきと思いますか。
(複数回答)

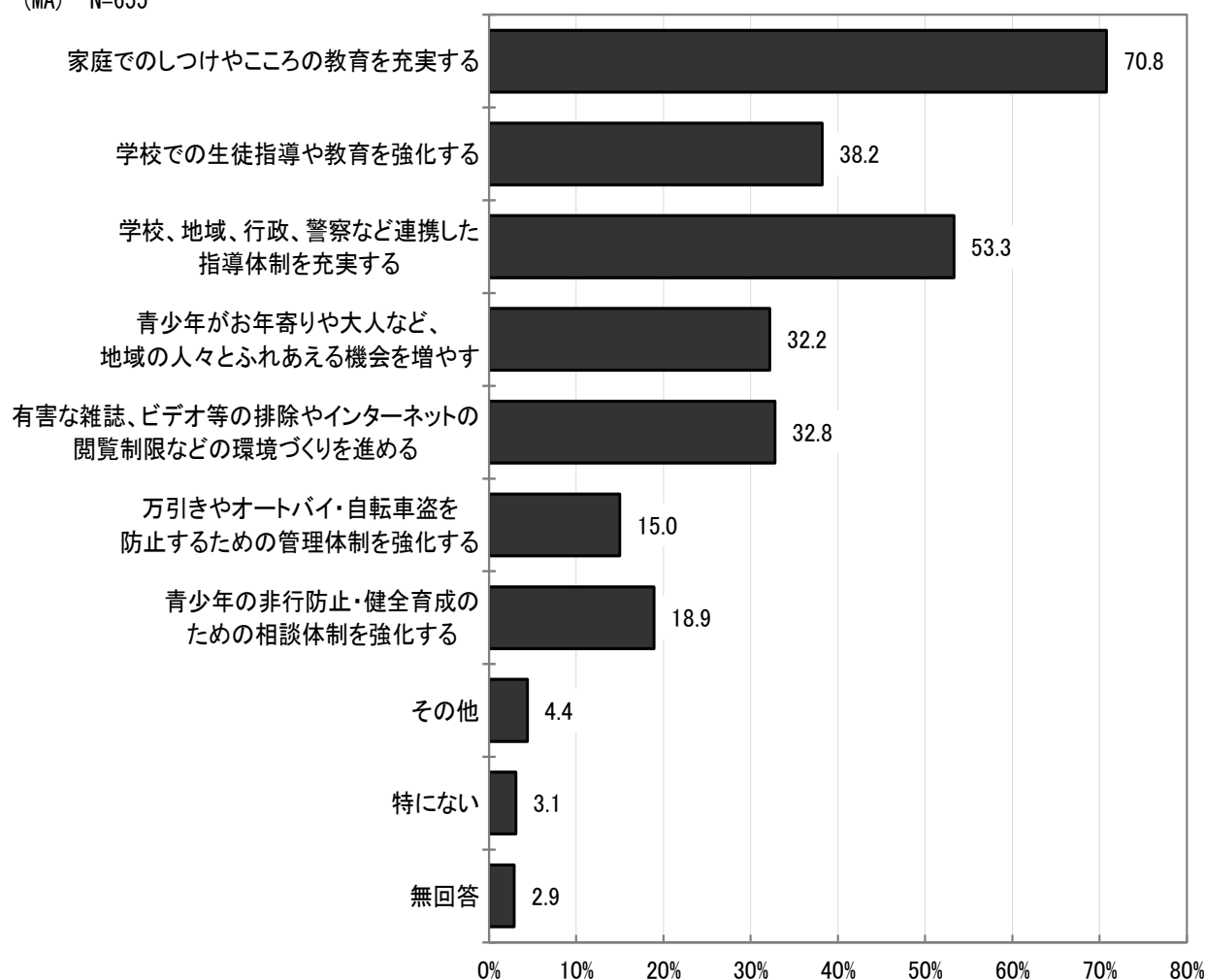
「家庭でのしつけやこころの教育を充実する」の割合が68.5%と最も高く、次いで「学校、地域、行政、警察など連携した指導体制を充実する」が50.6%、「スマホ、インターネットの閲覧制限や有害な雑誌、ビデオ等の排除などの環境づくりを進める」が39.2%となっています。



【小学生】

「家庭でのしつけやこころの教育を充実する」が 70.8%で最も高くなっています。次いで「学校、地域、行政、警察など連携した指導体制を充実する」が 53.3%で続いています。

(MA) N=655

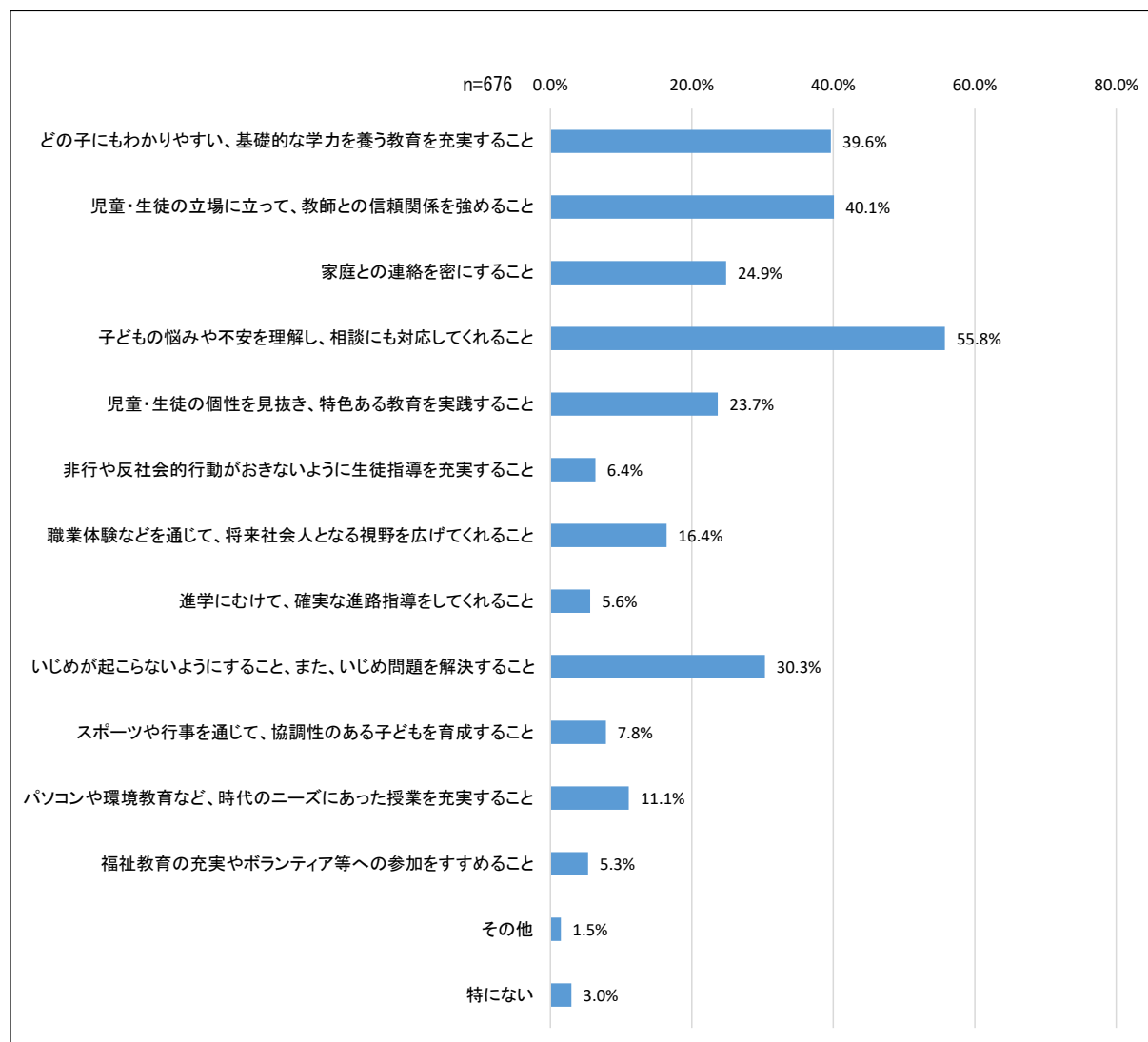


（７）子育てや健全な青少年の育成をする上で学校に期待すること

【小学生】

子育てや健全な青少年の育成をする上で、どのようなことを学校に期待しますか。
（複数回答）

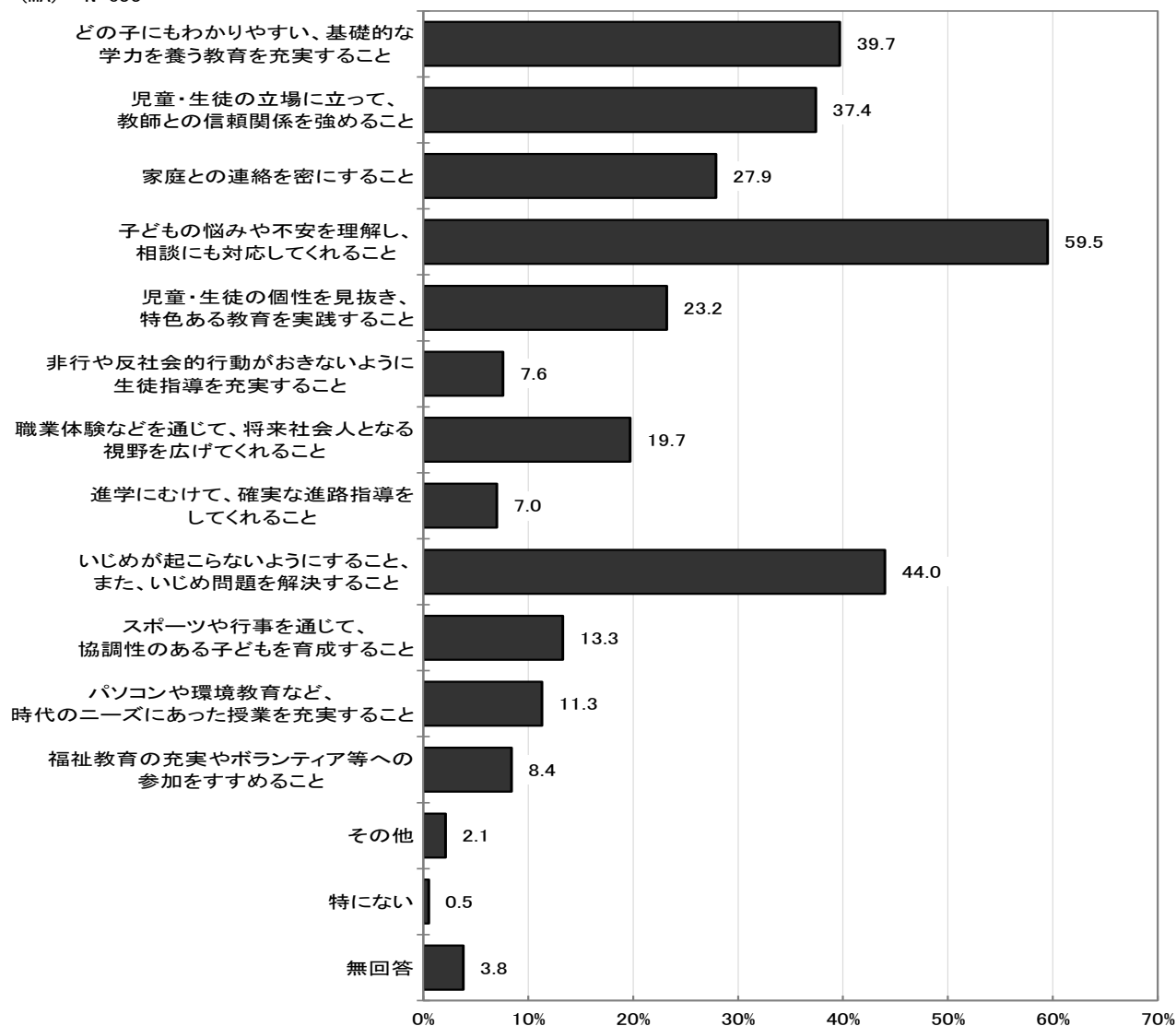
「子どもの悩みや不安を理解し、相談にも対応してくれること」の割合が55.8%と最も高く、次いで「児童・生徒の立場に立って、教師との信頼関係を強めること」が40.1%、「どの子にもわかりやすい、基礎的な学力を養う教育を充実すること」が39.6%となっています。



【小学生】

「子どもの悩みや不安を理解し、相談にも対応してくれること」が59.5%で最も高くなっています。次いで「いじめが起こらないようにすること、また、いじめ問題を解決すること」が44.0%、「どの子にもわかりやすい、基礎的な学力を養う教育を充実すること」が39.7%で続いています。

(MA) N=655

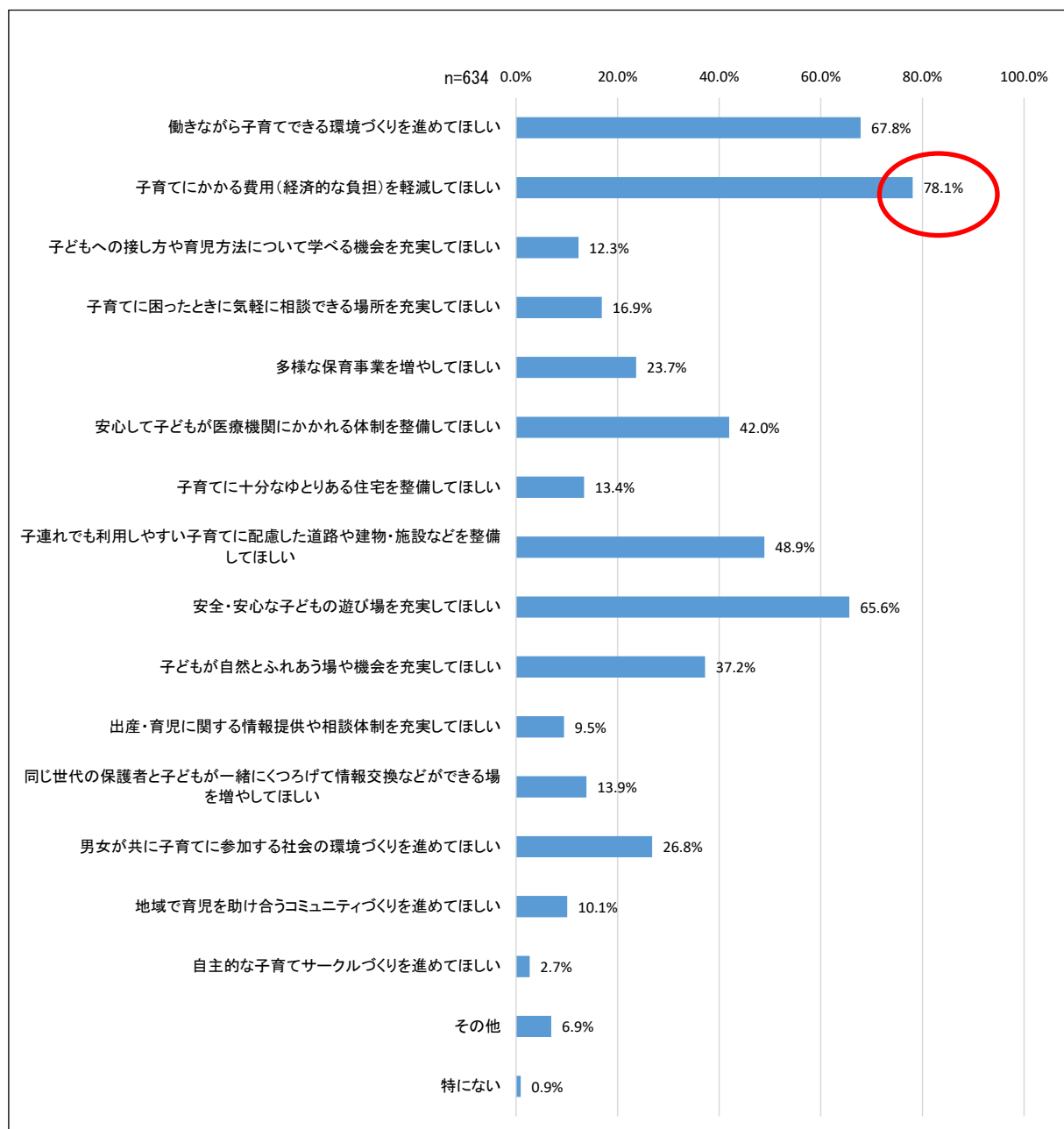


(8) 子育てしやすい社会にするために必要なこと

子育てしやすい社会にするためには、どのような支援策が必要だと思いますか。
(複数回答)

【未就学児】

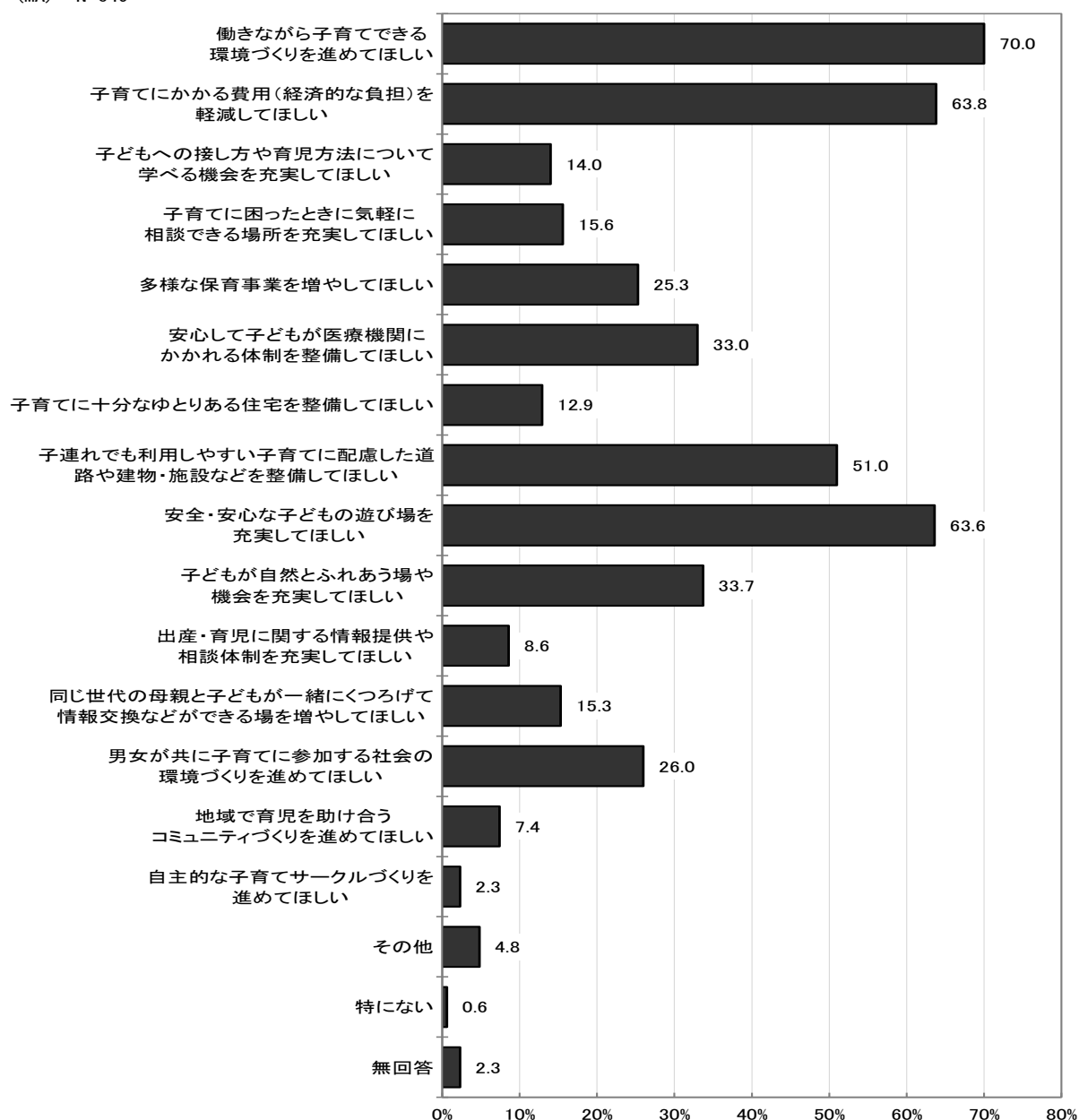
「子育てにかかる費用（経済的な負担）を軽減してほしい」の割合が78.1%と最も高く、次いで「働きながら子育てできる環境づくりを進めてほしい」が67.8%、「安全・安心な子どもの遊び場を充実してほしい」が65.6%となっています。



【未就学児】

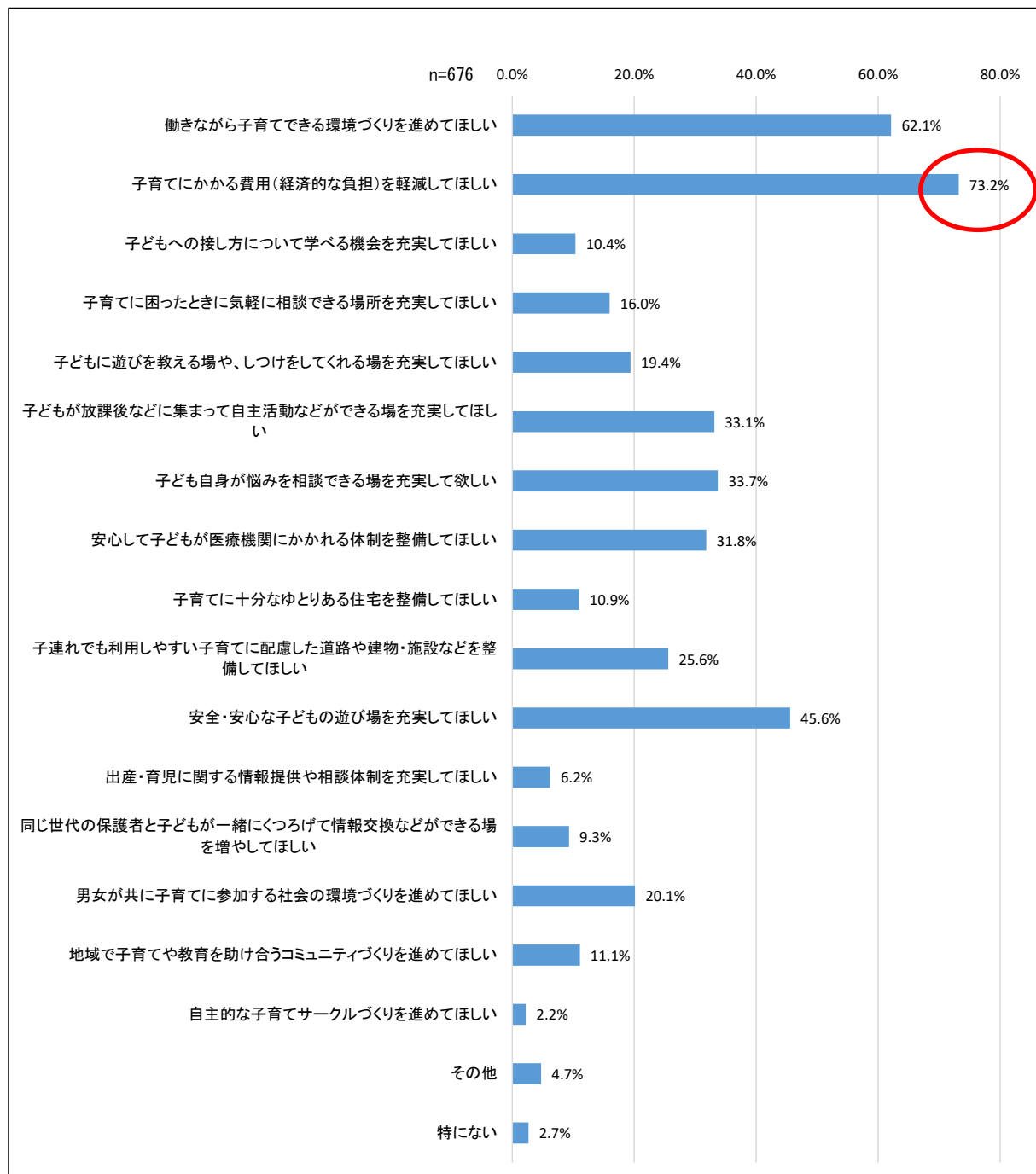
「働きながら子育てできる環境づくりを進めてほしい」が70.0%で最も高くなっています。次いで「子育てにかかる費用（経済的な負担）を軽減してほしい」が63.8%、「安全・安心な子どもの遊び場を充実してほしい」が63.6%が続いています。

(MA) N=649



【小学生】

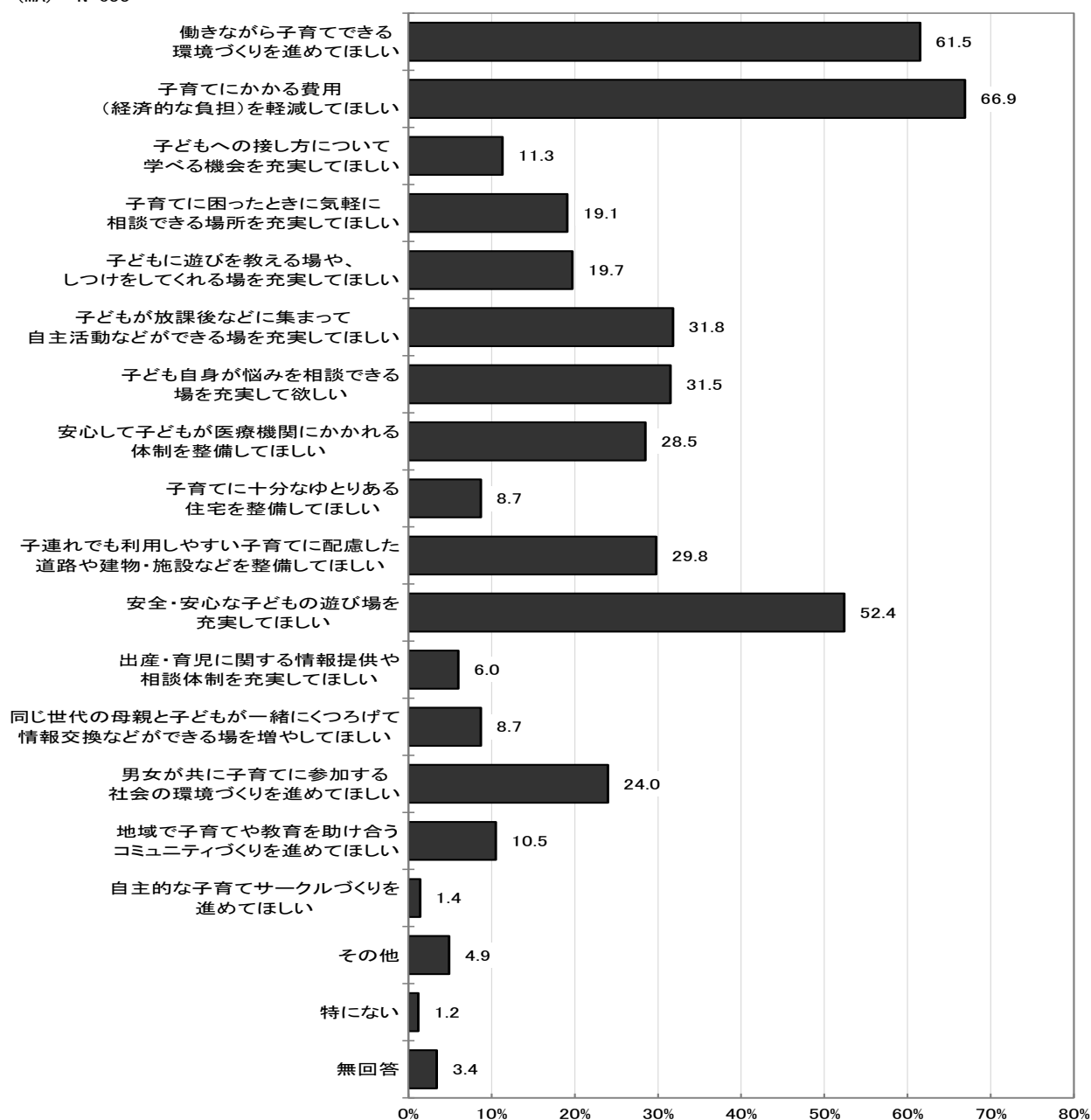
「子育てにかかる費用（経済的な負担）を軽減してほしい」の割合が73.2%と最も高く、次いで「働きながら子育てできる環境づくりを進めてほしい」が62.1%、「安全・安心な子どもの遊び場を充実してほしい」が45.6%となっています。



【小学生】

「子育てにかかる費用（経済的な負担）を軽減してほしい」が66.9%で最も高くなっています。次いで「働きながら子育てできる環境づくりを進めてほしい」が61.5%、「安全・安心な子どもの遊び場を充実してほしい」が52.4%が続いています。

(MA) N=655



認定こども園の整備・運営に関するサウンディング調査について

令和6年9月

玉野市教育委員会 就学前教育課

1 調査の背景

本調査は、宇野・玉地区に立地する宇野幼稚園、宇野保育園及び玉認定こども園を統合し、民設・民営による幼保連携型認定こども園を新たに整備する計画を進めるにあたり、「新たな認定こども園の候補地」及び「民設・民営による事業化の実現性」の2点について、民間事業者との対話を通じて意見・提案を収集することを目的として実施したもの。

2 調査の状況

【参加者】 社会福祉法人 2団体

【調査（対話）実施日時】 8月5日（月）13:55～16:15 … 法人①

8月6日（火）13:55～15:30 … 法人②

3 調査の結果

＜新たな認定こども園の候補地の順位付け＞

順位	法人①	法人②	評価ポイント	留意事項
1位	候補地B （宇野幼稚園）	候補地B （宇野幼稚園）	✓土地の形状が正方形に近いため利用しやすい。 ✓既存施設であるため、周辺住民の理解が得やすい。 ✓小学校が近いため、園小の連携が図りやすい。	✓既存建物の解体に要する時間が、開園時期に影響を与える可能性がある。 ✓工事期間中、一時的に他園に移る宇野幼稚園の園児にストレスがかかるおそれがある。 ✓候補地Aの駐車場化が前提条件となる。
2位	候補地A （市民病院裏）	候補地A （市民病院裏）	✓更地のため工事が容易であり、最短で開園できる。	✓市民病院の解体工事の影響に対する懸念がある。 ✓市民病院跡地の利用形態が不透明なのが気掛かり。 ✓候補地Bの駐車場化が前提条件となる。
3位	候補地C （玉公園）	候補地C （玉公園）	✓面積が広い。 ✓幹線道路からのアクセスが比較的容易である。	✓宇野地区の利用者が少なくなる懸念がある。 ✓周辺施設との兼ね合いに配慮が必要となり、設計にも制約が生じる。

＜民設・民営による事業化の実現性＞

参加法人2団体とも、いずれの候補地でも認定こども園の運営は可能との見解を示した。ただし、事業化に際して、応募を確約するものではなく、地域の児童数の推移や、国の動向等の複合的な要素を検討した上で、その是非を判断すること。

＜その他の意見・提案等＞

項目	意見・提案等
開園時期について	✓近年の施工業者の人材及び資材確保の困難化・労働環境改善の動きに伴う情勢や、整備に関する国庫補助金の受給を想定した場合、工期が2か年度にまたがる可能性が高くなる。令和9年度後半又は令和10年4月1日が適当ではないかと考える。 ✓開園が遅れれば遅れるほど、子どもの数が減っていく可能性があるのも、その兼ね合いが難しいところではある。
施設規模について	✓市が想定する定員100人程度が妥当であると考え。 ✓運営上、最低60人は確保しておきたい。 ✓規模が大きすぎると小回りが利かなくなる反面、小さすぎると、職員の配置上、延長保育などのサービスの負担が大きくなりすぎる。
施設運営について	✓1号認定（教育利用）の利用児は、運営面でポイントとなるため、一定数以上は確保しておきたい。 ✓新たな園については、地域との交流拠点やインクルーシブといった機能を備えるなど、これまでにないコンセプトを盛り込んだ複合施設としたい。 ✓運営費については、公定価格とは別で、市独自の補助の上乗せを要する。 ✓立地としては、市の中心エリアである宇野周辺が望ましい。
職員体制について	【職員の確保が困難との意見】 ✓新施設の人員に関しては、公立園の保育士が引き続き働いてくれば一番ありがたい。新施設には30人規模の保育教諭が必要と見込まれるが、現施設からの異動による対応は難しく、新卒の学生も少ない状況である。 【職員の確保は可能との意見】 ✓現状、法人内の人員から、新施設への異動も可能であるため、職員の確保については、ある程度の見通しが立つ。 ✓公立園に勤務している保育士等について、園児の心的負担軽減のためにも、民営化後の園に就労してもよい職員を紹介してもらえると助かる。 【職員の引継ぎについての意見】 ✓他の自治体では、民営化に際し、私立から公立へ一定期間保育士を出向させることが義務づけられている事例がある。そこで園児や保護者との関係を構築していく。 ✓公私の職員の引継ぎ期間は、最低でも半年は必要と考える。
その他	✓利用園児を一定数確保するためには、市全体の子どもの数を増やす必要がある。市と協力して、その実現に向けて取り組んでいきたい。 ✓子育て家庭だけでなく、地域にとって、世代を超えた交流拠点となるような施設が必要ではないかと考える。そのためには、地域から必要とされ、ともに歩んでいく雰囲気が醸成されるよう、官民一体となって取り組んでほしいと願う。 ✓民営化に際して、保護者には不安が生じる他、地区住民は騒音等が気になるのではないかと。説明会の開催などを通じて、丁寧な対応が必要となる。

4 今後の取組

今般の調査結果を踏まえ、民設・民営による幼保連携型認定こども園の設立に関する具体的な協議・調整を関係所管等と行い、建設地を決定の上、事業化に向けた取組を進める。

5 スケジュール（現段階の想定）

- （１）サウンディング調査結果の公表…………… 9 月中
- （２）関係所管等との協議・調整…………… 9 月～11 月
- （３）方針決定（建設地の確定等）……………12 月
- （４）保護者及び地区説明会……………令和7年1月～2月

＜候補地の概要＞

候補地 (A)

所在地	玉野市宇野2丁目4番
地番	玉野市宇野2丁目3284番1
現況	更地（現在駐車場として使用中）
土地面積	1,822㎡
用途地域	商業地域
その他	南西側に位置する候補地(B)の土地を駐車場等に活用することを想定

候補地 (B)

所在地	玉野市宇野2丁目14番16号
地番	玉野市宇野2丁目3287番4
現況	玉野市立宇野幼稚園
土地面積	1,703㎡
用途地域	第一種住居地域
その他	・現施設は解体し、園舎を新設する。 ・工事期間中は現玉野市立宇野保育園の施設を共同利用することを想定 ・北西側に位置する候補地(A)の土地を駐車場等に活用することを想定



候補地 (C)

所在地	玉野市玉2丁目3番
地番	玉野市玉2丁目2760番2
現況	玉野市立玉公園
土地面積	3,796㎡の内、一部を活用
用途地域	商業地域 及び 第一種住居地域
その他	都市計画法の規定に沿って、公園を廃止・移転する必要あり（市側で対応）



候補地の位置関係

第3期玉野市子ども・子育て支援事業計画 策定スケジュール(案)

令和6年度(2024年度)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
子ども・子育て会議 ※						● 1回目		● 2回目			● 3回目	
調査結果集計・骨子案作成												
素案作成												
計画案修正												
パブリックコメント												
印刷製本												
配布・HP掲載												

※今年度は、玉野市子ども・子育て会議を3回開催する予定
1回目：ニーズ調査結果報告、計画の骨子案の説明・内容検討
2回目：素案の説明・内容検討 、 3回目：最終案の確認・承認